

国際医療福祉大学審査学位論文(博士)

大学院医療福祉学研究科博士課程

地域在住高齢者の
生活を構成する習慣・役割作業
—老人クラブ会員を対象とした自由記載式調査より—

平成 26 年度

保健医療学専攻・作業療法学分野・作業活動支援学領域

学籍番号：12S3008 氏名：岩上 さやか

研究指導教員：杉原 素子 教授

地域在住高齢者の生活を構成する習慣・役割作業 ー老人クラブ会員を対象とした自由記載式調査よりー

要旨

入院生活から在宅生活に復帰する際、病前の家庭や地域社会における習慣・役割作業への気づきが復帰を促すという筆者の知見に基づき、高齢者が認識する習慣・役割作業の実態と特徴を探る為 A 市老人クラブの会員 217 名に対する質問紙による調査を実施した。その結果 400 種の習慣や役割が得られ、高齢者の日々の生活を構成する各種作業の存在が明らかとなった。更にこれらを作業療法評価時の視点とする為に KJ 法を用いてまとめ、81 の中項目と 32 の大項目を得た。次に中項目と基本属性とのクロス集計から、性別や配偶者の有無などにより、実施されている作業の様相が異なる事がわかった。また、どの様な作業を行っているか、クラスター分析を通して対象者が 5 群に分けられた。これらの特徴は、病前の習慣・役割作業評価時の視点となる可能性が示唆された。今後視点を活かした評価表等を作成することで、対象者の習慣・役割作業を逸早く得る事ができると考える。

キーワード

習慣・役割作業 高齢者 在宅生活 作業療法

**Habits and Roles Constituting the Home Life in Elderly People:
From Self-Administered Survey-of Healthy Members of a Senior Citizen's Club .**

Inpatients' awareness of their long-established habits and roles at home and in the community often encourages them to be discharged from hospitals. Based on this finding, the author conducted a questionnaire survey involving 217 members of a senior citizens' club in City A to examine the status and characteristics of their habits and roles as recognized by them. Approximately 400 types of habit and role were extracted, which suggests that their daily lives consist of these diverse actions. The descriptions were summarized, using the KJ method, to identify the points of view that should be considered when assessment of occupational therapy is conducted, and 32 main categories and 81 sub-categories were extracted. Following this, a cross-tabulation of the sub-categories and basic attributes was conducted, and the results suggested that there were differences in the form of action depending on their sex and marital status. In addition, a cluster analysis was also conducted to examine the types of action, and the subjects were categorized into five groups. The characteristics of actions of the elderly may provide perspectives for the assessment of the elderly's habits and their roles before they are admitted to hospital. The development of assessment tables based on such perspectives will help health care professionals understand the habits and roles of the subjects more readily.

Key Word

Habits and Roles Elderly people the home life Occupational therapy

目次

要旨・キーワード	2
目次	4
I. はじめに	5
1. 研究背景	
2. 文献検討	
3. 研究目的／研究意義	
4. 用語の定義	
II. 質問紙法によるアンケート調査と分析	10
1. 方法1：実態調査	
1) 調査対象	
2) 調査方法	
3) 調査用紙作成及び内容	
4) データ分析方法	
5) 倫理的配慮	
2. 方法2：統計分析	
1) 分析対象	
2) 分析方法	
3) クラスタ分析について	
III. 結果	13
1. 結果1：作業実施の実態	
1) 調査対象の基本属性	
2) 実施作業の実態	
3) KJ法におけるグループ分けの手法による分類結果	
2. 結果2：作業の特徴	
1) 基本属性を視点とした作業の特徴	
2) 実施種目内容を視点とした作業の特徴	
IV. 考察	51
1. 対象者の特徴	
2. 生活を構築する日々の習慣・役割作業の実態	
3. 分類後作業項目の特徴	
4. 作業療法が注目すべき習慣・役割作業に関する視点	
V. 本研究の限界と課題	63
VI. 結語	64
謝辞	65
文献	66
資料	69

I. はじめに

1. 研究背景

作業療法の主目標は「人々が日々の生活の営みに参加できるようにする事である」と世界作業療法士連盟により定義されている¹⁾。このことは、作業療法が単に心身機能を改善するのではなく、一人一人の想いや生き方、生活を知り、各対象者に真に必要な支援を幅広く実践することを表している。大島はクライアント個人の生活や価値観を反映したアプローチが重要である²⁾と述べており、作業療法士にとって、人々が日々の生活の営みに参加できるという目標実現の為には、対象者の病前生活の習慣や役割を聴取し訓練に活かす事は必要不可欠である。また、山田は作業療法では対象者がこれまで担ってきた役割を可能な限り再建するのであり、その為には対象者のこれまでの役割を知る必要がある³⁾と述べており、作業療法士は対象者の病前情報を特に大切にする職種であると言える。

しかし、実際の習慣や役割の評価では、作業療法士が知りたいと考える対象者の生活の様子を捉えるために必要な情報収集に関し、困難に直面する場面がある。例えば、一般的に生きがい等生き方の転換期と言われている定年退職後⁴⁾の男性等からは、病前生活聴取で、仕事以外の内容を聞き取ることが難しい等である。作業療法で最も知られており用いられている習慣や役割の評価法⁵⁾として、10の役割に対してその実施の有無をチェックする役割チェックリスト⁶⁾や、生活史の面接で対象者の過去と現在の作業適応に関する情報を収集する作業遂行歴面接第2版⁷⁾があるが、これらは自己報告および面接項目を用いた半構成的面接による評価法である。つまり、対象者が何を役割だと認めているか等の詳細は、当人から自発的に語られる内容での評価となる。その為、経済状態や個人の社会的立場、居住地域などとの関連で多様であると言われている社会参加状況⁸⁾や個人差の大きい生活様式、価値観等に関連する習慣や役割に関して聴取できる内容は、セラピスト個人の力量や対象者の性格や表現力に左右されてしまう。これに加え、現在日本作業療法士協会に登録されている約6万人の作業療法士のうち、約46%が30歳以下となっており、核家族化の進む現代においては、セラピスト自身が共に暮らす両親以上の世代の生活について、実感を伴いながら想像することが難しくなっていると推測される。つまり、病前生活の習慣や役割に関する評価は、作業療法士にとって必要だと認識されいながら、十分に行えていない現状であると言える。

ところで、2000年に新設された回復期リハビリテーション病棟(以下回復期病棟)は、日常生活活動の能力向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的とした病棟であり⁹⁾、在宅復帰がキーワードとなっている。その回復期病棟の在り方として、入院を社会生活の中断と捉

え身体的自立度だけではなく、精神的や経済的自立度も考慮した退院後の生活設計支援の必要性が指摘されており¹⁰⁾、その設計の為には患者自身が今後、自身で生活してゆく意識を持つことも必要である。筆者らは、病前生活の日々の習慣・役割作業を実施することがきっかけとなって、自身で生活してゆく意識を持つ事ができた例を報告した¹¹⁾。この中で、趣味や友人内のまとめ役といった役割など、その人ならではの作業と同時に、誰にでも存在する様な、布団を上げる、食器を洗うといった日課や当番と呼ぶような作業も重要な要素となっていることを明らかにした。また、Kielhofner は作業療法士が着目する役割は日々の機能や習慣の大半を構成すると述べており¹²⁾この事からも病前生活の聴取、なかでも生活に組み込まれた日課や当番を含む習慣・役割作業に関する情報収集は、在宅復帰への移行を支援する際にも重要であると言える。

ところが、習慣や役割に関する研究では、役割の内容項目を学生、父親、生産者、自己維持者などと、属性で示すものが多く、その活動内容については明記されていない¹³⁾。また、実態調査に関しても、国における包括的な調査¹⁴⁾程度にとどまっており、対象を絞った学術的な研究は十分とは言えない。特に作業療法士が評価の視点として必要とする、生活に組み込まれた多種多様な作業、すなわち習慣・役割作業の実態を知るには、これらの調査では明らかに出来ず不足の状態である。よって、作業療法士が対象者の病前生活の習慣・役割作業を想像し評価する際に必要な手掛かりを得る為に、現状では、回復期病棟に入院する可能性の高い、すなわち高齢の対象となる人々が、実際にどのような事を習慣・役割作業だと思い実施しているのか、状況を知ることが課題であると考えられる。

2. 文献検討

1) 習慣・役割の実態

習慣・役割に関する調査では、国によって行われている、高齢者の日常生活に関する意識調査¹⁴⁾がある。この調査は選択記載式となっており、役割に関係する項目には、家の中での役割、参加した活動、日頃の家事の状況がある。例えば家の中での役割は「家事を担っている／家族・親族の相談相手になっている／家族の支え手である／家族や親族関係の中での長である／小さな子供の世話をしている／病気や障害を持つ家族・親族の世話や介護をしている／その他／特に無い／わからない」から選択する。調査の結果、最も多い役割は家事を担っているであり、年齢が上がるほど特に無いの割合が増えると結論づけられている。この調査からは、選択した役割として、どのような作業が実際に含まれていたのかを明らかに出来ない。また、放送文化研究所の行う国民生活時間調査は、対象者の生活実態について、2日間行った生活行動を15分置きに記載してもらうもの

で、必需行動、拘束行動、自由行動に分類された行動内の 20 前後の具体例から選択する¹⁵⁾。しかし、この調査は 10 歳以上の全国民を対象としており、全国民が 1 日の時間をどの様な行動で占めているかの割合を分析している為に、高齢者がどの様な作業を選択したかを把握することが出来ない。この様に、習慣・役割作業が関連すると思われる役割や生活時間の調査では、具体的内容が明らかにされていない。VerPloeg は時間の使い方に関する研究は重要であるのに、高齢者の生活スタイルに関する研究が国際的にみて不足していると述べている¹⁶⁾。

作業療法士にとって時間の使い方と役割参加を知ることは、高齢者の生活を良く理解することに役立つと Kryss は述べているが¹⁷⁾、その理由の一つに、人口動態が変化する中で、作業療法が対象にする高齢者の割合が増えてくるからだという指摘がある¹⁸⁾。そこで、高齢者に限定した研究をみると、アメリカの調査では 55 歳以上になるとスポーツイベントや遊園地に行くことなど、特定の作業参加が減少するという報告がある¹⁹⁾。日本においては、岩崎らによる高齢者の日常生活行動と健康との関係を検討した調査がある²⁰⁾。この調査の結果、高齢者の日常生活行動は社会・文化的な行動、家事的な行動、規則的な行動に分けられるとしている。また、山城らの沖縄における在宅高齢者の役割と生活満足度の関連を調べた調査では²¹⁾、高齢者の役割実施状況について、家庭内活動／地域団体とのかかわり／役員としての地域の団体とのかかわり／ボランティア活動への参加、における各役割内にある活動の実施数について分析している。しかし、どちらの調査においても、この分類を導いた作業項目は研究者が指定した作業からの選択式となっており、どの様な作業を行っているかの実態調査としては不十分である。さらに、社会活動に限った調査として、玉腰らの高齢者における社会活動²²⁾、高橋らの老人クラブ会員の社会活動レベルの現状²³⁾の実態調査があるが、同様に調査対象の作業項目は自由記載式ではなく選択式となっている。この様に、どの先行研究においても、高齢者の日常生活に組み込まれた習慣や役割の実態をあらいざらいに明らかにする方法はとられていない。また、これらの研究はそのほとんどが公衆衛生の視点で行われており、実施している活動と健康や幸福との関連を探るなどの研究である。作業療法士自身が、高齢者全体が実施している習慣・役割作業といった生活作業の実態に関して焦点をしばらく関わった研究は見当たらない。鎌倉によれば、障害者とは“当たり前”を奪われた人あるいは奪われかかっている人の事であり、作業療法は“当たり前”を扱う職業である²⁴⁾。今後ますます高齢化が進む日本では、作業療法の対象となる可能性の高い高齢者の習慣・役割作業の実態を、生活を構成している習慣や日課により当たりの毎日を過ごすことを大事にする作業療法士の視点を含め、掘り下げる実態調査が必要で

あると考える。

2)障害高齢者の習慣・役割の実態

一方、障害を持った後の対象者の役割に関する研究や事例報告はいくつか見られる。まず、実態調査では、村田らが在宅障害高齢女性の家庭内役割に関する研究²⁵⁾で、77人の調査から家庭内役割には食事の支度、洗濯、掃除等の家庭内役割に次いで、草取り、留守番、孫の面倒が多かった事を明らかにした。また、役割有り群でQOL評価結果が高かった事から、身体障害を有す高齢者も、可能な限り家庭内役割を持てるように、積極的に役割を担う事に関する指導の必要性がある事を指摘した。また、正木らは、在宅高齢障害者の日常生活における作業と自己決定感に関する研究²⁶⁾で、20人の調査から、日常生活における作業にはADLとしてのべ107種、仕事・生産的活動としてのべ72種、遊び・余暇活動としてのべ86種あったと明らかにした。その内自己決定感のあった作業はADLで3種、仕事・生産的活動で28種、遊び・余暇活動で25種だったとし、高齢者の主体的生活を提案する為には、仕事・生産的活動や遊び・余暇活動も考慮する必要があると述べている。また、山本らは26名の脳血管障害患者を対象に役割遂行に関する調査を行い、退院後に自分が価値を置く役割を遂行しているかどうか、さらに満足して行えているかが、自己の肯定と満足感や有能感に繋がっていると示した²⁷⁾。更に、作業療法士の支援に焦点を当てたものでは、緑川らによる、回復期病棟退院患者を対象にした、現在の役割の実態と入院中の作業療法での支援内容との関係の調査がある²⁸⁾。これによると作業療法士が退院後の生活の活動性の維持・向上に向けて、一日の中でより活動性を伴う役割を選択し支援していると示されている。

この他にも、回復期病棟において脳卒中による高次脳機能障害の経験で、自殺したいと語った対象者に対し、価値を置く事ができる役割の探索を面接により行った事で今後の生活を前向きに捉えられるようになった、という宗形らによる事例報告²⁹⁾や、重度の片麻痺により活動参加制限があった対象者に対し、作業遂行歴面接を用いて役割を自覚する介入をおこなったことで、主婦としての役割を再認識し、退院後の家事活動参加への意欲に繋がった、西川らの報告³⁰⁾がある。

この様に、障害を持った高齢者の役割に関しては、生活の中で役割そのものがあるという重要性、更に各人にとって価値を置く役割を見つけ出し遂行する重要性が示されている。このような支援に必要な対象者の役割を逸早く知る為には、評価者側も対象となる世代の人々がどの様な役割を持っている可能性があるのかを知っておくことが良いと考える。しかし、高齢者および障害を持った高齢者の習慣・役割作業に関する上記先行研究では、

人々にどのような習慣・役割作業があるのかを把握できず、作業療法士が習慣・役割作業を評価する際の視点として用いるには情報が不足している。よって、作業療法士の視点を用いた習慣・役割作業に関する実態調査、さらにそれらを評価の視点として活かせる様に整理分類し、今まで無かった、または埋もれてしまっていた新たな項目を明らかにすることが必要であると考え。

3. 研究目的／研究意義

本研究の目的は回復期病棟で作業療法士が病前生活を聴取する際に幅広い視点を持ち、適確な評価を行う為の視点を検討することとした。具体的には、

①地域生活を送る高齢者への調査から、日々の生活に組み込まれた、自分ですべきだと思っ
ている日々の習慣・役割作業の実態とその項目を明らかにすること

②評価視点とする為、得られた習慣・役割作業の項目の特徴を明らかにすること

とした。

目的①に対しては、方法1として調査用紙を用いた実態調査を行い、目的②に対しては、方法2として実態調査から得られた項目に対する統計的手法による検討を行うこととした。

なお、本研究の意義は、今後対象者の習慣・役割作業を適確に捉える為の評価方法の提案や回復期病棟での具体的な支援方法の提案等に役立つ事であると考え。

4. 用語の定義

習慣(habit)：本論文では、日課(routine)の様な自然に通常行うことを含んだ、日常的に繰り返される行いの事を指す

役割(role)：本論文では、ある人がその人の立場によって、自分自身が行うべきだと考えている、習慣や当番(duty)を含めた行為を広く指す

作業(Occupation)：本論文では、作業療法の世界で多く採用されている、人が生きて行う目的活動の全てを指す

II. 質問紙法によるアンケート調査と分析

1. 方法 1：実態調査

1) 調査対象

本調査は将来的に回復期病棟での支援に役立てたいと考えている為、回復期病棟入院対象疾患である脳血管疾患の発症年齢のピークとされる 70 代³¹⁾と、回復期病棟入院患者で 70 代の次に割合の高い 60 代³²⁾とを合わせた、60～70 代の脳血管障害の既往の無い男女とした。対象は、首都圏近郊に位置する A 市老人クラブ約 8600 人の会員の約 2.5%に相当する 217 名である。全 27 地区に分かれている全てのクラブからそれぞれ選出した。

A 市は南西部が山地、東部が丘陵地帯、中央部が平野で中心に大きな川が流れており、南部は湾に面した地形となっており、エリアごとに様々な暮らしがある。年間平均気温は 15 度と暮らしやすく、主な産業が観光の観光都市である。総人口約 20 万人のうち 65 歳以上人口は全体の 26%で、高齢化率が 25.1%となっており、平成 26 年度時点での全国高齢化率³³⁾と一致している。

2) 調査方法

宿題調査法を参考に行った。A 市老人クラブ連合会を通じて、全 27 地区の老人クラブ会長が集まる会議にて、本研究の目的及び方法の説明を筆者が行った。更に書面でも説明を渡し、人数分の調査用紙と返信用封筒を渡し、対象に該当する会員に手渡すよう依頼した。その為、各クラブ内での調査対象者の選定にあたっては、当該クラブの会長に任せている。またその際に、各個人には、調査用紙の記載をもって研究協力に同意した事とみなす旨を説明するよう依頼した。回収は 1 ヶ月後の同様の会議とし、地区ごとにまとめた封筒を筆者が直接受け取った。調査実施期間は平成 25 年 8 月 5 日～9 月 3 日であった。

3) 調査用紙作成及び内容

調査用紙は、作業遂行歴面接第 2 版のうちの日課に関する個所を参考に作成した。内容は、性別や年齢等の一般情報を選択回答式とし、生活に関する調査項目は、なるべく対象者の心的世界を言語化し表現できるように、自由記載式とした³⁴⁾。また、多くの生活に組み込まれた習慣・役割作業を導き出せるように、言葉の印象を強くしない配慮として、言葉の説明は最小限にとどめた。さらに、毎日の生活を想起しながら記載できるよう、調査用紙に朝・昼・晩の欄を設ける工夫をした。ただし、明確な時間帯等は指定していない。尚、調査内容の確認として、事前に 10 名の 60 代の男女に協力をいただき質問項目の確認を行った。質問項目を表 1 に示す。

表1 質問項目

項目	詳細内容
1. 一般情報	性別／年齢／配偶者有無／同居人種類／仕事の状況
2. 生活に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日、家で、あなたがしなければならない役割や習慣および日課 ・ 近所付き合いや友人との活動など、地域生活の中で、あなたがしなければならない役割や習慣および日課 ・ 1週間、1ヵ月、1年間のサイクルで、決まってあなたがしなければならない役割や習慣および日課 ・ 上記の中であなたが特に大事にしている役割や作業

4) データ分析方法

選択回答式で得られたデータについては、調査対象群の特徴を明らかにする目的で単純集計を行った。自由記載式で得られたデータについては、評価の際の視点にする為には単に作業名だけでは当てはまらない場合もある為、抽象的なカテゴリー化をし整理する目的で、KJ法におけるグループ分けの手法を用いた分類を行った。得られた情報の意味する内容を変える事なく、実在する作業名に整理し、類似している内容ごとにカテゴリー化を行った。分析は筆者を含む10年以上の経験を持つ作業療法士3名で行った。

KJ法とはアイデアを作り出す方法として1967年に川喜多二郎が考案したもので、個別の現象から次第に一般的秩序の発見に向かいデータをまとめるという基本方針を持つ³⁵⁾。本研究の分析にKJ法におけるグループ分けの手法を選択した理由の一つは、KJ法が人によって出来上がる作品が異なることを認めている³⁶⁾手法であること、つまり分析者が誰でも感じるかによって結果が異なる点を利用し、作業療法経験の十分な作業療法士の視点を持って分類できる点である。またもう一つは、量的分析では平均値などの形となり埋もれてしまう現象も、個々の現象として記述が可能であり、更にどこにも属さないものもそのまま残すことで、多く得られた内容の特徴を表した分類が可能である点である。KJ法におけるグループ分けの手法は、60歳以上退職者の生きがい概念を明らかにした今井らのように³⁷⁾、質問紙調査の為の質問項目を準備するにあたり、自由記載式の質問調査を分類し質問項目を作成する際に多く用いられており、実施手順はこれらを参考にした。

5) 倫理的配慮

調査実施にあたり、代表者への口頭及び書面でも説明をした上で同意が得られた者を対象とした。また、得られた回答は無記名であるもののID番号での管理を行い、本研究以外では使用しない事とした。本調査は、事前に国際医療福祉大学倫理審査委員会より承認を得た(13-Io-88)。

2. 方法 2：統計分析

1) 分析対象

対象は、調査対象者の基本属性および、方法 1 にて KJ 法におけるグループ分けの手法で分類した作業項目 81 項目とした。項目の詳細は結果に示す。

2) 分析方法

基本属性による作業実施の特徴を明らかにする目的で、性別、配偶者の有無、仕事の有無、同居人の形態と、81 作業項目の実施有無とをクロス集計を用いて検討し、統計的検定には χ^2 検定、Fisher の直接法を用いた。有意水準は 5% とした。基本属性の分析は、全体および、性別別の 2 群、前期高齢者・後期高齢者の 2 群、作業実施数別 3 群に分けたものについて実施した。前期・後期高齢者の境は 74 歳であるが、後期高齢者である 75 歳以上の高齢者はそれ以前と比較し、生理的機能や日常生活活動の低下といった特性や就業状態が異なるという理由で分かれている。日々実施する作業はこれらの影響を受けると考え、この分類を用いた。また、実施作業数は 1 人当たりの平均実施数を軸に極端に少ない、多いがわかるよう、少ない群・平均群・多い群の 3 群とした。

作業実施項目の実施内容に関する特徴を明らかにする目的では、方法 1 における調査対象者 217 名において 81 項目中の実施している作業の組み合わせから、Ward 法による階層的クラスタ分析を実施した。得られた各クラスタ内における回答内容および、判別分析による正準判別関数係数の値の大小を鑑みて群分けをし命名した。統計解析には SPSS ver21 for Windows を用いた。

3) クラスタ分析について

クラスタ分析とは、異なる性質のものが混ざり合っている集団の中から、一つ以上の因子に着目し互いに似たものを集めて集落(クラスタ)をつくり、対象を分類する方法を総称したもので、その応用範囲は広く、遺伝子工学や農学分野でグループ分けを行う際にも汎用されている³⁸⁾。本研究ではどの様な作業を行っているかで分類されるクラスタはどの様なものか、を検討する目的で、階層的クラスタリング法を用い、かつ分類度が高いとされている Ward 法により³⁹⁾ 応用を試みた。

Ⅲ. 結果

1. 結果 1：作業実施の実態

1)調査対象の基本属性

(1)標本数及び回収数

- ① 標本数：217 ② 回収数(率)：217(100%)

本調査では、一定人数分の調査用紙を 27 地区に分かれた A 市老人クラブの各会長に配布し、各会長から回収したことで全数回収が可能となった。各地区の所属人数が異なる事から、比率のみを合わせて配布(最小 4 名～最大 20 名)した為、各地区の負担は少なかったと考える。

(2)調査対象者の基本属性：

回答が得られた 217 名の基本属性は、男性 109 名(50%)、女性 108 名(50%)のほぼ同数であり、年齢は 60 代が 20%、70 代が 73%、80 代が 7%で、平均年齢は 73.1 歳(標準偏差±4.15)であった(図 1)。配偶者を有する者は全体で 83%、男性で 92%、女性で 75%であり、男性の方が配偶者を有する割合が高かった(図 2 上段)。現在同居している家族および同居人に関して、全体では配偶者と二人暮らしが 41%、独居が 7%、子家族との二世帯が 14%であり、配偶者との二人暮らしが最も多かった。男性では配偶者と二人暮らしが 47%、独居が 5%、子家族との二世帯が 15%、女性では配偶者と二人暮らしが 34%、独居が 9%、子家族との二世帯が 13%であり、女性の独居の割合が男性よりも高かった。その他に含まれる同居形態の詳細は図中に示す(図 2 中段)。仕事に関しては、全体では定年退職が 61%、現在も非常勤で働くが 3%、現在も常勤で働くが 7%、もともと無職(専業主婦を含む)が 24%であり、半数以上が定年退職後の状態であった。男性では定年退職が 87%、非常勤勤務が 2%、常勤勤務が 6%、無職が 2%であり、女性では定年退職が 34%、非常勤勤務が 5%、常勤勤務が 7%、無職が 47%であり、男性では約 9 割が定年退職後であり、女性は半数がもともと無職(専業主婦を含む)であった(図 2 下段)。

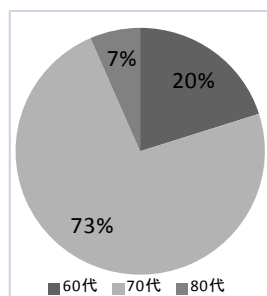


図 1 対象者の年齢構成

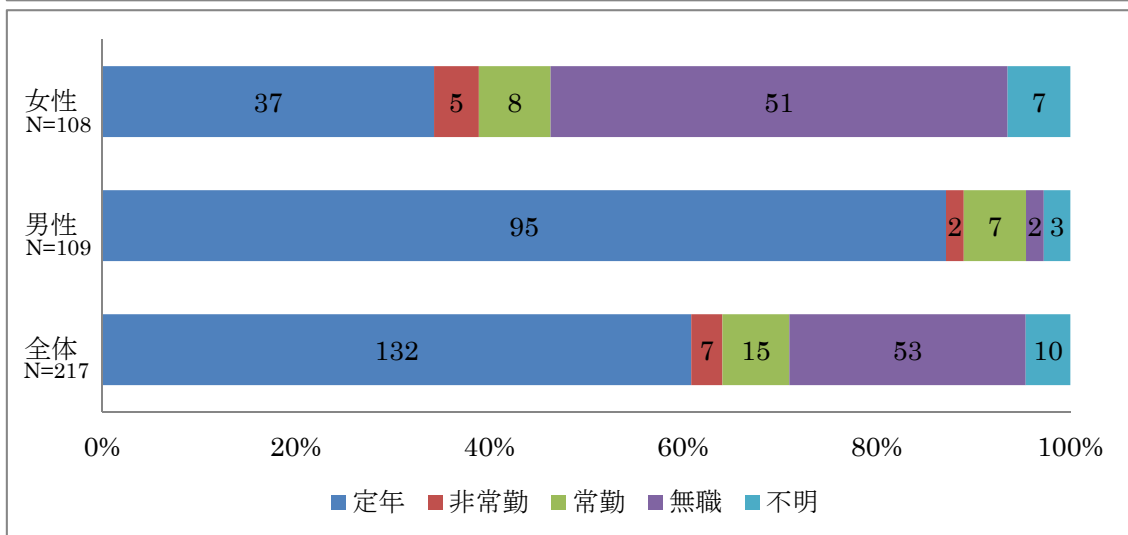
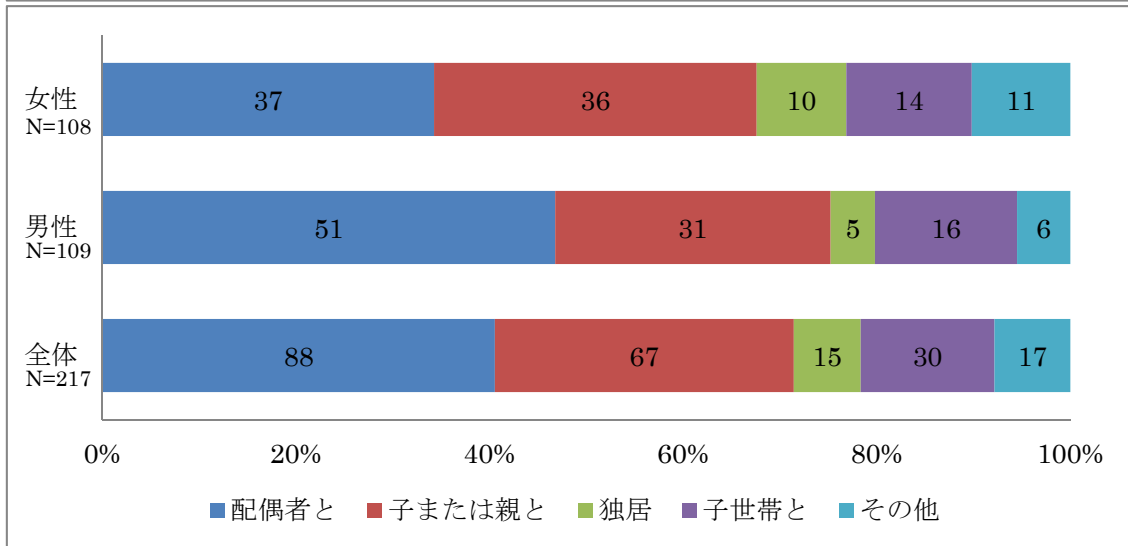
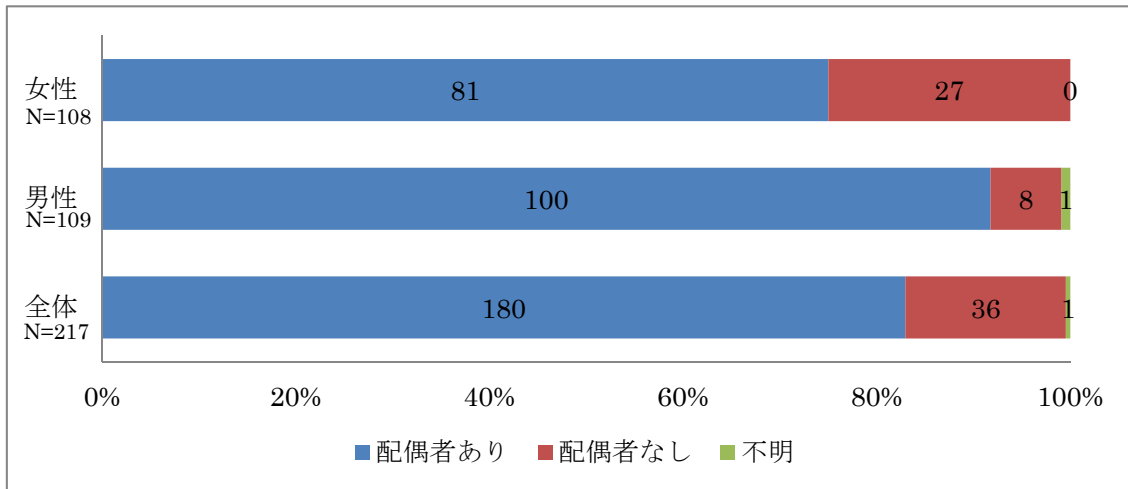


図2 上：配偶者有無 中：同居形態 下：仕事の状況

※棒グラフ内の数値は人数を表わす

2)実施作業の実態

(1) 毎日家で行われている作業

①種類と数：毎日家で行われている作業の総数は 203 種類であった。男女別に見ると、男性 143 種、女性 142 種であり、内容は異なるがほぼ同数であった。1 日の一人当たりの平均実施作業数は 8.01 種であった。調査は朝・昼・晩に分けて行ったが、一人当たりの平均実施作業数は朝が 3.47 種、昼が 2.58 種、晩が 1.96 種であり、その実施種類は朝が一番多かった。また、時間帯別に男女を比較すると、どの時間帯においても女性の方が種類は多かった。内容を表 2 に示す。

表2 実施作業数

	全体	男性	女性
朝	3.47 種	2.52 種	4.41 種
実 施 数 昼	2.58 種	1.94 種	3.08 種
晩	1.96 種	1.45 種	2.55 種

②多くの人が挙げた作業：男女別に多くの人が挙げた作業項目の上位 10 種類を表 3 および表 4 に示す。男性ではゴミ出しや仏壇・神仏に水をあげる等家事の一部の実施の他は、散歩や畑仕事など主に家周辺で行われる屋外活動が多く挙げた。それに対し女性では、洗濯や食事作りなど、家の中で行われる代表的な家事活動が多く挙げた。全 203 種類の作業項目のうち、男性の挙げた項目 143 種とその項目を挙げた人数を表 5 に、女性の挙げた 142 種とそれを挙げた人数を表 6 示す。

表 3 男性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	ゴミ出し
2	テレビ見る
3	仏壇に水あげ
4	植木に水
5	散歩
6	畑仕事
7	神様に水あげ
8	新聞読む
9	掃除
10	家周辺の清掃

表 4 女性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	洗濯
2	朝食作り
3	夕食の支度
4	掃除
5	買い物
6	昼食の支度
7	ゴミ出し
8	仏壇に水あげ
9	食事後の片づけ
10	テレビ見る

表5 毎日家で行われている作業 男性143種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
ゴミ出し	54	メダカのえさやり	7	体重測定	3	果物の準備	1	OB会の仕事	1
テレビ見る	39	家の戸締り	7	自治会との打ち合わせ	3	味噌汁作る	1	水泳	1
仏壇に水あげ	27	洗濯	6	公民館の予定確認	3	朝食準備の補佐	1	ボランティア	1
植木に水	25	草花に水やり	6	囲碁	3	朝食の配膳	1	新聞の切り抜き	1
散歩	25	読書	6	グランドゴルフ	3	雑巾がけ	1	親戚の手伝い	1
畑仕事	24	朝食	5	酒を飲む	3	エアコンの清掃	1	太極拳	1
神様に水あげ	18	神仏に手を合わす	5	家事手伝い	2	片づけ	1	仏壇の清掃	1
新聞読む	17	草木の手入れ	5	食器拭き	2	道路のプランター水やり	1	回覧板回す	1
掃除	15	パソコン	5	窓を開ける	2	スポーツジム	1	図書館へ行く	1
家周辺の清掃	14	入浴	5	昼食食べる	2	ワンハンドバレー	1	アイロン掛け	1
草取り	14	血圧測定	5	コーラス	2	卓球練習	1	孫の面倒見る	1
布団上げる	13	自治会の用事	5	趣味	2	外出	1	ゴミ集積所の見回り	1
風呂掃除	13	昼食の支度	4	歯磨き	2	トイレ	1	海岸の巡回	1
布団敷く	13	夕食の支度	4	洗顔	2	亀のえさやり	1	洗濯ものの片づけ	1
庭の清掃	11	登下校ガード	4	なんとなく過ごす	2	猫のえさやり	1	書店めぐり	1
犬の散歩	11	新聞取る	4	ペットにえさやり	2	犬のえさやり	1	政治の勉強	1
仕事	11	体操	4	家計簿つける	2	手帳の記入	1	文化の勉強	1
庭の水やり	10	ウォーキング	4	インシュリン注射	2	自治会の会計処理	1	家の手入れ	1
布団干す	9	バイト	4	事務用事	2	役所と諸問題の交渉	1	居酒屋で一杯	1
買い物	9	買い物の運転手	4	詩吟	2	店の清掃	1	回覧をみる	1
朝食作り	8	雨戸をあける	3	会議に出席	2	子供の見送り	1	孫をお風呂に入れる	1
風呂の支度	8	ゴミまとめる	3	組内の見回り	2	帳簿の整理	1	お金の管理	1
金魚えさやり	8	洗濯取り込み	3	病気の治療通院	2	農具の調整	1	酒のつまみの支度	1
日記つける	8	新聞の片づけ	3	昼休み	2	車の手入れ	1	明日の計画を記す	1
食器洗い	7	運動	3	神仏から下げる	2	自転車の庭出し	1	早く床に入る	1
食事後の片づけ	7	野菜取り	3	夕食食べる	2	野球	1	寝る	1
洗濯干す	7	昼寝	3	雨戸閉める	2	野菜作り	1	活動記録	1
家庭菜園の手入れ	7	親の介護	3	ヨーグルトを作る	1	書道	1	ラジオ	1
		カラオケ	3	ヨーグルトにバナナ入れ	1	山歩き	1	町内会の仕事	1

表6 毎日家で行われている作業 女性142種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
洗濯	82	夕食買い出し	9	加工品作り	4	水泳	2	前日スケジュールの反省	1
朝食作り	80	散歩	8	編み物	4	孫の面倒見る	2	友人連絡の確認	1
夕食の支度	76	昼食食べる	8	花を生ける	4	料理	2	当日スケジュールの確認	1
掃除	67	野菜の出荷と準備	8	金魚えさやり	3	絵手紙	2	今日のやり残り確認	1
買い物	51	庭の清掃	7	血圧測定	3	布団の取り込み	2	トラブル解決策考える	1
昼食の支度	48	仕事	7	野菜取り	3	娘の家の片づけ	2	明日も良い日と祈る	1
ゴミ出し	46	朝食	7	家事手伝い	3	子供の見送り	2	のみたき	1
仏壇に水あげ	39	猫のえさやり	7	歯磨き	3	メダカのえさやり	1	家族の挨拶	1
食事後の片づけ	30	ラジオ体操	7	洗顔	3	家の戸締り	1	業務用の麺作り	1
テレビ見る	25	風呂の支度	6	犬のえさやり	3	新聞取る	1	筋トレ	1
家計簿つける	23	夕食食べる	6	帳簿の整理	3	バイト	1	生ゴミで堆肥作り	1
洗濯取り込み	22	友人と打ち合わせ	6	お湯を沸かす	3	親の介護	1	外の空気で気分転換	1
植木に水	20	パソコン	5	親戚に電話・話	3	窓を開ける	1	ガラスアート	1
布団干す	20	運動	5	布団上げる	3	なんとなく過ごす	1	来客対応	1
洗濯ものの片づけ	20	昼寝	5	食器洗い	2	書道	1	銀行関係	1
日記つける	17	趣味	5	神仏に手を合わす	2	新聞の切り抜き	1	トイレ掃除	1
畑仕事	16	昼休み	5	草木の手入れ	2	仏壇の清掃	1	自分のやりたい事	1
草花に水やり	16	アイロン掛け	5	雨戸をあける	2	ラジオ	1	ハーモニカ	1
片づけ	16	弁当作り	5	ゴミまとめる	2	麦茶わかす	1	祖母の話相手	1
風呂掃除	14	ストレッチ	5	カラオケ	2	主人のお弁当作り	1	トレーニング	1
ウォーキング	14	姑の介護	5	コーラス	2	稲荷神社のお参り	1	近所付き合い	1
犬の散歩	13	裁縫	5	ペットにえさやり	2	外に水まく	1	子供の迎え	1
草取り	11	手芸	5	事務用事	2	網戸とガラス拭き	1	孫の送迎	1
入浴	11	翌日スケジュールの確認	5	雨戸閉める	2	水中ウォーキング	1	勤務日誌	1
神様に水あげ	10	家周辺の清掃	4	スポーツジム	2	踊り	1	パズル	1
新聞読む	10	洗濯干す	4	卓球練習	2	パン作り	1	ギター	1
読書	10	体操	4	外出	2	シャワー	1	音楽鑑賞	1
庭の水やり	9	お経をあげる	4	手帳の記入	2	家庭菜園の手入れ	1	ゲームする	1
				布団敷く	2	鯉のえさやり	1	化粧	1

(2) 近所付き合いや友人との活動など地域で行われている作業

①種類と数：近所付き合いや友人との活動など地域で行われている作業の総数は 197 種類であった。一人当たりの平均実施作業数は 2.5 種であった。男女別に見ると、男性は 123 種類、女性は 103 種類であった。毎日、家でで行われている作業の種類では男女とも同数で差が見られなかったが、地域で行われている作業の種類は男性の方が多かった。全 197 種類の作業項目のうち、男性の挙げた 123 種とそれを挙げた人数を表 9 に、女性の挙げた 103 種とそれを挙げた人数を表 10 に示す。

②多くの人が挙げた作業：男女別に多くの人が挙げた作業項目の上位 10 種類を表 7 および表 8 に示す。男性では地域の各種役員等や小学生のパトロール等地域に貢献する作業が多く挙げた。それに対し女性は、項目の内容はほぼ男性と同じであるが、友人との集まりなど個人的な楽しみ要素の強い作業が上位にある事と、特になしという項目が上位項目に挙げられている特徴があった。

表 7 男性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	老人会役員
2	小学生の登下校 パトロール
3	神社の清掃
4	自治会役員
5	公園の除草と清掃
6	町内会役員
7	お寺の世話人
8	老人会の出番
9	友人との集会幹事
10	神社役員

表 8 女性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	友人とのお世話・集まり
2	老人会役員
3	神社の清掃
4	公園の除草と清掃
5	ボランティア
6	小学生の登下校 パトロール
7	町内会役員
8	老人会集会
9	特になし
10	駅前の花壇の草取り

表9 地域の中で行われている作業 男性123種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
老人会役員	27	陸上大会の審判	2	余興部のカラオケ	1	組長会	1	桜を守る会役員	1
小学生の登下校パトロール	17	友人活動	2	フラットマロニエの幹事	1	定例会	1	市民の会役員	1
神社の清掃	16	管轄内見回り	2	シルバー大学08会幹事	1	団子焼き事業	1	水泳組合の役員	1
自治会役員	14	地区内パトロール	2	会社08囲碁クラブ幹事	1	庭木の手入れ	1	農協役員	1
公園の除草と清掃	13	自治会パトロール	2	趣味会の幹事	1	地元同級生集い	1	社協副会長	1
町内会役員	13	海岸の清掃	2	菊花愛好会の参加	1	登山仲間と山登り	1	神社行事運営	1
お寺の世話人	8	集会所の掃除	2	キャンペーン活動	1	地区内親睦会当番	1	公民館活動の助言	1
老人会の出番	8	家の周りの掃除	2	卓球練習予定作り	1	近所付き合い	1	公民館見回り	1
友人との集會幹事	7	地区道路清掃	2	グランドゴルフ練習予定作り	1	地域行事の参加	1	自治会副会長	1
神社役員	5	08会役員	2	囲碁同好会の運営	1	旅行の幹事	1	老人会行事計画	1
自治会活動	5	お寺の境内の掃除	2	体育部の行事	1	山歩き計画と引率	1	地区育成会会長	1
自治会清掃	5	町内会行事	2	創友会j活動	1	防災部消火班	1	お隣子会副会長	1
広報誌の配布	4	公民館行事計画	2	カラオケ同好会指導	1	美化活動	1	土地改良役員	1
防犯活動	4	公民館役員	2	誕生会準備	1	遊園地の清掃	1	区議会議員	1
駅前の花壇の草取り	4	老人会集會	2	史跡ガイド	1	新年会	1	祭り囃し太鼓保存会指導	1
自治会集會	4	老人会旅行	2	前会社仲間との集い	1	忘年会	1	環境推進委員	1
老人会会長	4	ふれあいサロン幹事	2	シルバー人材センター	1	役員会	1	商店街顧問	1
囲碁クラブ	3	カラオケ同好会参加	2	ピンポン便りの配布	1	会計簿の作成	1	取引銀行の総代	1
同窓会幹事	3	麻雀	2	会釈・挨拶	1	提出文書の整理	1	スプリング組合の役員	1
友人との旅行	3	地域の歴史相談に乗る	2	グランドゴルフ会長	1	交通指導	1	ほ揚組合の役員	1
ゴミ集積所の管理	3	挨拶運動	2	コーラス会会長	1	行事の設営と実施	1	ガイド協会役員	1
公民館館長	3	バードゴルフ	1	町内ゴルフ仲間役員	1	体操に参加	1	友人と飲み会	1
ゴルフ	2	コーラス参加	1	卓球同好会会長	1	カラオケ会集まり	1	友人同士とカラオケ	1
カラオケ会長	2	趣味会の参加	1	歴史探訪同好会幹事	1	グランドゴルフ会事務	1	友人とお世話・集まり	1
				テニス勇士の集まり	1	ダンス教室	1	移送ボランティア	1

表10 地域の中で行われている作業 女性103種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
友人のお世話	20	年2回絵手紙を楽しむ会	3	老人会会長	2	カラオケ部屋の整理	1	料理教室	1
老人会役員	18	友人同士とカラオケ	3	老人会の出番	2	庭の手入れ	1	コーラス会計	1
神社の清掃	17	友人との旅行の計画	3	町内会集金	1	主人の活動の補佐	1	友遊会	1
公園の除草と清掃	11	友人と散歩	3	隣組の組長	1	来客対応	1	近所の買い物	1
ボランティア	11	同窓会幹事	3	08会役員	1	組長会	1	趣味集まりの幹事	1
小学生の登下校パトロール	9	神社行事の手伝い	2	地区生協役員	1	公の部分はリタイヤ	1	体操サークル幹事	1
町内会役員	8	隣組活動の協力	2	すみれ会会員	1	地域福祉コーディネータ	1	健康クラブ活動	1
老人会集會	7	JA女性部員	2	健康普及員	1	生ゴミクラブ地域係	1	ギターサークル	1
特になし	7	海岸の清掃	2	家の周りの掃除	1	地域活動	1	ふれあいスポット参加	1
駅前の花壇の草取り	5	ゴミ集積所の管理	2	美化活動	1	年長者として経験を伝え	1	書道の会集い	1
自分で献立を立て食事会	5	友人との集會幹事	2	配食ボランティア	1	東京営業所会議	1	サークル活動	1
近所付き合い	5	友人との旅行	2	老人見回り	1	お稽古場所の申し込み	1	グランドゴルフ参加	1
回覧板を回す	5	友人とお稽古	2	留守宅の見回り	1	会費払う	1	民謡クラブ	1
定例会	5	農家の主婦仲間と会合	2	独居病弱人の見回り	1	サロン・生け花の手伝い	1	月2-3回の勉強会	1
体操に参加	5	広報誌の配布	2	施設の方に清掃布作り	1	健康体操を公民館でやる	1	月2回の読書会の参加	1
公民館の当番・清掃	4	会釈・挨拶	2	おぼちゃんの話相手	1	キャンペーン活動	1	友人との電話連絡	1
地区道路清掃	4	女性部会	2	独居老人宅清掃	1	母親クラブの定例会	1	地域行事の参加	1
孫の子守り	4	創友会j活動	2	貸し農園の管理	1	カラオケ会集まり	1	掃除	1
自治会役員	3	サークル会計係	2	友人活動	1	卓球の練習	1	毎日車で買い物	1
		コーラス参加	2	友人とウォーキング	1	老人会女性部長	1	自治会の組長	1
		踊りの練習	2	友人の買い物の手伝い	1	老人会での行事の声掛け	1	公民館役員の仕事	1

(3)1週間, 1ヵ月, 1年間のサイクルの中で行われている作業

①種類と数：日々の生活を長いサイクルで考えた時に行われる作業について調査した。全体では155種の作業が挙がり, 男性で95種, 女性で87種と男性の方が少し多い結果であった。一人当たりの平均実施作業数は2.1種であった。全155種のうち, 男性の挙げた95種とそれを挙げた人数を表13に, 女性の挙げた87種とそれを挙げた人数を表14に示す。

②多くの人が挙げた作業：男女別に多くの人が挙げた作業項目の上位10種類を表11および表12に示す。長い期間で生活を考えた場合も男性は地域での活動を挙げており, 上位3位は地域での活動であった。一方女性は上位3位が家庭に関する活動であるという特徴があった。

表11 男性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	神社の春・夏・秋祭りの準備
2	老人会の集会
3	自治会の会合
4	老人会の旅行と世話
5	家族旅行の計画
6	趣味会大会のまとめ
7	老人会新年会
8	季節変わり目に衣料入れ替え
9	同窓会の幹事
10	旅行の計画

表12 女性が多く挙げた作業

順位	作業名
1	季節変わり目に衣料入れ替え
2	年4回お墓参り
3	お正月準備
4	ボランティア活動
5	神社の春・夏・秋祭りの準備
6	筋トレ・体操教室
7	老人会の集会
8	家族旅行に行く
9	お盆の用意準備
10	親戚付き合い

表13 1週間・1ヶ月・1年間サイクルで行われる作業 男性95種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
神社の春・夏・秋祭りの準備	12	年に1回通院	2	神棚の榊交換	1	ゴルフ	1	育成会総会	1
老人会の集会	8	老人会の仕事	2	ブログの写真取り	1	親戚付き合い	1	育成会ハイキング企画	1
自治会の会合	8	年4回お墓参り	2	ガイド員研修の計画	1	畑仕事	1	小学生のお囃子指導	1
老人会の旅行と世話	7	老人会会計業務	2	梅まつり期間のガイド	1	みかん収穫手伝い	1	扇風機暖房機の入替え	1
家族旅行の計画	6	ドアと庭の掃除	2	家庭菜園	1	毎週テニス	1	月1神棚の掃除	1
趣味大会のまとめ	5	筋トレ・体操教室	2	果樹の管理	1	主人も主婦もこなす	1	神社初詣	1
老人会新年会	4	毎月選挙管理委員仕事	1	週1の朝一友人との交流	1	ガイド協会の仕事	1	町内会の仕事	1
季節毎の衣料入れ替え	4	自治会関係仕事が多い	1	週1「ローリークラブ」の例会	1	市老連の配り物	1	公民館の仕事	1
同窓会の幹事	4	各団体のイベント	1	絵画教室	1	山菜とり	1	1日と15日に神棚に榊	1
旅行の計画	4	3月のタケノコ堀	1	美術展	1	キノコ採り	1	メディカル体操の参加	1
防災訓練	3	8月の栗林草刈と栗拾い	1	観音巡礼年1回計画参拝	1	小学生・防犯パトロール	1	スポーツ大会	1
組内の仕事	3	10月お茶木の整理	1	年末大掃除	1	入浴会の企画	1	公民館主催旅行の計画	1
カラオケ練習	3	春・秋で野球リーグの試合	1	いきがい奨励行事	1	地域内草取り・清掃	1	商店街の仕事	1
自治会の仕事	3	役員会資料の作成	1	いい気清掃部の計画実	1	月にⅢ-4回散歩	1	寺院建設委員会	1
パードゴルフ	2	歯の検診	1	文化祭の準備と実施	1	グランドゴルフ同好会	1	趣味の会のパーティー	1
老人会総会	2	公民館使用予定表作成	1	正月前の餅つき	1	友人と旅行計画	1	週3回神社のさい銭収集	1
ボランティア活動	2	自治会役員	1	健民祭り	1	少年野球大会の副審判長	1	田植えの準備	1
山車の運行協力	2	OB会役員旅行計画	1	元旦祭り、除夜の鐘の準備	1	月に1度カラオケ	1	稲刈りの準備	1
庭木の剪定	2	老人会スポーツ大会	1	お盆の用意準備	1	神社祭礼時のしめ縄作り	1	カレンダーめくり	1

表14 1週間・1ヶ月・1年間サイクルで行われる作業 女性87種 項目と人数

項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数	項目	人数
季節毎の衣料入れ替え	41	お誕生会	3	地藏参り	1	山菜グループ旅行	1	風呂掃除	1
年4回お墓参り	11	大掃除	3	豆まき	1	カラオケグループ昼食会	1	生活全般全て	1
お正月準備	8	梅干し・梅ジュース作り	3	らっきよ漬け	1	絵手紙展示会	1	ソバ打ち	1
ボランティア活動	7	家族旅行の計画	3	週3回孫の部活弁当作り	1	女子会	1	青色確定申告の準備	1
神社の春夏秋冬祭りの準備	7	小学生・防犯パトロール	3	娘の洗濯と台所片づけ	1	防犯打ち合わせ	1	市の講座に参加	1
筋トレ・体操教室	7	農業	2	老人会の旅行と世話	1	生け花教室運営	1	神社敬神婦人会	1
老人会の集会	6	里帰り	2	老人会会計業務	1	金魚の水取り換え	1	押し入れ・台所整理整頓	1
家族旅行に行く	6	部屋の整理	2	カラオケ練習	1	月1度人様の相談に乗る	1	防犯グッズの確認	1
お盆の用意準備	5	年越し準備	2	老人会の仕事	1	年に1度金時山登山	1	年1職場OB旅行	1
親戚付き合い	5	部屋の模様替え	2	趣味の会のパーティー	1	神社の榊交換	1	クリスマス会	1
友人と旅行計画	5	健康診断	2	公民館の仕事	1	布団の入れ替え	1	月1勉強会	1
色々なお稽古事	5	老人会新年会	2	月に1度神社の清掃	1	車の掃除	1	病氣しない努力	1
庭木の剪定	4	各団体のイベント	2	登山計画	1	中元・歳暮の手配	1	歌の発表会	1
ドアと庭の掃除	4	同窓会の幹事	2	月1度ウォーキング	1	1日と15日に稲荷様掃除	1	母子会の年始会	1
食器棚とガラス戸掃除	4	自治会の会合	2	姑の病院付き添い	1	近所付き合い	1	母の日行事	1
友人との付き合い	4	月に数回子供達と温泉	1	みかんの摘果	1	いとこ会旅行	1	犬のトリミング	1
家庭菜園	3	月に1度お経の練習	1	秋に柿の収穫	1	読書会の読書	1		

3)KJ法におけるグループ分けの手法による分類結果

実施作業の実態の中で、毎日家で行われている作業 203 種、及び近所付き合いや友人との活動など地域生活で行われている作業 197 種は、共に日頃の生活の中で行われる日常的な作業であると判断された為、これらを合わせた 400 種を日々行われている作業として、KJ法におけるグループ分けの手法による分類を行った。その結果、中項目として 81 種、大項目として 32 種が得られた。得られた項目の大項目を【】内に示し、中項目を<>内に示す。ここでは更に、各作業がイメージしやすい様、その作業が主に行われる場所 3 か所、すなわち家の中／家の敷地や家周辺／地域、に分けて記載する。全体のカテゴリー分類結果は表 15 に示す。

(1)主に家の中で行われる作業

【家事活動】ここには一般的な家事活動が含まれるが、なるべく回答の記載表現を残し中項目を抽出した。<食事の支度／食事の片づけ／食事準備の手伝い／お弁当作り／ゴミ出し／整理整頓／掃除（家の中）／戸締り／朝の窓開け／洗濯／布団の上げ下げ／家事・家事手伝い>

【ADL】日常生活活動は日常の役割や習慣である作業とは意味合いが異なると筆者は考えたが、習慣や役割は何か？という質問に対し一定量の ADL 活動が得られたことから、項目として残した。また、挙げられた ADL は、限られたものであったことも特徴である。<食事を摂る／入浴／整容／トイレ>

【台所回りの活動】ここには、家事活動とは異なる時間帯に、食事をとる為の料理ではなく趣味や習慣として台所に立つという活動をまとめた。<加工品作り／料理>

【宗教的活動】ここには活動場所に関わらず、宗教に関する活動をまとめた。<宗教・お参り／神棚・仏壇のお参り>

【家族の世話的活動】ここには同居、非同居にまたは、親に対して、子に対してに関わらず、家族の世話に関わる活動をまとめた。

【家庭管理】金銭にかかわる管理を家庭管理としてまとめた<家計簿管理>

【休み】<休み（昼寝）>

【家でのゆとり活動】ここには、家の中でのくつろぎ時間と思われる作業をまとめた<酒を呑む／花を生ける／TVを見る>

【自分と向き合う活動】ここには健康管理など、自分自身をと向き合い見つめる活動をまとめた<医療ケア・健康の自己管理／日記を書く>

(2)主に家の敷地や家の周辺で行われる作業

【人との交流活動】ここには様々な人との交流をまとめた。友人との交流にはただお茶をするや、世間話等すること、何かを一緒にするような活動などがあり、それぞれの要素を残して中項目を抽出した。＜友人とお茶会／友人と会合（お話呑み）／友人と活動（お話呑みを除く）／趣味サークル参加／同窓会・OB会／来客対応＞

【仲間の取りまとめ】ここには単に人との交流や参加ではなく、取りまとめとして自ら運営に関わるような作業をまとめた。＜趣味サークル運営＞

【自分を磨く楽しみ活動】ここには大きく趣味に分類されるであろう項目であるが、自分の為に使う時間の中でも楽しみに限った活動とした。＜お稽古／習い事＞

【自分を磨く知的活動】ここには自分の為に使う時間の中でも、知的好奇心による活動をここにまとめた。＜シルバー大学／生涯学習＞

【音楽活動】音楽活動は楽しみの活動であるが、自分を磨く目的よりも、単純に楽しむことが多く、また、楽器やコーラスなど様々な種類が見られたことから、独立して音楽活動としてまとめた。＜カラオケ／楽器演奏・音楽／コーラス＞

【楽しみ活動】ここには趣味活動や外出を楽しみ活動としてまとめた。＜趣味活動／外出・お出かけ＞

【気分転換活動】ここでは散歩を気分転換活動とした＜散歩＞

【家周辺の活動】ここには主に玄関先や家の外側など、家の周辺で行われる事が多い活動をまとめた。＜大工・家の修理／水撒き(家の周辺)／手入れ＞

【庭での活動】ここには庭で行われる事の多い活動をまとめた。＜園芸・家庭菜園／庭の手入れ・水やり＞

【自宅周辺の家事活動】ここでは地域での活動の中でも自分自身や家族の為に、家事の運営に必要な活動をまとめた＜買い物／お金の出し入れ＞

【近所の交流活動】ここには人との交流の中でも、地域の中で行われる義務的な要素の強い活動をまとめた＜回覧板をまわす／ご近所つきあい＞

【ペットの世話】ここにはペットの世話をまとめた＜ペットの世話＞

(3)主に地域で行われる作業

【体を動かす活動】ここには、様々なスポーツを含む体を動かす活動をまとめた。なかでも卓球や山歩きは調査対象世代の青年期に流行りを見せた活動であることから、中項目として名前を残した＜体を動かす／卓球／山歩き＞

【地域を守る活動】ここには地域の活動の中でも地域住民の為に、間接的に地域に暮らす他者へ貢献する事ができる活動をまとめた＜掃除(地域・お寺・神社)／地域文化保全(太鼓など)／地区パトロール／防犯活動＞

【地域での人の為の活動】ここには、直接的に地域に暮らす他者へ貢献する事ができる

活動をまとめた<ボランティア活動/トラブル解決係>

【地域活性化の活動】ここには、地域を盛り上げたり円滑にしたり、活性化させるために行っている活動をまとめた<地域組織参加・運営/資格による活動/神社の行事手伝い/地域の当番/キャンペーン活動>

【老人会活動】ここには地域の中の活動でも、多くの人に挙げた老人会活動をまとめ、大項目にはその名前をそのまま残した<老人会参加・運営/老人会旅行>

【町内会活動】ここには老人会とは別に行われる町内会の活動をまとめた<町内会参加・運営>

【自治会活動】ここには、老人会、町内会とも別に行われる自治会活動をまとめた<自治会活動/婦人会>

【親族との交流】ここには親族に限った人との交流をまとめた<親戚付き合い>

【仕事】ここには仕事をまとめた<仕事・アルバイト>

【集団内での役割】ここには各種役員や会長など、様々な役職などの役割をまとめた<長/幹事/役員/部長/委員>

【その他】ここには、役割や習慣が特にないとの回答をまとめた<特になし>

表 15 KJ法による分類結果

大項目	中項目	得られた作業
家事活動	食事の支度	朝食の支度／昼食の支度／夕食の支度／お湯・麦茶を沸かす
	食事の片づけ	食事後の片づけ／食器洗い／食器拭き
	食事準備の手伝い	朝食準備の補佐／朝食の配膳／果物の準備／ヨーグルトに果物を入れる
	お弁当作り	お弁当作り／主人のお弁当作り
	ゴミ出し	ゴミ出し／ゴミをまとめる
	整理整頓	片づけ／カラオケ部屋の整理
	掃除（家の中）	掃除／雑巾がけ／網戸とガラス拭き／トイレ掃除／風呂掃除／エアコンの掃除
	戸締り	家の戸締り／雨戸締める
	朝の窓開け	窓を開ける／雨戸をあける
	洗濯	洗濯 洗濯を干す 洗濯を取り込む 洗濯物の片づけ
	布団の上げ下げ	布団を上げる 布団を干す 布団を取り込む 布団を敷く
	アイロンがけ	アイロンがけ
家事・家事手伝い	家事手伝い 主人の活動の補佐	
ADL	食事を摂る	朝食を食べる 昼食を食べる 夕食を食べる
	入浴	入浴 シャワー 風呂の支度
	整容	洗顔 歯磨き 化粧
	トイレ	トイレ
台所回りの活動	加工品作り	加工品作り ヨーグルト作り パン作り
	料理	料理 味噌汁作り
宗教的活動	宗教・お参り	お経をあげる 稲荷神社へのお参り
	神棚・仏壇のお参り	仏壇・神棚への水の上げ下げ 仏壇の清掃 神仏に手を合わせる
家族の世話的活動	子供・孫の世話	子供の送迎 娘の家の片づけ 孫の送迎 孫をお風呂に入れる 孫の子守
家庭管理	親の世話	親の介護 姑の介護 祖母の話相手
家庭管理	家庭管理（会計簿）	家計簿つける お金の管理 帳簿の整理
休み	休み（昼寝）	昼寝 昼休み 寝る・早く床に入る
人との交流活動	友人とお茶会	献立を立てて友人と食事会 友人と飲み会
	友人と会合（お話のみ）	友人と打ち合わせ 友人と旅行計画 農家主婦仲間との会合
	友人と活動（おしゃべりだけを除く）	友人と散歩・ウォーキング 友人とカラオケ等 友人と旅行 友人とお稽古 忘年会・新年会・誕生会等
	趣味サークル参加	趣味会の参加 書道の会／菊花愛好会／生け花の会 テニス有志の会／健康クラブ活動
	同窓会・OB会	OB会役員・役割 シルバー大学OB会幹事 同窓会幹事 地元同級生集まり
仲間の	来客対応	来客対応
自分を磨く	趣味サークル運営	趣味サークル会計係 趣味サークル事務・運営 練習予定作り お稽古場
自分を磨く知的活動	お稽古・習い事	料理教室／絵手紙教室／ダンス教室 民謡クラブ／囲碁クラブ
音楽活動	カラオケ	カラオケ カラオケ会の集まり カラオケ同好会
	楽器演奏・音楽	音楽鑑賞 ギター／ハーモニカ
	コーラス	コーラス コーラス参加
楽しみ活動	趣味活動	読書／書道／絵手紙／ガラスアート 手芸／裁縫／編み物 詩吟／書店巡り パズル／囲碁／麻雀ゲーム／パソコン 自分のやりたい事をする
	外出・お出かけ	外出
気分転換活動	散歩	散歩 外の空気で気分転換
体を動かす活動	体を動かす	筋トレ／体操／運動 ストレッチ／太極拳／ラジオ体操 ウォーキング／水中ウォーキング／踊り トレーニング／スポーツジム／水泳 ゴルフ／バードゴルフ／グランドゴルフ 野球／ワンハンドバレー
	卓球	卓球練習
	山歩き	登山仲間と山登り 山歩き計画と引率 山歩き
自分と向き合う活動	医療ケア・健康の自己	体重測定 血圧測定 インシュリン注射 病気の治療通院
	日記を書く	日記を書く 手帳の記入 前日の反省・本日のやり残し・翌日の予定確認 活動記録
家周辺の活動	大工・家の修理	家の手入れ
	水撒き（家の周辺）	外に水をまく
庭での活動	手入れ	車の手入れ 農具の調整 自転車の庭出し
	園芸・家庭菜園	野菜作り 家庭菜園の手入れ 生ごみで堆肥作り
	庭の手入れ・水やり	庭の手入れ・清掃 庭の水やり・草取り 植木・草木の手入れ 草花に水やり
地域での家事に関する	買い物	近所の買い物 夕食の買い出し 買い物の運転手 友人の買い物の手伝い
	お金の出し入れ	銀行関係 会費払う

表 15 続き

大項目	中項目	得られた作業
地域を守る活動	掃除 (地域・お寺・神社)	家周辺の掃除 独居老人宅の掃除 地区道路・集会所・公民館の掃除 神社・お寺の境内の掃除 遊園地・海岸の掃除 駅前花壇の草取り 公園の除草と清掃 自治会清掃・美化活動
	地域文化保全 (太鼓等)	0史跡ガイド 祭り囃し太鼓保存会指導員 年長者として自分の経験を伝える
	地区パトロール	老人・病人・留守宅の見回り 小学生登下校ガード 交通指導・ゴミ集積所の見回り 海岸・公民館・組内見回り 自治会・地区内・管轄内見回り
地域での人の為の活動	防犯活動	防犯活動 防災部消化班
	ボランティア活動	ボランティア 配食ボランティア 移送ボランティア 施設に清掃布巾作り
地域活性化の活動	トラブル解決係	トラブル解決策を考える 役所との諸問題の交渉 明日も良い日が来るよう祈る
	地域組織参加・運営 (老・町・自を除く)	公民館行事計画 公民館役員の仕事 地域行事の設営・実施・参加 (団子焼き/体育部/母親クラブ 等) 隣組活動の協力 組長会・定例会・役員会 会議に出席
	資格による活動	陸上大会の審判 健康普及員 カラオケ同好会指導
	神社の行事手伝い	神社行事運営 神社行事手伝い
	地域の当番	ゴミ集積所の管理 地区親睦会当番 貸し農園の管理 生ごみクラブ地域係
老人会活動	キャンペーン活動	キャンペーン活動
	老人会参加・運営	老人会集會 老人会行事計画 老人会での行事の声かけ
町内会活動	老人会旅行	老人会旅行
自治会活動	町内会参加・運営	町内会集會 会計簿の作成 町内会の仕事
	自治会活動	自治会活動 自治会との打ち合わせ 自治会の会計処理
家でのゆとり活動	婦人会	女性部会/JA女性部員 老人会女性部長
	酒を呑む	酒を呑む 居酒屋で一杯 酒のつまみの支度
	花を生ける	花を生ける
近所の交流活動	TVを見る	テレビを見る ラジオ
	回覧板を回す	回覧板を回す 回覧板を見る
親族との交流	ご近所付き合い	近所付き合い
仕事	親戚付き合い	親戚に電話・話 親戚の手伝い
	仕事・アルバイト	仕事・バイト シルバー人材センター 店の清掃 業務用の麵作り 畑仕事 野菜の出荷と準備 区議会議員 勤務日誌 事務用事
集団内での役割	〇〇長	老人会会長/自治会副会長/社協副会長 地区育成会会長/公民館館長 自治会組長/隣組組長 お寺の世話人/商店街顧問/取引銀行の総代 カラオケ会長/コーラス会会長/お囃子会副会長 グランドゴルフ会長/卓球同好会会長
	〇〇幹事	友人との集會幹事/趣味会の幹事/旅行の幹事 ふれあいサロン幹事/地区行事の幹事 会社OB囲碁クラブ幹事/歴史探訪同好会幹事 体操サークル幹事
	〇〇役員・部員・委員	自治会役員/老人会役員/町内会役員 公民館役員/地区生協役員/市民の会役員 農協役員/土地改良役員/環境推進委員 神社役員/ガイド協会役員/地区の桜守る会役員 水泳組合役員/スプリンクラー組合役員 町内ゴルフ仲間役員
生き物の世話	ペットの世話	犬の散歩 犬のえさやり/猫のえさやり/亀のえさやり メダカのえさやり/鯉のえさやり/金魚のえさやり
その他	特になし	特になし 公の部分はリタイヤ なんとなく過ごす

2. 結果 2：作業の特徴

1) 基本属性を視点とした作業の特徴

KJ 法におけるグループ分けの手法により得られた 81 項目の作業に関し、全体および、性別別の 2 群、前期高齢者・後期高齢者の 2 群、作業実施数別 3 群に分けたものについて、81 項目それぞれの作業の実施有無と、各基本属性とのクロス集計を行った。作業実施の有無と、基本属性の種別についての関連性をみるために χ^2 検定、Fisher の直接法を用いた有意検定を実施し、有意差のあった項目について以下に属性ごとに示す。何が有意であったのかについては、観測度数から期待度数を引いた残差をみて解釈を行った。本分析は、評価の際の視点を検討することを目的としている為、より詳細な特徴を得られるよう、抽象度の高い 32 大項目ではなく、81 中項目を分析の対象とした。

<全体における作業の基本属性に関連した特徴 n=217>

(1)性別

性別においては最も多く有意差のある作業項目が得られた。男性全体に特徴的にみられた作業は、戸締り／散歩／地区パトロール／防犯活動／自治会活動／仕事・アルバイト／〇〇長／〇〇役員 8 種であった。いずれも家の周囲や地域での作業であり、家の中で男性が行う可能性が有意に高い作業は戸締りだけであった。(表 16)

表16 男性の行う割合が有意に高い作業

	戸締り			散歩			地区パトロール			防犯活動		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	98	10	108	84	24	108	80	28	108	102	6	108
期待度数	102.0	6.0	108.0	92.0	16.0	108.0	88.0	20.0	108.0	105.0	3.0	108.0
調整済み残差	-2.4	2.4		-3.1	3.1		-2.8	2.8		-2.5	2.5	
女性 度数	106	2	108	100	8	108	96	12	108	108	0	108
期待度数	102.0	6.0	108.0	92.0	16.0	108.0	88.0	20.0	108.0	105.0	3.0	108.0
調整済み残差	2.4	-2.4		3.1	-3.1		2.8	-2.8		2.5	-2.5	
合計 度数	204	12	216	184	32	216	176	40	216	210	6	216
期待度数	204.0	12.0	216.0	184.0	32.0	216.0	176.0	40.0	216.0	210.0	6.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	5.647 ^a	1	.017	9.391 ^a	1	.002	7.855 ^a	1	.005	6.171 ^a	1	.013
	自治会活動			仕事アルバイト			長			役員部員委員		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	93	15	108	71	37	108	95	13	108	61	47	108
期待度数	100.0	8.0	108.0	79.0	29.0	108.0	99.5	8.5	108.0	71.5	36.5	108.0
調整済み残差	-3.6	3.6		-2.5	2.5		-2.3	2.3		-3.0	3.0	
女性 度数	107	1	108	87	21	108	104	4	108	82	26	108
期待度数	100.0	8.0	108.0	79.0	29.0	108.0	99.5	8.5	108.0	71.5	36.5	108.0
調整済み残差	3.6	-3.6		2.5	-2.5		2.3	-2.3		3.0	-3.0	
合計 度数	200	16	216	158	58	216	199	17	216	143	73	216
期待度数	200.0	16.0	216.0	158.0	58.0	216.0	199.0	17.0	216.0	143.0	73.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	13.230 ^a	1	.000	6.034 ^a	1	.014	5.172 ^a	1	.023	9.125 ^a	1	.003

一方、女性全体に特徴的にみられた作業は、食事の支度／食事の片づけ／お弁当作り／家の中の掃除／洗濯／家庭管理／友人と会合／趣味活動／体を動かす／日記を書く／買い物／ボランティア活動／近所付き合い の13種であった。(表17)

表17 女性の行う割合が有意に高い作業

	食事の支度			食事の片づけ			お弁当作り			整理整頓		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	95	13	108	100	8	108	108	0	108	104	4	108
期待度数	56.0	52.0	108.0	95.0	13.0	108.0	105.0	3.0	108.0	99.0	9.0	108.0
調整済み残差	10.6	-10.6		2.1	-2.1		2.5	-2.5		2.5	-2.5	
女性 度数	17	91	108	90	18	108	102	6	108	94	14	108
期待度数	56.0	52.0	108.0	95.0	13.0	108.0	105.0	3.0	108.0	99.0	9.0	108.0
調整済み残差	-10.6	10.6		-2.1	2.1		-2.5	2.5		-2.5	2.5	
合計 度数	112	104	216	190	26	216	210	6	216	198	18	216
期待度数	112.0	104.0	216.0	190.0	26.0	216.0	210.0	6.0	216.0	198.0	18.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	2.821 ^a	1	.000	4.372 ^a	1	.037	6.171 ^a	1	.013	6.061 ^a	1	.014

	掃除家の中			洗濯			家庭管理家計簿			友人と会合お話しのみ		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	83	25	108	95	13	108	104	4	108	105	3	108
期待度数	63.5	44.5	108.0	58.0	50.0	108.0	93.5	14.5	108.0	95.0	13.0	108.0
調整済み残差	5.4	-5.4		10.1	-10.1		4.2	-4.2		4.2	-4.2	
女性 度数	44	64	108	21	87	108	83	25	108	85	23	108
期待度数	63.5	44.5	108.0	58.0	50.0	108.0	93.5	14.5	108.0	95.0	13.0	108.0
調整済み残差	-5.4	5.4		-10.1	10.1		-4.2	4.2		-4.2	4.2	
合計 度数	127	89	216	116	100	216	187	29	216	190	26	216
期待度数	127.0	89.0	216.0	116.0	100.0	216.0	187.0	29.0	216.0	190.0	26.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	9.066 ^a	1	.000	1.967 ^a	1	.000	7.565 ^a	1	.000	7.490 ^a	1	.000

	趣味活動			体を動かす			日記を書く			買い物		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	92	16	108	94	14	108	97	11	108	94	14	108
期待度数	85.5	22.5	108.0	86.5	21.5	108.0	91.0	17.0	108.0	72.0	36.0	108.0
調整済み残差	2.2	-2.2		2.6	-2.6		2.2	-2.2		6.4	-6.4	
女性 度数	79	29	108	79	29	108	85	23	108	50	58	108
期待度数	85.5	22.5	108.0	86.5	21.5	108.0	91.0	17.0	108.0	72.0	36.0	108.0
調整済み残差	-2.2	2.2		-2.6	2.6		-2.2	2.2		-6.4	6.4	
合計 度数	171	45	216	173	43	216	182	34	216	144	72	216
期待度数	171.0	45.0	216.0	173.0	43.0	216.0	182.0	34.0	216.0	144.0	72.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	4.744 ^a	1	.029	6.533 ^a	1	.011	5.027 ^a	1	.025	10.333 ^a	1	.000

	ボランティア活動			婦人会			近所付き合い		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	107	1	108	108	0	108	107	1	108
期待度数	99.5	8.5	108.0	105.5	2.5	108.0	103.5	4.5	108.0
調整済み残差	3.8	-3.8		2.3	-2.3		2.4	-2.4	
女性 度数	92	16	108	103	5	108	100	8	108
期待度数	99.5	8.5	108.0	105.5	2.5	108.0	103.5	4.5	108.0
調整済み残差	-3.8	3.8		-2.3	2.3		-2.4	2.4	
合計 度数	199	17	216	211	5	216	207	9	216
期待度数	199.0	17.0	216.0	211.0	5.0	216.0	207.0	9.0	216.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	4.366 ^a	1	.000	5.118 ^a	1	.024	5.681 ^a	1	.017

(2)配偶者有無

配偶者の有無に関して、全体では配偶者なしの者のみに有意差が見られた。項目はペットの世話／お弁当作り／整理整頓／洗濯／外出 の5種であった。(表 18)

表18 配偶者無しが行う割合の有意に高い作業

	ペットの世話			お弁当作り			整理整頓			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
配偶者あり	度数	156	24	180	178	2	180	169	11	180
	期待度数	150.7	29.3	180.0	175.0	5.0	180.0	164.9	15.1	180.0
	調整済み残差	2.7	-2.7		3.4	-3.4		2.7	-2.7	
なし	度数	24	11	35	31	4	35	28	7	35
	期待度数	29.3	5.7	35.0	34.0	1.0	35.0	32.1	2.9	35.0
	調整済み残差	-2.7	2.7		-3.4	3.4		-2.7	2.7	
合計	度数	180	35	215	209	6	215	197	18	215
	期待度数	180.0	35.0	215.0	209.0	6.0	215.0	197.0	18.0	215.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	7.040 ^a	1	.008	11.498 ^a	1	.007	7.368 ^a	1	.014	

	洗濯			外出			
	しない	する	合計	しない	する	合計	
配偶者あり	度数	103	77	180	180	0	180
	期待度数	96.3	83.7	180.0	178.3	1.7	180.0
	調整済み残差	2.5	-2.5		3.2	-3.2	
なし	度数	12	23	35	33	2	35
	期待度数	18.7	16.3	35.0	34.7	.3	35.0
	調整済み残差	-2.5	2.5		-3.2	3.2	
合計	度数	115	100	215	213	2	215
	期待度数	115.0	100.0	215.0	213.0	2.0	215.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	6.196 ^a	1	.013	10.382 ^a	1	.026	

男女別にみると、男性は配偶者無しの場合にのみ、食事の支度／家計簿管理／外出、を行う割合が有意に高く、女性は配偶者ありの場合は食事の支度、無しの場合は、お弁当作り／整理整頓／朝の窓開け／ペットの世話、を行う割合が有意に高った。(表 19)

表19 男女別配偶者有無による行わう割合の高い作業

男性	食事の支度			家庭管理家計簿			外出			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
配偶者あり	度数	90	9	99	97	2	99	99	0	99
	調整済み残差	3.4	-3.4		3.3	-3.3		3.5	-3.5	
なし	度数	4	4	8	6	2	8	7	1	8
	調整済み残差	-3.4	3.4		-3.3	3.3		-3.5	3.5	
合計	度数	94	13	107	103	4	107	106	1	107
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	11.606 ^a	1	.001	0.862 ^a	1	.001	2.492 ^a	1	.000	

女性	食事の支度			お弁当作り			整理整頓			朝の窓開け			ペットの世話			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
配偶者あり	度数	8	73	81	79	2	81	74	7	81	81	0	81	74	7	81
	調整済み残差	-2.9	2.9		2.4	-2.4		2.3	-2.3		3.0	-3.0		2.7	-2.7	
なし	度数	9	18	27	23	4	27	20	7	27	24	3	27	19	8	27
	調整済み残差	2.9	-2.9		-2.4	2.4		-2.3	2.3		-3.0	3.0		-2.7	2.7	
合計	度数	17	91	108	102	6	108	94	14	108	105	3	108	93	15	108
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	8.401 ^a	1	.004	5.882 ^a	1	.015	5.362 ^a	1	.021	9.257 ^a	1	.002	7.458 ^a	1	.006	

(3)同居形態

全体の同居形態においては、配偶者と暮らす者は、趣味サークルの運営／テレビを見る作業を行う割合が有意に高く、逆に親の世話／お弁当作りを行わない割合が有意に高かった。子供または親と暮らしている者は、親の世話／自治会活動を有意に行っており、独居のものは、外出を行う割合が有意に高かった。子供世帯と暮らす者が行う割合の有意に高い作業は無かった。(表 20)

表20 同居形態の種類と行う割合の有意に高い作業

	お弁当作り			親の世話			趣味サークル運営			外出					
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計			
同居人	配偶者と	度数	89	0	89	89	0	89	81	8	89	89	0	89	
	期待度数		86.5	2.5	89.0	86.5	2.5	89.0	85.3	3.7	89.0	88.2	.8	89.0	
	調整済み残差		2.1	-2.1		2.1	-2.1		-3.0	3.0		1.2	-1.2		
	子供または親と	度数	56	2	58	53	5	58	58	0	58	58	0	58	
	期待度数		56.4	1.6	58.0	56.4	1.6	58.0	55.6	2.4	58.0	57.5	.5	58.0	
	調整済み残差		-.4	.4		-3.2	3.2		1.9	-1.9		.9	-.9		
	独居	度数	18	1	19	19	0	19	18	1	19	17	2	19	
	期待度数		18.5	.5	19.0	18.5	.5	19.0	18.2	.8	19.0	18.8	.2	19.0	
	調整済み残差		-.7	.7		.8	-.8		-.2	.2		-4.6	4.6		
	子世帯と	度数	33	0	33	33	0	33	33	0	33	33	0	33	
	期待度数		32.1	.9	33.0	32.1	.9	33.0	31.6	1.4	33.0	32.7	.3	33.0	
	調整済み残差		1.1	-1.1		1.1	-1.1		1.3	-1.3		.6	-.6		
	その他	度数	13	3	16	15	1	16	16	0	16	16	0	16	
	期待度数		15.6	.4	16.0	15.6	.4	16.0	15.3	.7	16.0	15.9	.1	16.0	
	調整済み残差		-4.0	4.0		-.9	.9		.9	-.9		.4	-.4		
合計	度数		209	6	215	209	6	215	206	9	215	213	2	215	
	期待度数		209.0	6.0	215.0	209.0	6.0	215.0	206.0	9.0	215.0	213.0	2.0	215.0	
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率

	自治会活動			テレビ見る			ペットの世話					
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計			
同居人	配偶者と	度数	83	6	89	61	28	89	75	14	89	
	期待度数		82.4	6.6	89.0	70.0	19.0	89.0	74.5	14.5	89.0	
	調整済み残差		.3	-.3		-3.0	3.0		.2	-.2		
	子供または親と	度数	49	9	58	49	9	58	51	7	58	
	期待度数		53.7	4.3	58.0	45.6	12.4	58.0	48.6	9.4	58.0	
	調整済み残差		-2.7	2.7		1.3	-1.3		1.0	-1.0		
	独居	度数	18	1	19	16	3	19	16	3	19	
	期待度数		17.6	1.4	19.0	14.9	4.1	19.0	15.9	3.1	19.0	
	調整済み残差		.4	-.4		.6	-.6		.1	-.1		
	子世帯と	度数	33	0	33	30	3	33	30	3	33	
	期待度数		30.5	2.5	33.0	25.9	7.1	33.0	27.6	5.4	33.0	
	調整済み残差		1.8	-1.8		1.9	-1.9		1.2	-1.2		
	その他	度数	16	0	16	13	3	16	8	8	16	
	期待度数		14.8	1.2	16.0	12.6	3.4	16.0	13.4	2.6	16.0	
	調整済み残差		1.2	-1.2		.3	-.3		-3.8	3.8		
合計	度数		199	16	215	169	46	215	180	35	215	
	期待度数		199.0	16.0	215.0	169.0	46.0	215.0	180.0	35.0	215.0	
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率

男女別に見ると、男性は配偶者と二人暮らしの場合に、テレビを見る／長、独居の場合に、食事の支度／家計管理、子または親と同居の場合にはゴミ出しを行う割合が有意

に高く、女性は子または親と同居の場合、洗濯／親の世話をを行う割合が有意に高かった。

(表 21)

表21 男女別同居形態の種類と行う割合の有意に高い作業

男性		テレビ見る			長			食事の支度			箒			ゴミ出し		
		しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
同居人	配偶者と	34	17	51	42	9	51	44	7	51	49	2	51	20	31	51
	調整済み残差	-2.3	2.3		-1.7	1.7		-.5	.5		-.1	.1		-1.5	1.5	
	子供また	27	5	32	32	0	32	30	2	32	32	0	32	20	12	32
	は親と	1.2	-1.2		2.5	-2.5		1.2	-1.2		1.3	-1.3		2.1	-2.1	
	調整済み残差															
	独居	5	1	6	5	1	6	3	3	6	4	2	6	5	1	6
	調整済み残差	.4	-.4		-.3	.3		-2.9	2.9		-3.9	3.9		1.8	-1.8	
	子世帯と	16	1	17	15	2	17	17	0	17	17	0	17	4	13	17
	調整済み残差	1.9	-1.9		.1	-.1		1.7	-1.7		.9	-.9		-2.1	2.1	
	調整済み残差															
その他	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	
調整済み残差	-1.8	1.8		-2.7	2.7		-2.7	2.7		.2	-.2		1.1	-1.1		
調整済み残差																
合計	度数	82	25	107	94	13	107	94	13	107	103	4	107	50	57	107
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		10.233 ^a	4	.037	3.217 ^a	4	.010	8.798 ^a	4	.001	6.550 ^a	4	.002	2.399 ^a	4	.015

女性		食事の支度			洗濯			親の世話		
		しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
同居人	配偶者と	4	34	38	11	27	38	38	0	38
	調整済み残差	-1.1	1.1		1.8	-1.8		1.7	-1.7	
	子供もま	1	25	26	1	25	26	22	4	26
	たは親と	-1.9	1.9		-2.3	2.3		-3.0	3.0	
	調整済み残差									
	独居	5	8	13	5	8	13	13	0	13
	調整済み残差	2.4	-2.4		1.8	-1.8		.8	-.8	
	子世帯と	4	12	16	2	14	16	16	0	16
	調整済み残差	1.1	-1.1		-.8	.8		1.0	-1.0	
	調整済み残差									
その他	3	12	15	2	13	15	14	1	15	
調整済み残差	.5	-.5		-.6	.6		-.4	.4		
調整済み残差										
合計	度数	17	91	108	21	87	108	103	5	108
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		9.852 ^a	4	.043	0.081 ^a	4	.039	0.205 ^a	4	.037

(4)仕事状況

全体の仕事状況に関しては、定年退職後の者が行う割合の有意に高い作業として地区パトロール／散歩、があがった。現在も非常勤として働く者は、家計管理／体を動かす作業を行う割合が有意に高く、常勤として働く者は、当然ながら仕事、そして親の世話／加工品作りが行われる割合が有意に高かった。無職の者には専業主婦が含まれているため、食事の支度／食事の片づけ／整理整頓／家の掃除／洗濯／家計管理／買い物／友人とお話／が行われる割合が有意に高かった。(表 22)

表22 仕事状況の種類と行う割合の有意に高い作業

	食事の支度			食事の片づけ			整理整頓			掃除家の中			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年度数	89	42	131	119	12	131	124	7	131	87	44	131
	退職期待度数	68.7	62.3	131.0	115.1	15.9	131.0	120.2	10.8	131.0	75.7	55.3	131.0
	調整済み残差	5.9	-5.9		1.7	-1.7		2.0	-2.0		3.3	-3.3	
	非常勤度数	3	4	7	6	1	7	7	0	7	6	1	7
	勤期待度数	3.7	3.3	7.0	6.2	.8	7.0	6.4	.6	7.0	4.0	3.0	7.0
	調整済み残差	-.5	.5		-.2	.2		.8	-.8		1.5	-1.5	
	常勤度数	7	8	15	15	0	15	15	0	15	6	9	15
	期待度数	7.9	7.1	15.0	13.2	1.8	15.0	13.8	1.2	15.0	8.7	6.3	15.0
	調整済み残差	-.5	.5		1.5	-1.5		1.2	-1.2		-1.4	1.4	
	無職度数	9	44	53	41	12	53	43	10	53	20	33	53
	期待度数	27.8	25.2	53.0	46.6	6.4	53.0	48.6	4.4	53.0	30.6	22.4	53.0
	調整済み残差	-6.0	6.0		-2.7	2.7		-3.3	3.3		-3.4	3.4	
合計	度数	108	98	206	181	25	206	189	17	206	119	87	206
	期待度数	108.0	98.0	206.0	181.0	25.0	206.0	189.0	17.0	206.0	119.0	87.0	206.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	9.794 ^a	3	.000	8.676 ^a	3	.034	1.331 ^a	3	.026	6.912 ^a	3	.001	

	洗濯			加工品作り			宗教お参り			親の世話			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年度数	90	41	131	130	1	131	130	1	131	130	1	131
	退職期待度数	71.2	59.8	131.0	127.8	3.2	131.0	127.8	3.2	131.0	127.2	3.8	131.0
	調整済み残差	5.5	-5.5		2.1	-2.1		2.1	-2.1		2.4	-2.4	
	非常勤度数	4	3	7	7	0	7	6	1	7	7	0	7
	勤期待度数	3.8	3.2	7.0	6.8	.2	7.0	6.8	.2	7.0	6.8	.2	7.0
	調整済み残差	.1	-.1		.4	-.4		-2.1	2.1		.5	-.5	
	常勤度数	8	7	15	13	2	15	15	0	15	12	3	15
	期待度数	8.2	6.8	15.0	14.6	.4	15.0	14.6	.4	15.0	14.6	.4	15.0
	調整済み残差	-.1	.1		-2.9	2.9		.6	-.6		-4.1	4.1	
	無職度数	10	43	53	51	2	53	50	3	53	51	2	53
	期待度数	28.8	24.2	53.0	51.7	1.3	53.0	51.7	1.3	53.0	51.5	1.5	53.0
	調整済み残差	-6.0	6.0		-.7	.7		-1.8	1.8		-.4	.4	
合計	度数	112	94	206	201	5	206	201	5	206	200	6	206
	期待度数	112.0	94.0	206.0	201.0	5.0	206.0	201.0	5.0	206.0	200.0	6.0	206.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	7.801 ^a	3	.000	9.645 ^a	3	.034	8.400 ^a	3	.048	7.977 ^a	3	.006	

	家庭管理家計簿			友人と会合お話のみ			散歩			体を動かす			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年度数	120	11	131	122	9	131	103	28	131	109	22	131
	退職期待度数	113.2	17.8	131.0	117.0	14.0	131.0	111.3	19.7	131.0	105.6	25.4	131.0
	調整済み残差	2.9	-2.9		2.3	-2.3		-3.4	3.4		1.3	-1.3	
	非常勤度数	4	3	7	7	0	7	6	1	7	3	4	7
	勤期待度数	6.0	1.0	7.0	6.3	.7	7.0	5.9	1.1	7.0	5.6	1.4	7.0
	調整済み残差	-2.3	2.3		.9	-.9		.1	-.1		-2.6	2.6	
	常勤度数	13	2	15	14	1	15	15	0	15	14	1	15
	期待度数	13.0	2.0	15.0	13.4	1.6	15.0	12.7	2.3	15.0	12.1	2.9	15.0
	調整済み残差	.0	.0		.5	-.5		1.7	-1.7		1.3	-1.3	
	無職度数	41	12	53	41	12	53	51	2	53	40	13	53
	期待度数	45.8	7.2	53.0	47.3	5.7	53.0	45.0	8.0	53.0	42.7	10.3	53.0
	調整済み残差	-2.2	2.2		-3.3	3.3		2.7	-2.7		-1.1	1.1	
合計	度数	178	28	206	184	22	206	175	31	206	166	40	206
	期待度数	178.0	28.0	206.0	184.0	22.0	206.0	175.0	31.0	206.0	166.0	40.0	206.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	1.811 ^a	3	.008	1.033 ^a	3	.019	2.031 ^a	3	.004	9.387 ^a	3	.032	

表22 続き

	買い物			地区パトロール			仕事アルバイト			合計
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年 度数	99	32	131	99	32	131	100	31	131
	退職 期待度数	89.0	42.0	131.0	106.8	24.2	131.0	96.7	34.3	131.0
	調整済み残差	3.1	-3.1		-2.9	2.9		1.1	-1.1	
	非常 度数	4	3	7	6	1	7	5	2	7
	勤 期待度数	4.8	2.2	7.0	5.7	1.3	7.0	5.2	1.8	7.0
	調整済み残差	- .6	.6		.3	-.3		-.1	.1	
	常勤 度数	12	3	15	12	3	15	0	15	15
	期待度数	10.2	4.8	15.0	12.2	2.8	15.0	11.1	3.9	15.0
	調整済み残差	1.0	-1.0		-.2	.2		-6.7	6.7	
	無職 度数	25	28	53	51	2	53	47	6	53
	期待度数	36.0	17.0	53.0	43.2	9.8	53.0	39.1	13.9	53.0
	調整済み残差	-3.8	3.8		3.2	-3.2		2.9	-2.9	
合計 度数	140	66	206	168	38	206	152	54	206	
期待度数	140.0	66.0	206.0	168.0	38.0	206.0	152.0	54.0	206.0	
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	5.382 ^a	3	.001	0.805 ^a	3	.004	8.760 ^a	3	.000	

男女別にみると、男性は常勤の場合、当然のことながら仕事をする割合が高く、女性は常勤の場合、加工品作り／親の世話／回覧板を回す／仕事、非常勤の場合体を動かすが行う割合が有意に高かった。(23)

表23 男女別仕事状況の種類と行う割合の有意に高い作業

男性		仕事アルバイト		合計
		しない	する	
仕事 の 状 況	定年 度数	67	27	94
	退職 期待度数	2.9	-2.9	
	調整済み残差			
	非常 度数	1	1	2
	勤 期待度数	- .5	.5	
	調整済み残差			
	常勤 度数	0	7	7
	期待度数	-3.9	3.9	
	調整済み残差			
	無職 度数	2	0	2
	期待度数	1.0	-1.0	
	調整済み残差			
合計 度数	70	35	105	
	値	自由度	有意確率	
	16.149 ^a	3	.001	

女性		加工品作り		親の世話		体を動かす		回覧板回す		仕事アルバイト		合計			
		しない	する	しない	する	しない	する	しない	する	しない	する				
仕事 の 状 況	定年 度数	37	0	37	0	37	27	10	37	37	0	37			
	退職 期待度数	1.6	-1.6		1.7	-1.7		-.1	.1		1.7	-1.7			
	調整済み残差														
	非常 度数	5	0	5	5	0	5	1	4	5	0	5			
	勤 期待度数	.5	-.5		.5	-.5		-2.8	2.8		.5	-.5			
	調整済み残差														
	常勤 度数	6	2	8	5	3	8	8	0	8	6	2	8		
	期待度数	-3.2	3.2		-4.4	4.4		1.8	-1.8		-2.7	2.7			
	調整済み残差														
	無職 度数	49	2	51	49	2	51	38	13	51	48	3	51		
	期待度数	.0	.0		.5	-.5		.3	-.3		-.4	.4			
	調整済み残差														
合計 度数	97	4	101	96	5	101	74	27	101	96	5	101			
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率			
	11.043 ^a	3	.011	0.315 ^a	3	.000	0.204 ^a	3	.017	9.116 ^a	3	.028	7.740 ^a	3	.000

<前期高齢者における作業の基本属性に関連した特徴 n=128>

前期高齢者は217名中128名であった。基本属性の内訳について、表24に示す。

表24 前期高齢者の基本属性

性別	男性		女性		
	62		73		
配偶者	あり		なし		
	111		23		
同居形態	配偶者と	子または親と	独居	子世帯と	その他
	51	36	15	22	10
仕事の状況	定年退職	非常勤	常勤	無職	
	77	5	11	35	

(1)性別

性別に関して、前期高齢者における男性に特徴的にみられた作業は、戸締り／散歩／地区パトロール／防犯活動／自治会活動／仕事・アルバイト／〇〇役員 の7種であった。いずれも家の周囲や地域での作業であり、家の中で男性が行う可能性の有意に高い作業は戸締りだけであった。(表25)

表25 前期高齢者における男性の行う割合が有意に高い作業

	戸締り			散歩			地区パトロール		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	53	9	62	50	12	62	45	17	62
期待度数	57.4	4.6	62.0	55.1	6.9	62.0	51.0	11.0	62.0
調整済み残差	-2.9	2.9		-2.8	2.8		-2.7	2.7	
女性 度数	72	1	73	70	3	73	66	7	73
期待度数	67.6	5.4	73.0	64.9	8.1	73.0	60.0	13.0	73.0
調整済み残差	2.9	-2.9		2.8	-2.8		2.7	-2.7	
合計 度数	125	10	135	120	15	135	111	24	135
期待度数	125.0	10.0	135.0	120.0	15.0	135.0	111.0	24.0	135.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	8.448 ^a	1	.004	7.889 ^a	1	.005	7.292 ^a	1	.007

	防犯活動			自治会活動			仕事アルバイト			役員部員委員		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性 度数	58	4	62	54	8	62	34	28	62	35	27	62
期待度数	60.2	1.8	62.0	57.9	4.1	62.0	42.3	19.7	62.0	43.2	18.8	62.0
調整済み残差	-2.2	2.2		-2.7	2.7		-3.1	3.1		-3.1	3.1	
女性 度数	73	0	73	72	1	73	58	15	73	59	14	73
期待度数	70.8	2.2	73.0	68.1	4.9	73.0	49.7	23.3	73.0	50.8	22.2	73.0
調整済み残差	2.2	-2.2		2.7	-2.7		3.1	-3.1		3.1	-3.1	
合計 度数	131	4	135	126	9	135	92	43	135	94	41	135
期待度数	131.0	4.0	135.0	126.0	9.0	135.0	92.0	43.0	135.0	94.0	41.0	135.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	4.853 ^a	1	.028	7.167 ^a	1	.007	9.357 ^a	1	.002	9.416 ^a	1	.002

一方、女性に特徴的にみられた作業は、食事の支度／お弁当作り／家の中の掃除／洗濯／家庭管理／友人と会合／体を動かす／買い物／ボランティア活動の9種であった。内容は男性と比し多岐にわたっていたが、主に家事に関することであった。(表26)

表26 前期高齢者における女性の行う割合が有意に高い作業

			食事の支度			お弁当作り			掃除家の中		
			しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性	度数	55	7	62	62	0	62	48	14	62	
	期待度数	29.9	32.1	62.0	59.2	2.8	62.0	34.0	28.0	62.0	
	調整済み残差	8.7	-8.7		2.3	-2.3		4.9	-4.9		
女性	度数	10	63	73	67	6	73	26	47	73	
	期待度数	35.1	37.9	73.0	69.8	3.2	73.0	40.0	33.0	73.0	
	調整済み残差	-8.7	8.7		-2.3	2.3		-4.9	4.9		
合計	度数	65	70	135	129	6	135	74	61	135	
	期待度数	65.0	70.0	135.0	129.0	6.0	135.0	74.0	61.0	135.0	
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			75.559 ^a	1	.000	5.333 ^a	1	.021	23.654 ^a	1	.000

			洗濯			家庭管理家計簿			友人と会合お話しのみ		
			しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性	度数	54	8	62	59	3	62	61	1	62	
	期待度数	30.8	31.2	62.0	53.7	8.3	62.0	56.5	5.5	62.0	
	調整済み残差	8.0	-8.0		2.7	-2.7		2.7	-2.7		
女性	度数	13	60	73	58	15	73	62	11	73	
	期待度数	36.2	36.8	73.0	63.3	9.7	73.0	66.5	6.5	73.0	
	調整済み残差	-8.0	8.0		-2.7	2.7		-2.7	2.7		
合計	度数	67	68	135	117	18	135	123	12	135	
	期待度数	67.0	68.0	135.0	117.0	18.0	135.0	123.0	12.0	135.0	
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			64.385 ^a	1	.000	7.160 ^a	1	.007	7.495 ^a	1	.006

			体を動かす			買い物			ボランティア活動		
			しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別 男性	度数	54	8	62	53	9	62	61	1	62	
	期待度数	48.7	13.3	62.0	39.0	23.0	62.0	56.5	5.5	62.0	
	調整済み残差	2.2	-2.2		5.0	-5.0		2.7	-2.7		
女性	度数	52	21	73	32	41	73	62	11	73	
	期待度数	57.3	15.7	73.0	46.0	27.0	73.0	66.5	6.5	73.0	
	調整済み残差	-2.2	2.2		-5.0	5.0		-2.7	2.7		
合計	度数	106	29	135	85	50	135	123	12	135	
	期待度数	106.0	29.0	135.0	85.0	50.0	135.0	123.0	12.0	135.0	
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			5.002 ^a	1	.025	24.938 ^a	1	.000	7.495 ^a	1	.006

(2)配偶者の有無

前期高齢者における配偶者の有無に関する有意差について、配偶者なしの者に多く行う割合が有意に高い作業が得られた。その項目は、洗濯／家の中の掃除／お弁当作り／トラブル解決／外出／ペットの世話／近所付き合いの7種であった。(表27)

表27 前期高齢者における配偶者無しを行う割合が有意に高い作業

	近所付き合い		合計	ペットの世話		合計	外出		合計
	しない	する		しない	する		しない	する	
配偶者あり 度数	109	2	111	96	15	111	111	0	111
期待度数	106.9	4.1	111.0	91.1	19.9	111.0	109.3	1.7	111.0
調整済み残差	2.6	-2.6		2.9	-2.9		3.1	-3.1	
なし 度数	20	3	23	14	9	23	21	2	23
期待度数	22.1	.9	23.0	18.9	4.1	23.0	22.7	.3	23.0
調整済み残差	-2.6	2.6		-2.9	2.9		-3.1	3.1	
合計 度数	129	5	134	110	24	134	132	2	134
期待度数	129.0	5.0	134.0	110.0	24.0	134.0	132.0	2.0	134.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	6.703 ^a	1	.010	8.504 ^a	1	.004	9.798 ^a	1	.002

	トラブル解決係		合計	お弁当作り		合計	掃除家の中		合計	洗濯		合計
	しない	する		しない	する		しない	する		しない	する	
配偶者あり 度数	111	0	111	109	2	111	65	46	111	59	52	111
期待度数	109.3	1.7	111.0	106.0	5.0	111.0	60.5	50.5	111.0	54.7	56.3	111.0
調整済み残差	3.1	-3.1		3.3	-3.3		2.1	-2.1		2.0	-2.0	
なし 度数	21	2	23	19	4	23	8	15	23	7	16	23
期待度数	22.7	.3	23.0	22.0	1.0	23.0	12.5	10.5	23.0	11.3	11.7	23.0
調整済み残差	-3.1	3.1		-3.3	3.3		-2.1	2.1		-2.0	2.0	
合計 度数	132	2	134	128	6	134	73	61	134	66	68	134
期待度数	132.0	2.0	134.0	128.0	6.0	134.0	73.0	61.0	134.0	66.0	68.0	134.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	9.798 ^a	1	.002	10.826 ^a	1	.001	4.343 ^a	1	.037	3.934 ^a	1	.047

一方配偶者ありのものが行う割合が有意に高かった作業は、仕事・アルバイトの1種であった。(表28)

表28 前期高齢者配偶者ありの有意に行われる作業

	仕事アルバイト		合計
	しない	する	
配偶者あり 度数	71	40	111
期待度数	76.2	34.8	111.0
調整済み残差	-2.6	2.6	
なし 度数	21	2	23
期待度数	15.8	7.2	23.0
調整済み残差	2.6	-2.6	
合計 度数	92	42	134
期待度数	92.0	42.0	134.0
	値	自由度	有意確率
	6.618 ^a	1	.010

(3)同居形態

前期高齢者における同居形態に関して、子供または親と暮らしている者は、親の世話をを行う割合が有意に高く、独居のものは、外出及び神棚のお参りを行う割合が有意に高かった。他の同居形態において有意差は見られなかった。(表29)

表29 前期高齢者における同居人の種類と有意に行われている作業

	神棚仏壇のお参り			親の世話			外出		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
	同居人	32	19	51	51	0	51	51	0
配偶者	30.4	20.6	51.0	48.7	2.3	51.0	50.2	.8	51.0
と	.6	-.6		2.0	-2.0		1.1	-1.1	
調整済み残差									
子供	27	9	36	31	5	36	36	0	36
または	21.5	14.5	36.0	34.4	1.6	36.0	35.5	.5	36.0
親と	2.2	-2.2		-3.2	3.2		.9	-.9	
調整済み残差									
独居	5	10	15	15	0	15	13	2	15
度数	9.0	6.0	15.0	14.3	.7	15.0	14.8	.2	15.0
期待度数	-2.2	2.2		.9	-.9		-4.0	4.0	
調整済み残差									
子世帯	10	12	22	22	0	22	22	0	22
と	13.1	8.9	22.0	21.0	1.0	22.0	21.7	.3	22.0
調整済み残差	-1.5	1.5		1.1	-1.1		.6	-.6	
その他	6	4	10	9	1	10	10	0	10
度数	6.0	4.0	10.0	9.6	.4	10.0	9.9	.1	10.0
期待度数	.0	.0		-.9	.9		.4	-.4	
調整済み残差									
合計	80	54	134	128	6	134	132	2	134
度数	80.0	54.0	134.0	128.0	6.0	134.0	132.0	2.0	134.0
期待度数									
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	9.890 ^a	4	.042	12.293 ^a	4	.015	16.107 ^a	4	.003

(4)仕事状況

前期高齢者における仕事状況に関しては、定年退職後の者が行う割合が有意に高い作業は無かったが、行う割合が有意に低い作業として、家の中の掃除／洗濯／親の世話が得られた。一方これと対比して無職の者は、家の中の掃除／洗濯／食事の支度／買い物を行う割合が有意に高った。また、今でも常勤の者は親の世話／仕事・アルバイトを行う割合が有意に高く、非常勤の者は体を動かす／布団の上げ下げを行う割合が有意に高った。(表 30)

表30 前期高齢者における仕事の状況と有意に行われている作業

	仕事アルバイト			体を動かす			買い物			食事の支度		
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
仕事	54	23	77	63	14	77	56	21	77	51	26	77
退職	52.9	24.1	77.0	60.8	16.2	77.0	50.5	26.5	77.0	37.3	39.7	77.0
の	.4	-.4		1.0	-1.0		2.1	-2.1		5.0	-5.0	
調整済み残差												
非常	4	1	5	2	3	5	3	2	5	1	4	5
勤	3.4	1.6	5.0	3.9	1.1	5.0	3.3	1.7	5.0	2.4	2.6	5.0
調整済み残差	.6	-.6		-2.2	2.2		-.3	.3		-1.3	1.3	
常勤	0	11	11	11	0	11	9	2	11	5	6	11
度数	7.6	3.4	11.0	8.7	2.3	11.0	7.2	3.8	11.0	5.3	5.7	11.0
期待度数	-5.1	5.1		1.8	-1.8		1.2	-1.2		-.2	.2	
調整済み残差												
無職	30	5	35	25	10	35	16	19	35	5	30	35
度数	24.1	10.9	35.0	27.6	7.4	35.0	23.0	12.0	35.0	17.0	18.0	35.0
期待度数	2.5	-2.5		-1.3	1.3		-2.9	2.9		-4.7	4.7	
調整済み残差												
合計	88	40	128	101	27	128	84	44	128	62	66	128
度数	88.0	40.0	128.0	101.0	27.0	128.0	84.0	44.0	128.0	62.0	66.0	128.0
期待度数												
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	29.251 ^a	3	.000	9.056 ^a	3	.029	9.221 ^a	3	.026	27.767 ^a	3	.000

表30 続き

	掃除家の中		合計	洗濯			布団上げ下げ			親の世話		
	しない	する		しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
仕事 の 状 況												
定年 退職	51	26	77	49	28	77	58	19	77	76	1	77
期待 度数	41.5	35.5	77.0	38.5	38.5	77.0	60.2	16.8	77.0	73.4	3.6	77.0
調整 済み 残差	3.4	-3.4		3.8	-3.8		-0.9	0.9		2.2	-2.2	
非常 勤	4	1	5	3	2	5	2	3	5	5	0	5
期待 度数	2.7	2.3	5.0	2.5	2.5	5.0	3.9	1.1	5.0	4.8	0.2	5.0
調整 済み 残差	1.2	-1.2		0.5	-0.5		-2.1	2.1		0.5	-0.5	
常勤	4	7	11	5	6	11	11	0	11	8	3	11
期待 度数	5.9	5.1	11.0	5.5	5.5	11.0	8.6	2.4	11.0	10.5	0.5	11.0
調整 済み 残差	-1.2	1.2		-0.3	0.3		1.8	-1.8		-3.7	3.7	
無職	10	25	35	7	28	35	29	6	35	33	2	35
期待 度数	18.9	16.1	35.0	17.5	17.5	35.0	27.3	7.7	35.0	33.4	1.6	35.0
調整 済み 残差	-3.5	3.5		-4.2	4.2		0.8	-0.8		-0.3	0.3	
合計	69	59	128	64	64	128	100	28	128	122	6	128
期待 度数	69.0	59.0	128.0	64.0	64.0	128.0	100.0	28.0	128.0	122.0	6.0	128.0
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	16.483 ^a	3	.001	18.618 ^a	3	.000	8.145 ^a	3	.043	14.867 ^a	3	.002

<後期高齢者における作業の基本属性に関連した特徴 n=81>

後期高齢者は217名中81名であった。基本属性の内訳を表31に示す。

表31 後期高齢者の基本属性

性別	男性	女性			
	46	35			
配偶者	あり	なし			
	69	12			
同居形態	配偶者と	子または親と	独居	子世帯と	その他
	38	22	4	11	6
仕事の状況	定年退職	非常勤	常勤	無職	
	54	2	4	18	

(1)性別

後期高齢者群の男性が行う割合が有意に高い作業は、自治会活動のみであった。(表32)

表32 後期高齢群男性が有意に行う作業

	自治会活動		合計
	しない	する	
性別 男性 度数	39	7	46
期待 度数	42.0	4.0	46.0
調整 済み 残差	-2.4	2.4	
女性 度数	35	0	35
期待 度数	32.0	3.0	35.0
調整 済み 残差	2.4	-2.4	
合計 度数	74	7	81
期待 度数	74.0	7.0	81.0
	値	自由度	有意確率
	5.830 ^a	1	.016

一方、女性が行う割合が有意に高い作業は、食事の支度／整理整頓／家の中の掃除／洗濯／家庭管理／友人と会合／友人と活動／趣味サークル参加／買い物／ボランティアの10種であり、家事に関することと自分の楽しみ等につながる作業であった。(表33)

表33 後期高齢者における女性が有意に行う作業

			食事の支度			整理整頓			掃除家の中			洗濯		
			しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別	男性	度数	40	6	46	45	1	46	35	11	46	41	5	46
		期待度数	26.7	19.3	46.0	42.0	4.0	46.0	30.1	15.9	46.0	27.8	18.2	46.0
		調整済み残差	6.0	-6.0		2.4	-2.4		2.3	-2.3		6.0	-6.0	
	女性	度数	7	28	35	29	6	35	18	17	35	8	27	35
		期待度数	20.3	14.7	35.0	32.0	3.0	35.0	22.9	12.1	35.0	21.2	13.8	35.0
		調整済み残差	-6.0	6.0		-2.4	2.4		-2.3	2.3		-6.0	6.0	
合計		度数	47	34	81	74	7	81	53	28	81	49	32	81
		期待度数	47.0	34.0	81.0	74.0	7.0	81.0	53.0	28.0	81.0	49.0	32.0	81.0
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			36.586 ^a	1	.000	5.641 ^a	1	.018	5.343 ^a	1	.021	36.529 ^a	1	.000

			家庭管理家計簿			友人と会合お話しのみ			買い物			ボランティア活動		
			しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計
性別	男性	度数	45	1	46	44	2	46	41	5	46	46	0	46
		期待度数	39.8	6.2	46.0	38.0	8.0	46.0	33.5	12.5	46.0	43.2	2.8	46.0
		調整済み残差	3.4	-3.4		3.5	-3.5		3.8	-3.8		2.6	-2.6	
	女性	度数	25	10	35	23	12	35	18	17	35	30	5	35
		期待度数	30.2	4.8	35.0	29.0	6.0	35.0	25.5	9.5	35.0	32.8	2.2	35.0
		調整済み残差	-3.4	3.4		-3.5	3.5		-3.8	3.8		-2.6	2.6	
合計		度数	70	11	81	67	14	81	59	22	81	76	5	81
		期待度数	70.0	11.0	81.0	67.0	14.0	81.0	59.0	22.0	81.0	76.0	5.0	81.0
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			11.802 ^a	1	.001	12.461 ^a	1	.000	14.281 ^a	1	.000	7.004 ^a	1	.008

			友人と活動			趣味サークル参加		
			しない	する	合計	しない	する	合計
性別	男性	度数	46	0	46	43	3	46
		期待度数	43.7	2.3	46.0	39.8	6.2	46.0
		調整済み残差	2.4	-2.4		2.1	-2.1	
	女性	度数	31	4	35	27	8	35
		期待度数	33.3	1.7	35.0	30.2	4.8	35.0
		調整済み残差	-2.4	2.4		-2.1	2.1	
合計		度数	77	4	81	70	11	81
		期待度数	77.0	4.0	81.0	70.0	11.0	81.0
			値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
			5.530 ^a	1	.019	4.519 ^a	1	.034

(2)配偶者の有無

後期高齢群の配偶者の有無に関して有意差の見られる作業はなかった。

(3)同居形態

後期高齢群の同居形態において有意差の見られる作業はなかった。

(4)仕事状況

後期高齢者群における仕事状況に関しては、定年退職後の者が行う割合が有意に高い作業は無かったが、行う割合が有意に低い作業として、食事の支度／洗濯／家計管理／近所付き合い／友人とお話、が得られた。これと対比して、無職の者が行う割合が有意に高い作業として、食事の支度／洗濯／家計管理／近所付き合い／友人とお話、が得られた。一方今でも常勤で働く者はテレビを見る／仕事・アルバイトを行う割合が有意に高く、非常勤の者は宗教お参りが行う割合が有意に高った。(表 34)

表34 後期高齢者における仕事状況の種類と行う割合の有意に高い作業

	テレビ見る			近所付き合い			仕事アルバイト			食事の支度			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年 度数	41	13	54	54	0	54	46	8	54	38	16	54
	退職 期待度数	41.5	12.5	54.0	51.9	2.1	54.0	44.3	9.7	54.0	31.8	22.2	54.0
	調整済み残差	-.3	.3		2.6	-2.6		1.1	-1.1		3.1	-3.1	
	非常 度数	1	1	2	2	0	2	1	1	2	2	0	2
	勤 期待度数	1.5	.5	2.0	1.9	.1	2.0	1.6	.4	2.0	1.2	.8	2.0
	調整済み残差	-.9	.9		.3	-.3		-1.2	1.2		1.2	-1.2	
	常勤 度数	1	3	4	4	0	4	0	4	4	2	2	4
	期待度数	3.1	.9	4.0	3.8	.2	4.0	3.3	.7	4.0	2.4	1.6	4.0
	調整済み残差	-2.5	2.5		.4	-.4		-4.4	4.4		-.4	.4	
	無職 度数	17	1	18	15	3	18	17	1	18	4	14	18
	期待度数	13.8	4.2	18.0	17.3	.7	18.0	14.8	3.2	18.0	10.6	7.4	18.0
	調整済み残差	2.0	-2.0		-3.2	3.2		1.6	-1.6		-3.6	3.6	
合計 度数	60	18	78	75	3	78	64	14	78	46	32	78	
期待度数	60.0	18.0	78.0	75.0	3.0	78.0	64.0	14.0	78.0	46.0	32.0	78.0	
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	10.035 ^a	3	.018	10.400 ^a	3	.015	21.918 ^a	3	.000	14.472 ^a	3	.002	
	洗濯			宗教お参り			家庭管理家計簿			友人と会合お話のみ			
	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	しない	する	合計	
仕事 の 状 況	定年 度数	41	13	54	54	0	54	52	2	54	48	6	54
	退職 期待度数	33.2	20.8	54.0	52.6	1.4	54.0	47.1	6.9	54.0	44.3	9.7	54.0
	調整済み残差	3.9	-3.9		2.1	-2.1		3.6	-3.6		2.4	-2.4	
	非常 度数	1	1	2	1	1	2	2	0	2	2	0	2
	勤 期待度数	1.2	.8	2.0	1.9	.1	2.0	1.7	.3	2.0	1.6	.4	2.0
	調整済み残差	-.3	.3		-4.3	4.3		.5	-.5		.7	-.7	
	常勤 度数	3	1	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4
	期待度数	2.5	1.5	4.0	3.9	.1	4.0	3.5	.5	4.0	3.3	.7	4.0
	調整済み残差	.6	-.6		.3	-.3		.8	-.8		1.0	-1.0	
	無職 度数	3	15	18	17	1	18	10	8	18	10	8	18
	期待度数	11.1	6.9	18.0	17.5	.5	18.0	15.7	2.3	18.0	14.8	3.2	18.0
	調整済み残差	-4.5	4.5		-.9	.9		-4.6	4.6		-3.3	3.3	
合計 度数	48	30	78	76	2	78	68	10	78	64	14	78	
期待度数	48.0	30.0	78.0	76.0	2.0	78.0	68.0	10.0	78.0	64.0	14.0	78.0	
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	
	20.454 ^a	3	.000	20.184 ^a	3	.000	21.004 ^a	3	.000	11.607 ^a	3	.009	

2) 作業実施種目の多い群と少ない群を視点とした作業の特徴

続いて、作業を多く挙げた群と少なく挙げた群について検討した。毎日家で行う作業および近所付き合いや友人との活動など地域で行う作業を合わせた、日々行われている作業の一人当たりの平均実施作業数が 10.51 個であった為、0~4 個を極端に少ない群、15~19 個を極端に多い群とし、該当しない 5~14 個を平均群として検討した。各群の基本属性の内、性別については、少ない群の男性が 95%，平均群が 48%，多い群が 27%と徐々に減っていた。その他の内訳について、表 35 に示す。

表35 作業数別基本属性

		少ない群 n=27					平均群 n=178					多い群 n=11				
性別		男性	女性				男性	女性				男性	女性			
		19	1				86	92				3	8			
配偶者		あり	なし				あり	なし				あり	なし			
		23	4				146	28				8	3			
同居形態		配偶者と 子または親 と	独居	子世帯と	その他		配偶者と 子または親 と	独居	子世帯と	その他		配偶者と 子または親 と	独居	子世帯と	その他	
		8	8	4	7	0	78	47	15	24	13	3	3	0	2	3
仕事の状況		定年退職	非常勤	常勤	無職		定年退職	非常勤	常勤	無職		定年退職	非常勤	常勤	無職	
		22	1	1	2		100	6	13	50		9	0	1	1	

分析の結果、極端に多い群が行う割合が有意に高い作業が 24 種得られた。(表 36)

一方、極端に少ない群が行う割合が有意に高い作業は得られなかったが、極端に少ない群で実施の多かった作業は、ゴミ出し/仏壇のお参り/庭の手入れ/地域や神社の掃除であった。

表36 作業実施3群と行う割合の有意に高い作業

		食事の支度		合計	食事の片づけ		合計	ゴミ出し		合計	掃除家の中		合計
		しない	する		しない	する		しない	する		しない	する	
作業実施数	0-4個	24	3	27	27	0	27	20	7	27	24	3	27
	調整済み残差	4.1	-4.1		2.1	-2.1		2.5	-2.5		3.4	-3.4	
5-14個	度数	85	93	178	155	23	178	88	90	178	101	77	178
	調整済み残差	-2.6	2.6		-0.9	0.9		-1.2	1.2		-1.3	1.3	
15-19個	度数	3	8	11	8	3	11	3	8	11	2	9	11
	調整済み残差	-1.7	1.7		-1.6	1.6		-1.6	1.6		-2.8	2.8	
合計	度数	112	104	216	190	26	216	111	105	216	127	89	216
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		18.695 ^a	2	0.001	6.238 ^a	2	0.044	8.394 ^a	2	0.015	17.892 ^a	2	0.000

		洗濯		合計	布団上げ下げ		合計	入浴		合計	神棚仏壇のお参り		合計
		しない	する		しない	する		しない	する		しない	する	
作業実施数	0-4個	23	4	27	26	1	27	27	0	27	20	7	27
	調整済み残差	3.5	-3.5		2.5	-2.5		2.2	-2.2		1.1	-1.1	
5-14個	度数	91	87	178	135	43	178	153	25	178	115	63	178
	調整済み残差	-1.6	1.6		-1.5	1.5		-0.6	0.6		0.2	-0.2	
15-19個	度数	2	9	11	7	4	11	7	4	11	4	7	11
	調整済み残差	-2.4	2.4		-1.2	1.2		-2.3	2.3		-2	2	
合計	度数	116	100	216	168	48	216	187	29	216	139	77	216
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		16.822 ^a	2	0.001	7.016 ^a	2	0.03	9.225 ^a	2	0.01	4.874 ^a	2	0.087

		家計簿管理		合計	趣味サークル参加		合計	カラオケ		合計	楽器演奏音楽		合計
		しない	する		しない	する		しない	する		しない	する	
作業実施数	0-4個	26	1	27	26	1	27	27	0	27	27	0	27
	調整済み残差	1.6	-1.6		1.1	-1.1		1.3	-1.3		0.7	-0.7	
5-14個	度数	154	24	178	163	15	178	171	7	178	177	1	178
	調整済み残差	-0.1	0.1		0.9	-0.9		1.7	-1.7		2.2	-2.2	
15-19個	度数	7	4	11	7	4	11	7	4	11	9	2	11
	調整済み残差	-2.3	2.3		-3.2	3.2		-4.8	4.8		-4.9	4.9	
合計	度数	187	29	216	196	20	216	205	11	216	213	3	216
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		7.175 ^a	2	0.028	10.757 ^a	2	0.005	24.200 ^a	2	0.000	23.919 ^a	2	0.012

		散歩		合計	体を動かす		合計	日記を書く		合計	庭の手入れ水やり		合計
		しない	する		しない	する		しない	する		しない	する	
作業実施数	0-4個	25	2	27	26	1	27	26	1	27	23	4	27
	調整済み残差	1.2	-1.2		2.3	-2.3		1.8	-1.8		3.4	-3.4	
5-14個	度数	153	25	178	141	37	178	151	27	178	94	84	178
	調整済み残差	0.7	-0.7		-0.7	0.7		0.5	-0.5		-1.2	1.2	
15-19個	度数	6	5	11	6	5	11	5	6	11	1	10	11
	調整済み残差	-2.9	2.9		-2.2	2.2		-3.6	3.6		-3.1	3.1	
合計	度数	184	32	216	173	43	216	182	34	216	118	98	216
		値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
		9.440 ^a	2	0.009	9.035 ^a	2	0.011	15.482 ^a	2	0.002	19.612 ^a	2	0.000

	買い物		合計	掃除地域神社お寺		合計	地区パトロール		合計	地域組織参加運営老自		合計			
	しない	する		しない	する		しない	する		しない	する				
作業実施数	0-4個	度数	26	1	27	23	4	27	25	2	27	27	0	27	
		調整済み残差	3.5	-3.5		2.1	-2.1		1.6	-1.6		2	-2		
5-14個	度数	115	63	178	119	59	178	145	33	178	157	21	178		
		調整済み残差	-1.4	1.4		-0.2	0.2		0	0		-0.7	0.7		
15-19個	度数	3	8	11	3	8	11	6	5	11	8	3	11		
		調整済み残差	-2.8	2.8		-2.9	2.9		-2.4	2.4		-1.8	1.8		
合計	度数	144	72	216	145	71	216	176	40	216	192	24	216		
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	18.688 ^a	2	0.000	11.914 ^a	2	0.003	7.498 ^a	2	0.024	6.369 ^a	2	0.041			

	神社行事手伝い		合計	老人会参加運営		合計	町内会参加運営		合計	新聞		合計			
	しない	する		しない	する		しない	する		しない	する				
作業実施数	0-4個	度数	27	0	27	26	1	27	27	0	27	26	1	27	
		調整済み残差	0.7	-0.7		1.8	-1.8		0.9	-0.9		1.8	-1.8		
5-14個	度数	177	1	178	153	25	178	174	4	178	151	27	178		
		調整済み残差	2.2	-2.2		1.1	-1.1		1	-1		0.1	-0.1		
15-19個	度数	9	2	11	4	7	11	9	2	11	6	5	11		
		調整済み残差	-4.9	4.9		-4.6	4.6		-3.2	3.2		-2.9	2.9		
合計	度数	213	3	216	183	33	216	210	6	216	183	33	216		
	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率	値	自由度	有意確率
	23.919 ^a	2	0.012	22.877 ^a	2	0.000	10.622 ^a	2	0.005	10.535 ^a	2	0.005			

2) 実施種目内容を視点とした作業の特徴

調査対象である 217 名それぞれが、どのような作業を実施しており、その実施内容に類似性があるかを検討する目的で、中項目 81 種類に対する、作業実施有無に関してクラスター分析を実施した。その結果、5つのクラスターを得た。デンドログラムを図 3 に示す。得られた 5つのクラスターに関しては、更に判別分析による正準判別関数係数の値(表 37)の大小を鑑みて命名した。

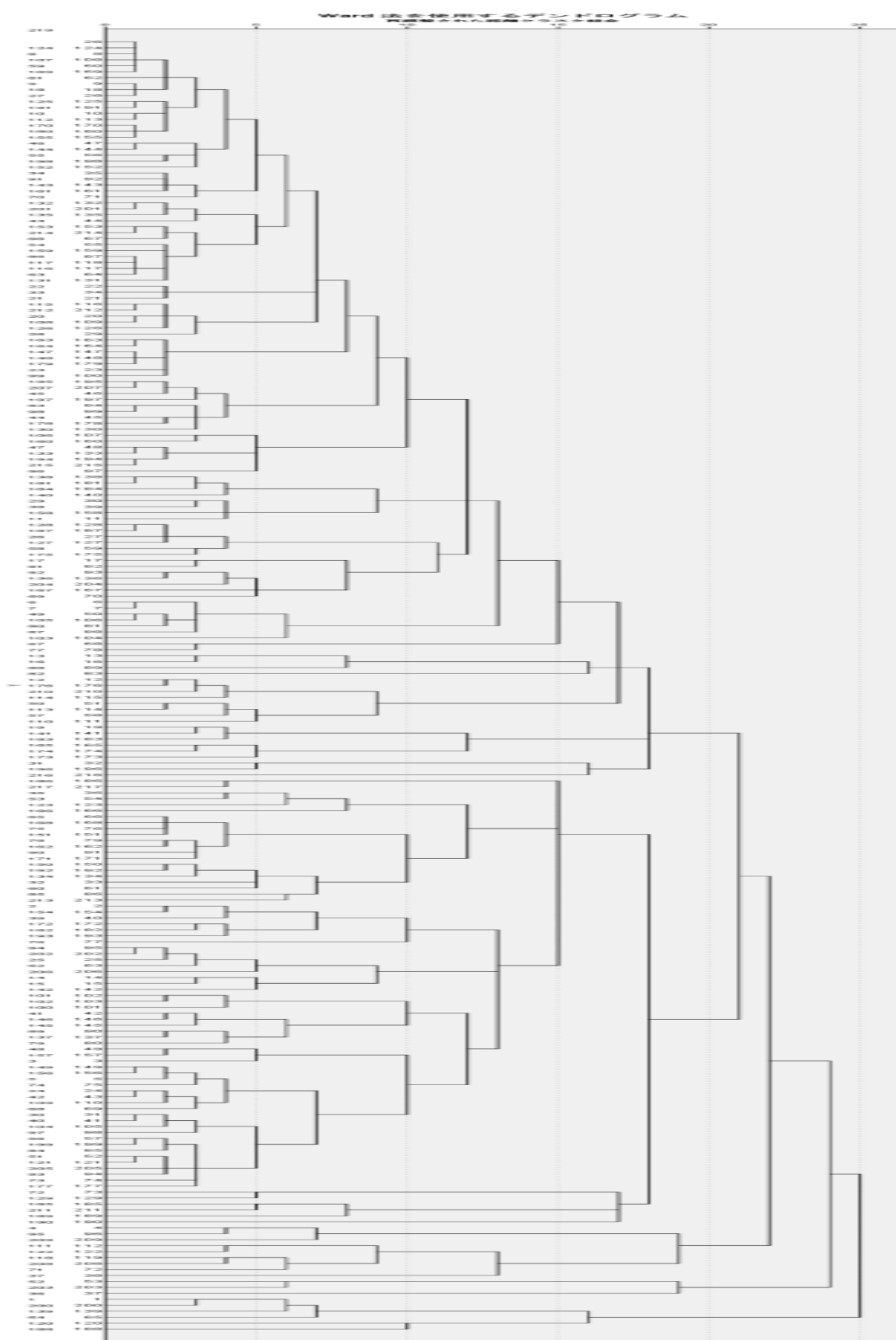


図3 デンドログラム

表 37 判別分析：標準化された正準判別関数係数

	関数			
	1	2	3	4
食事の支度	-.202	.110	-.089	.078
食事の片づけ	.152	-.273	.007	.496
食事準備の手伝い	1.993	.175	.071	-.023
お弁当作り	-.007	.012	.322	.273
ゴミ出し	.076	-.122	-.064	-.036
整理整頓	.120	.148	-.045	.147
掃除家の中	.056	.206	.031	.051
戸締り	-.030	.651	.050	.248
朝の窓開け	-.007	.342	-.268	-.185
洗濯	.005	.107	.126	.231
布団上げ下げ	.009	-.056	-.046	-.099
アイロン掛け	.147	-.091	.148	.349
家事手伝い	-.523	.007	-.282	.089
食事を摂る	.166	.125	.096	-.158
入浴	-.135	-.111	-.012	-.078
整容	.065	-.121	-.368	.118
トイレ	.004	.043	.105	.213
加工品作り	-.577	-.171	.263	-.058
料理	-.278	1.156	-.011	-.077
宗教お参り	.030	.162	.526	.311
神棚仏壇のお参り	-.113	.245	.034	-.017
子供孫の世話	-.171	.060	.230	-.340
親の世話	.165	.086	-.034	-.326
家庭管理家計簿	.250	.047	-.201	.394
休み昼寝	.118	-.086	-.276	.608
友人とお茶会	.012	-.069	-.229	.258
友人と会合お話のみ	.096	-.093	-.161	-.006
友人と活動	.066	.071	-.187	.222
趣味サークル参加	.047	.021	-.071	.245
OB会同窓会	.090	-.141	.184	-.212
来客対応	1.685	.027	.043	-.083
趣味サークル運営	.262	.254	.143	-.155
お稽古習い事	.159	-.107	.086	-.081
シルバー大学生涯学習	.357	.017	.186	.295
カラオケ	.215	.215	-.335	.383
楽器演奏音楽	-.201	.202	1.347	-.084
コーラス	.016	-.014	-.077	.336
趣味活動	.157	-.050	-.183	.031
外出	-.007	-.075	.013	.235
散歩	-.083	.254	.016	-.010
体を動かす	-.006	-.045	.024	.013
卓球練習	.088	-.176	.151	.122
山歩き	-.035	.003	.016	-.097
医療ケア健康自己管理	-.110	-.304	-.359	.197
日記を書く	-.230	.323	.260	.075
家の手入れ	.046	-.057	-.145	-.013
手入れ	.009	-.180	.040	-.088
園芸家庭菜園	-.103	.205	.319	-.050
庭の手入れ水やり	-.084	-.194	.034	-.098
買い物	.049	-.057	-.070	.020
お金の出し入れ	-.160	-.187	-.115	.241
掃除地域神社お寺	.151	.036	-.043	-.075
地域文化保全太鼓など	.582	-.041	-.075	.136
地区パトロール	-.039	.340	-.092	.031
防犯活動	-.048	-.143	-.031	-.049
ボランティア活動	-.158	-.230	-.010	.284
トラブル解決係	-.028	.081	-.104	-.082
地域組織参加運営老自町除く	-.029	-.106	.110	-.077
資格による活動	-.044	-.064	.057	-.253
神社行事手伝い	.042	-.250	.061	.231
地域の当番	.067	-.096	.121	.445
キャンペーン活動	-.003	-.054	.056	-.070
老人会参加運営	-.242	-.161	.157	-.174
老人会旅行	-.031	-.013	.065	-.011
町内会参加運営	-.052	.301	.043	-.043
自治会活動	-.001	-.037	-.018	-.010
婦人会	-.099	.020	-.001	.054
花を生ける	.123	-.058	.375	-.084
酒を呑む	-.082	.074	.213	.018
テレビ見る	.160	-.058	.173	.038
回覧板回す	.139	-.099	-.147	.017
近所付き合い	.024	-.055	.315	-.362
親戚づきあい	-.024	1.025	-.326	-.058
仕事アルバイト	.114	.106	-.032	-.139
長	.040	-.219	.147	.096
幹事	.052	.137	-.175	-.136
役員部員委員	-.003	-.052	.037	.457
ペットの世話	-.002	-.125	-.067	-.080
特になし	.047	-.220	.059	.093
新聞	-.039	.130	-.007	-.099

※各関数の内、絶対値で係数の大きいものを上位5位まで網かけで示した

(1)地域活動と家事を両立する群

第 1 クラスター内での上位 5 つの実施作業は、ゴミ出し、庭の手入れ、食事の支度、神社等地域の掃除、神棚仏壇の掃除と続く(表 38)。多くが家事に関する内容となっているが、似た内容を持つ第 2 クラスターとの違いを見ると、その特徴は仕事アルバイトを継続している事、役員部員の実施や、地区パトロール、地域文化保全等の地域活動への協力があることである。そこで、第 1 クラスターは「地域活動と家事を両立する群」と命名した。

また、このクラスターは今回 5 つに分かれたクラスターの中で 1 番人数が多く 123 名となっている。これらの属性の特徴に関しては表 39 に示す。男性 71 名、女性 52 名で有意な差はなく、配偶者有りが 105 名で、無しが 17 名であり、有意に配偶者の居るものが多い(p<0.05)。配偶者と暮らす一般的な日本人の生活の様子を代表していると考え

表 38 実施数の多い作業

順位	作業項目名
1	ゴミ出し
2	庭の手入れ水やり
3	食事の支度
4	掃除地域神社お寺
5	神棚仏壇のお参り
6	仕事アルバイト
7	洗濯
8	役員部員委員
9	掃除家の中
10	買い物
11	布団上げ下げ
12	ペットの世話
13	地区パトロール
14	テレビ見る
15	趣味活動
16	地域組織参加運営
17	散歩
18	体を動かす
19	日記を書く
20	老人会参加運営

※表 37 における係数が高かった項目を網かけで示した

表39 クラスター内属性の特徴

性別	人数	配偶者	人数
男性	71	有り	105 *
女性	52	無し	17

同居形態	人数	仕事状況	人数
配偶者と	46	定年退職	79
子または親と	40	非常勤	2
独居	8	常勤	9
子世帯と	20	無職	29
その他	8		

* p<0.05

(2)生活全般の管理をする群

第 2 クラスター内での上位 5 つの実施作業は、洗濯、食事の支度、家の掃除、ゴミ出し、庭の手入れと続く。全てが家事に関する内容となっている(表 40)。判別分析による結果を見ると(表 41)、家庭管理と昼休み昼寝がこのクラスターの特徴と見て取ることができ、主に家の中で過ごしている様子が考えられる。そこで、第 2 クラスターは「生活全般の管理をする群」と命名した。

このクラスター内の属性の特徴に関しては表 42 に示す。男性 29 名、女性 46 名であり、女性が有意に多い(p<0.05)。配偶者有りが 62 名で無しが 13 名であり、配偶者有りが有

意に多い(p<0.05). また, もともと無職である人の割合が多く一般的な専業主婦の作業選択の形ではないかと思われる.

表 40 実施数の多い作業

順位	作業項目名
1	洗濯
2	食事の支度
3	掃除家の中
4	ゴミ出し
5	庭の手入れ水やり
6	買い物
7	役員部員委員
8	神棚仏壇のお参り
9	掃除地域神社お寺
10	食事の片づけ
11	家庭管理家計簿
12	体を動かす
13	テレビ見る
14	布団上げ下げ
15	入浴
16	趣味サークル参加
17	趣味活動
18	地区パトロール
19	ボランティア活動
20	整理整頓

※表 37 における係数が高かった項目を灰の網かけ、表 41 で係数の高かった項目を濃灰の網かけで示した

表42 クラスタ内属性の特徴

性別	人数	配偶者	人数
男性	29	有り	62 *
女性	46 *	無し	13

同居形態	人数	仕事状況	人数
配偶者と	34	定年退職	41
子または親と	17	非常勤	4
独居	8	常勤	4
子世帯と	10	無職	20
その他	6		

* p<0.05

表 41 クラスタ 1 とクラスタ 2 の判別分析に関わる係数上位(絶対値)

標準化された正準判別関数係数	
休み昼寝	.583
家庭管理家計簿	.500
整容	.447
地域文化保全太鼓など	.418
楽器演奏音楽	.398
シルバー大学生涯学習	.386
カラオケ	.366
友人と活動	.333

(3)家事の一部を手伝う群

第 3 クラスタ内での上位 5 つの作業は, 食事の支度, 家の掃除, 戸締り, 朝の窓開け, 洗濯と続く(表 43). このクラスタも家事に関する内容が続くが, 第 1, 第 2 クラスタとの判別分析の結果, 特徴として表れるのが, 朝の窓開け, 戸締りである(表 44). そこで, このクラスタは自身が中心となって家事を担うというよりも, どこか一部を

手伝っている群であると考え「家事の一部を手伝う群」と命名した。

このクラスター内の属性の特徴に関しては表 45 に示す。男性 3 名、女性 6 名であり有意な差は見られない。また、配偶者あり 6 名、無し 3 名でありこちらも有意な差は見られない。同居人の特徴も特に見られないが、趣味活動や友人との会合といった活動も上位に挙がっており、家事そのものよりも自身の好きな事を行いながら、家事に関わる様子が見られた。

表 43 実施数の多い作業

順位	作業項目名
1	食事の支度
2	掃除家の中
3	戸締り
4	朝の窓開け
5	洗濯
6	神棚仏壇のお参り
7	庭の手入れ水やり
8	散歩
9	地区パトロール
10	ゴミ出し
11	料理
12	友人と会合お話のみ
13	カラオケ
14	趣味活動
15	園芸家庭菜園
16	買い物
17	掃除地域神社お寺
18	親戚つきあい
19	仕事アルバイト
20	役員部員委員

表 45 クラスター内属性の特徴

性別	人数	配偶者	人数
男性	3	有り	6
女性	6	無し	3

同居形態	人数	仕事状況	人数
配偶者	3	定年退職	7
子または親と	1	非常勤	0
独居	2	常勤	0
子世帯と	2	無職	2
その他	1		

※表 37 における係数が高かった項目を灰の網かけ、
表 44 で係数の高かった項目を濃灰の網かけで示した

表 44 クラスター1・2 とクラスター3 の判別分析に関わる係数上位(絶対値)

標準化された正準判別関数係数	
朝の窓開け	.576
趣味サークル運営	.547
園芸家庭菜園	.479
町内会参加運営	.400
カラオケ	.375
お金の出し入れ	.337
神棚仏壇のお参り	.333
戸締り	.330

(4)趣味等好きな事をする群

第 4 クラスター内での上位 5 つの作業は、体を動かす、日記を書く、家の掃除、洗濯、宗教お参り、と続く。このクラスターはこのあと、楽器演奏や趣味活動、散歩、卓球練習等と続き、他のクラスターとは異なる独特の作業実施内容である(表 46)。判別分析での結果を見ると(表 47)、特徴として楽器演奏が見られることから「趣味など好きな事を

する群」とした。

このクラスターは3名と最も構成人数が少ない。属性の特徴に関しては表48に示す。3名全員が男性であり、配偶者ありが1名なしが2名となっている。

表46 実施数の多い作業

順位	作業項目名
1	体を動かす
2	日記を書く
3	掃除家の中
4	洗濯
5	宗教お参り
6	神棚仏壇のお参り
7	楽器演奏音楽
8	趣味活動
9	散歩
10	卓球練習
11	園芸家庭菜園
12	庭の手入れ水やり
13	買い物
14	テレビ見る
15	仕事アルバイト
16	役員部員委員
17	新聞
18	食事の支度
19	お弁当作り
20	ゴミ出し

表48 クラスター内属性の特徴

性別	人数	配偶者	人数
男性	3	有り	1
女性	0	無し	2

同居形態	人数	仕事状況	人数
配偶者と	1	定年退職	1
子世帯と	0	非常勤	1
独居	1	常勤	0
その他	1	無職	1

※表47で係数の高かった項目を濃灰の網かけで示した

表47 クラスター1・2・3とクラスター4の判別に関わる係数上位(絶対値)

標準化された正準判別関数係	
楽器演奏音楽	1.049
宗教お参り	.913
洗濯	.349
酒を呑む	.316
回覧板回す	.297
園芸家庭菜園	.296
買い物	.262

(5)好きな事と地域貢献活動をする群

第5クラスター内の上位5つの作業は、食事準備の手伝い、趣味活動、テレビを見る、庭の手入れ、老人会参加と続く(表49)。中心的な家事に関する作業は上位に出現しない。判別分析での特徴を見ると、来客対応やシルバー大学の参加、地域文化保全などが挙げられ(表50)、また上位に地区パトロールや仕事がある事から、「好きな事と地域貢献活動をする群」と命名した。

このクラスターの属性の特徴に関しては表51に示す。男性5名で女性が1名であるが、有意差はない。全員に配偶者がおり、ほとんどの者が配偶者と暮らしていることから、

親，子，孫など世話をする相手は特になく，好きな事を出来る環境にあるものと考えられる。

表 49 実施数の多い作業

順位	作業項目名
1	食事準備の手伝い
2	趣味活動
3	テレビ見る
4	庭の手入れ水やり
5	老人会参加運営
6	食事の支度
7	ゴミ出し
8	お稽古習い事
9	掃除地域神社お寺
10	来客対応
11	シルバー大学生涯学習
12	地域文化保全太鼓など
13	地区パトロール
14	仕事アルバイト
15	長
16	新聞
17	食事の片づけ
18	掃除家の中
19	洗濯
20	家事手伝い

※表 37 における係数が高かった項目を
 灰の網かけ、表 50 で係数の高かった
 項目を濃灰の網かけで示した

表51 クラスター内属性の特徴

性別	人数	配偶者	人数
男性	5	有り	6
女性	1	無し	0

同居形態	人数	仕事状況	人数
配偶者と	5	定年退職	3
子または親と	0	非常勤	0
独居	0	常勤	2
子世帯と	1	無職	1
その他	0		

表 50 クラスター1・2・3・4 とクラスター5 の判別に関わる係数上位(絶対値)

標準化された正準判別関数係数	
食事準備の手伝い	1.176
来客対応	.686
休み昼寝	.372
医療ケア健康自己管理	.329
シルバー大学生涯学習	.292
地域文化保全太鼓など	.287

(6)各クラスターの特徴

最後に、各クラスターの特徴を表 52 にまとめた。

表 52 各クラスターの特徴

グループ名	属性	特徴的な作業
クラスター1 地域活動と家事を両立する群	やや男性が多く 有意に配偶者有りの者が 多い	役員部員・地区パトロール・地域文化保全
クラスター2 生活全般の管理をする群	女性が有意に多く 配偶者有りが有意に多い 無職の割合が高い	家庭管理・昼休み
クラスター3 家事の一部を手伝う群	女性がやや多く 配偶者有りがやや多い	朝の窓開け・戸締り
クラスター4 趣味など好きな事をする群	全員男性 配偶者無しの割合が高い	楽器演奏・体を動かす・日記を書く
クラスター5 好きな事と地域貢献活動をする群	ほぼ男性であり 全員に配偶者あり	シルバー大学参加・来客対応・地域文化保全

IV. 考察

本研究では、高齢者における当たり前の毎日を構成する日々の習慣・役割作業の項目と特徴について、作業療法士の視点を用いて調査を行った。これらは60～70代の当たり前の毎日を表わしていると考えられる。得られた結果を、障害を持った高齢者の具体的な支援に役立てる為、分析結果からどのような視点が得られたか、またどの様に活用できるのか方向性について考察を行う。

1. 対象者の特徴

まず、総務省統計局発表の平成22年国勢調査人口等基本集計をもとに、本研究の調査対象者の位置づけについて考察を行う。全国の60～70代の男女比はほぼ1対1であり、調査対象者と一致している。全国全体での配偶者の有無は、配偶者ありが73%、なしが25%であり、調査対象者全体での83%は全国よりも高い割合であった。これは男女別に比較しても同様の傾向が見られる。続いて同居の形態は、全国全体では配偶者とが34%、独居が13%、子世帯とが12%であるが、調査対象者全体では配偶者とが41%、独居が7%、子世帯とが14%であり、全国に比し誰かと同居する割合が高く独居の割合が低い。最後に仕事の状況では、全国全体では定年退職が36%、常勤が17%、無職が19%であるが、調査対象者全体では定年退職が61%、常勤が7%、無職が24%であり、全国と比し仕事を定年退職している割合が高い。特に男性のみで比較すると全国では定年退職が31%であるのに対し、調査対象者は87%であり、女性のみで比較すると無職は全国で26%であるのに対し調査対象者は47%である。(図4-6)

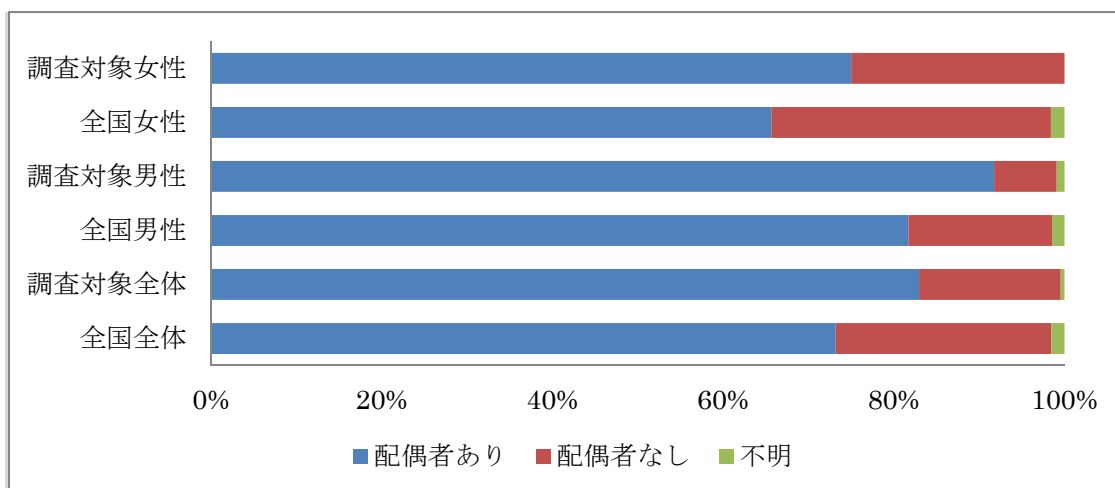


図4 配偶者の有無

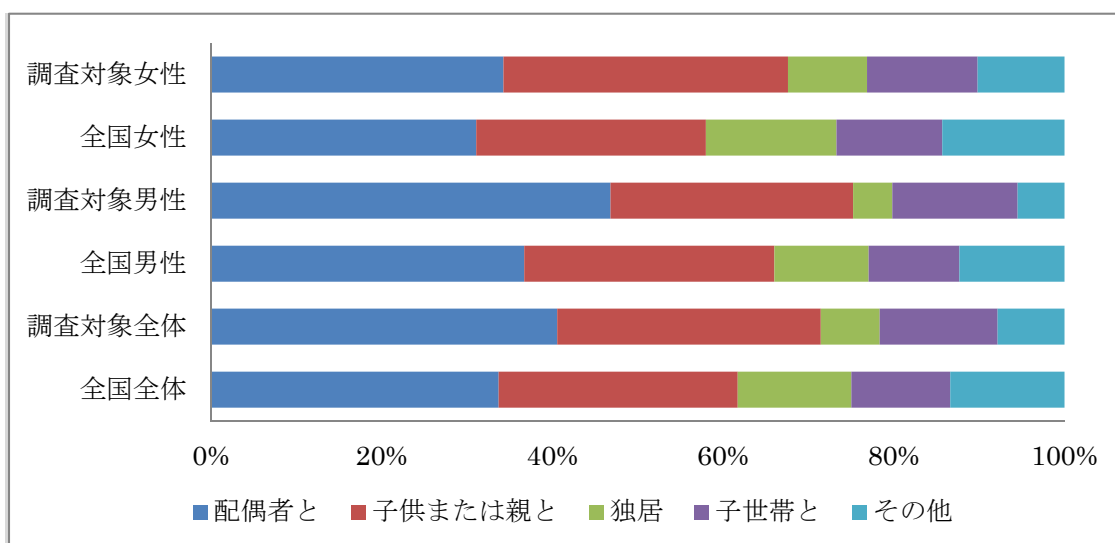


図5 同居の形態

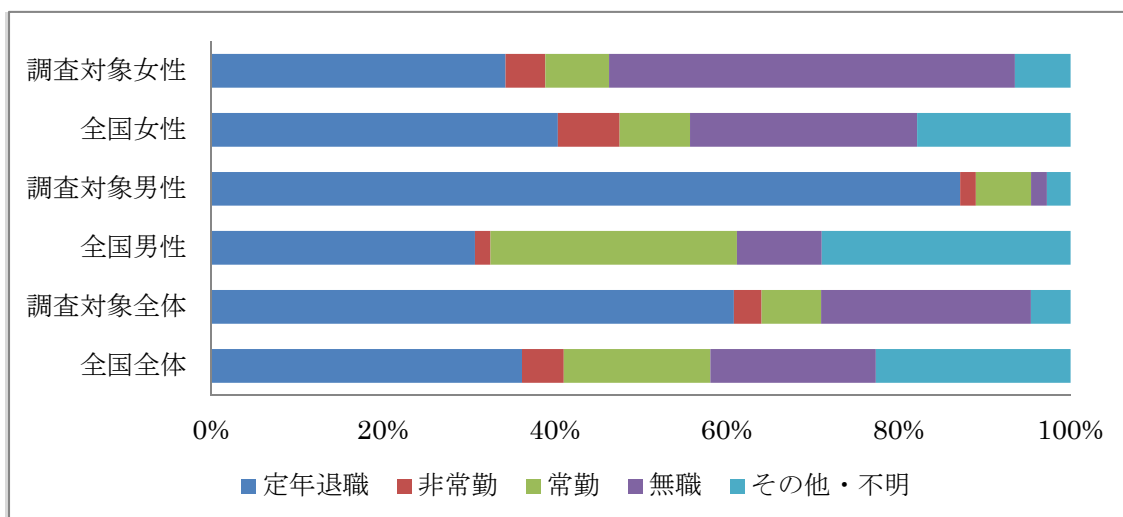


図6 仕事の状況

以上の事から、調査対象者は全国の同世代と比し、仕事をすでに引退し家族と暮しているという特徴のある群だと言える。よって、本調査結果は特に何かしらの形で仕事を続けている人よりも、仕事を引退した人々や専業主婦に役立てる事ができると考える。ただし、高齢者の活動の実態については、その地域の文化・社会的背景との関わりを無視することはできない⁸⁾と言われており、本稿では、調査対象であるA市の高齢者である事に注意して考察を進める。

2. 生活を構築する日々の習慣・役割作業の実態

<作業の種類>

本調査では日々行われている習慣・役割作業として対象者それぞれの回答表現から整理した、400種の作業を抽出する事が出来た。これらの作業の中には、果物の準備、自転車を

出す、雨戸を閉める、といった毎日の実施が容易に想像されるものの、とりたてて役割と表現がし辛いと推測される作業が多く挙がり、人が日々様々な習慣や役割作業を行うことで生活を構築している事が確認できたと考える。また同時に、日々の生活にある何気ない作業を、人によっては自分自身のしなければならない習慣・役割作業であると捉えていることを示していると考えられる。しかし、在宅高齢障害者と日常生活における作業と自己決定感との関係を調べた正木らの報告によれば²⁶⁾、日常の作業には「自動的にあまり意識されずに行われるような選択の認識が低い作業、すなわちしているはずであるが挙げられない作業と、日常の作業として認識しているが自分で選択している認識が低い作業と、日常の作業として自分ですると決めている事を認識している作業の3つの作業が存在する」という。この様に、障害を持った人にとって生活に組み込まれた何気ない作業は、その人にとって生活に必要な作業であっても、本人がそのように感じていない場合は、役割と報告することは難しいと言える。この事から、障害の無い者に、じっくりと生活を振り返ってもらいながら書き出してもう事で得た本調査結果の作業は、障害を持ち入院している対象者に「役割は何か?」「習慣は何か?」「どんなことをしていたか?」といった従来の質問をしても得られ辛い内容であると考えられる。ここで得られた400種類の作業の情報は、広く人々の日々の習慣・役割作業を反映しており、前述した仕事一筋で生活を送って来た男性であっても、家庭内で行っている作業が含まれる可能性は高く、作業療法士が評価する際に持つべき情報として有用だと考える。

ただし400種という豊富な作業が得られた背景には、どの地域においても、老人クラブ会員の個人活動、社会参加、奉仕活動の活発度が高い傾向にあるという高橋らの調査⁴⁰⁾結果が影響していると考えられる。さらに、老人クラブに関する作業が複数挙がっており調査対象群の特徴の影響を受けている。人の生活の多様性を考えると、活発度の低い可能性がある老人クラブに所属していない人々からの情報も、今後は追加していかなければならないと考える。また、本調査は夏に行っており、少なからず季節の影響を受けた可能性がある。そして、今回得られた海岸の清掃や史跡案内といった作業は海を持つ土地柄、歴史的文化をもつ地域性の影響を受けており、違う地域であれば異なる作業が得られる可能性が考えられる。日々の習慣・役割作業をあらいざらいに調査するのであれば、今後は他の季節、他の地域の情報を追加し検討してゆく事が必要であると考えられる。

<作業内容の性差>

次に、作業の内容に関し男女を比較すると、毎日家で行われている作業は女性の方がどの時間帯でも種類が多く、反対に、地域の中で行われている作業は男性の方が種類が多かった。更に、1週間・1ヶ月単位で行われる作業においても、女性では家庭に関する事が挙がり、男性では地域に関する事が挙がった。この事から、女性は家の中での活動が多く、男性は家の外、地域社会での活動が多いことが改めて確認できた。この結果は、岩崎らの

社会・文化的な行動は男性に優位であり、家事的な行動は女性に優位であるという結果²⁰⁾や、山城らの、家庭内での活動は男性に比べ女性の方が多くの役割を担っており、地域への役員としての関わりは男性が有意に多い²¹⁾という結果と一致している。このことは、男女平等社会という言葉が存在する現代でも、調査対象の世代においては、家庭は女性が守り男性は社会に出るという役割分担が変化していないと言えると考えられる。それゆえに、いわゆる我々が持つ性差による作業分担のイメージは、調査対象世代における特徴と言う事もでき、評価の視点として用いる事が出来ることを意味していると考えられる。

また、女性と男性の作業内容とそれを実施している人の数に関しては、女性の挙げた作業はそれを実施している人数も多く、女性の多くが同じ様な作業を行っていることがうかがえた。一方で、男性は挙げた作業を実施している人数が少なく、それにより種類に幅があった。このことは、男性の場合、家族と同居および配偶者のいる方が生活リズムが規則的であり、男性にとって配偶者や家族に依存した生活が生活リズムを作り出すという八島らの研究⁴⁾に関連付けられると考えられる。本調査対象の男性は92%に配偶者がおり、90%が誰かしらの家族と同居していることから、男性が日常で行う生活に組み込まれた作業は、中心的に家事を担う女性を手伝う形である可能性が高く、その内容は女性がどの様な作業を行っているかに左右されるため、多くの種類の作業が挙げたということの意味しているのではないかと考える。

以上の事から、行われている作業内容は男女で異なり、それは性役割に沿った内容と言えるが、男性の習慣・役割作業に於いては、地域のみならず家庭内の環境にも影響を受けると言えると考えられる。

<作業分類の項目>

評価の視点として活かせる様に整理分類する目的で実施した KJ 法におけるグループ分けの手法を用いた分類では、400 種の習慣・役割作業から 81 の中項目と 32 の大項目が得られた。評価の視点としてこれまでに無かった、または埋もれてしまっていた項目が導き出せているのかを確認する為に、作業療法評価の際に評価項目に偏りが無いか等の確認で用いられている ICF 分類との比較を用いて考察する。大項目の内容と ICF の分類とを比較したものを表 53 に示す。

表53 大項目名とICF分類の関係

大項目一覧	ICF分類	ICF分類	ICF分類	
家事活動	家事	自分を磨く知的活動	地域活性化の活動	
ADL	セルフケア	音楽活動	レクリエーションとレジャー- 老人会活動	
台所回りの活動		楽しみ活動	レクリエーションとレジャー- 町内会活動	
宗教的活動	宗教とスピリチュアリティ	気分転換活動	レクリエーションとレジャー- 自治会活動	
家族の世話的活動	支援と関係一 가족	体を動かす活動	家でのゆとり活動	
家庭管理		自分と向き合う活動	近所の交流活動	
休み		家周辺の活動	親族との交流	家族関係
人との交流活動	基本的な対人関係	庭での活動	仕事	仕事と子用
仲間のとりまとめ活動		地域での家事に関する活動	集団内での役割	
自分を磨く楽しみ活動	レクリエーションとレジャー	地域を守る活動	生き物の世話	支援と関係一 가족
		地域での人の為の活動	その他	

家事活動やADLの様な身の回りのこと、人の交流や趣味に関する内容と同様の意味を持つ分類はICF分類に存在している。しかしより詳細に表現されていると思われる、庭での活動、家でのゆとり活動等を表す分類はICFの分類項目としては見当たらなかった。これは今回得られた大項目の表現が、より具体的な作業を想像しやすい表現になっているからではないかと考える。

次に、作業療法の領域において一般的によく使われている言葉であるかを確認する目的で、医学中央雑誌 Web を用いて“大項目名(家事活動など) 作業療法”とのキーワードを用いて文献検索を行った結果(表54)を用いて考察する。

表54 大項目名を用いた文献の数

大項目	文献	大項目	文献	大項目	文献
家事活動	3	自分を磨く知的活動	0	地域活性化の活動	1
ADL	1508	音楽活動	33	老人会活動	3
台所回りの活動	0	楽しみ活動	2	町内会活動	0
宗教的活動	1	気分転換活動	23	自治会活動	1
家族の世話的活動	1	体を動かす活動	5	家でのゆとり活動	10
家庭管理	2	自分と向き合う活動	0	近所の交流活動	2
休み	5	家周辺の活動	0	親族との交流	1
人との交流活動	7	庭での活動	0	仕事	369
仲間のとりまとめ活動	0	地域での家事に関する活動	0	集団内での役割	67
自分を磨く楽しみ活動	0	地域を守る活動	0	生き物の世話	0
		地域での人の為の活動	0	その他	

その結果、ICFに類似する分類が無い項目でも、すでに作業療法の文献キーワードとして用いられている言葉が存在した。これらのことから、今回集約された32項目は項目としてこれまで挙がっていなくとも、作業療法の領域で用いられている言葉も含まれていると言える。どちらにも該当しなかった言葉もあるが、作業療法士が分類した言葉であり、特に専門性の高い表現を用いてはいない為、項目としては利用できると考える。以上より、32大項目においては、これまで無かった、または埋もれていた習慣・役割作業を考えるときの評価の視点となる項目が得られたと考える。

一方、81の中項目は、さらにより具体的な作業を指す表現であることから、岩崎ら²⁰⁾、山城ら²¹⁾、玉置ら²²⁾の先行研究で習慣や役割を選択する際に選択肢として選ばれていた作業、及び生活時間調査結果を基に作成された中村らの活動状況調査の内容75項目⁴²⁾との関係を考察する。関係性について表55に示す。

表55 中項目と他の先行研究の項目との関係

中項目一覧	山城 玉置 岩崎 中村	山城 玉置 岩崎 中村	山城 玉置 岩崎 中村	山城 玉置 岩崎 中村					
食事の支度	○ ○ ○	神棚・仏壇のお参り	○	体を動かす	○ ○ ○	資格による活動	○		
食事の片づけ	○	子供・孫の世話	○ ○ ○	卓球		神社の行事手伝い	○		
食事準備の手伝い		親の世話	○	山歩き		地域の当番			
お弁当作り		家庭管理(会計簿)	○	医療ケア・健康の自己管理		○	キャンペーン活動		
ゴミ出し	○	休み(昼寝)		○	日記を書く		老人会参加・運営	○ ○	
整理整頓		友人とお茶会		新聞読む		○ ○	老人会旅行		
掃除(家の中)	○ ○ ○	友人と会合(お話のみ)		大工・家の修理	○		町内会参加・運営	○ ○ ○	
戸締り		友人と活動(おしゃべりだけを除く)	○	水撒き(家の周辺)			自治会活動	○ ○	
朝の窓開け		趣味サークル参加		手入れ	○		婦人会	○	
洗濯	○ ○ ○	同窓会・OB会		園芸・家庭菜園			酒を呑む		
布団の上げ下げ		来客対応		庭の手入れ・水やり	○ ○ ○		花を生ける		
アイロンがけ	○	趣味サークル運営		買い物	○ ○ ○		TVを見る	○	
家事・家事手伝い		お稽古・習い事	○	お金の出し入れ			回覧板を回す		
食事を摂る	○ ○ ○	シルバー大学・生涯学習	○ ○ ○	掃除(地域・お寺・神社)	○		○	近所付き合い	○ ○
入浴	○	カラオケ		地域文化保全(太鼓など)				親戚付き合い	○
整容	○	楽器演奏・音楽		地区パトロール	○			仕事・アルバイト	○ ○ ○
トイレ		コーラス		防犯活動				○ ○ 長	
加工品作り	○	趣味活動	○ ○ ○ ○	ボランティア活動	○ ○ ○ ○			○ ○ 幹事	
料理		外出・お出かけ	○	トラブル解決係				○ ○ 役員・部員・委員	
宗教・お参り	○ ○	散歩	○ ○	地域組織参加・運営				ペットの世話	○ ○
								特になし	

先行研究にあり本調査では得られなかった作業:留守番/戦友会/民生委員

※一致している項目に○を印す

食事の支度、趣味活動、ボランティア活動といった、その表現の中に様々な作業を含む項目やADLに関係すること、町内会の活動などは他の先行研究でも既に用いられている項目であった。一方、戸締りや窓開け、回覧板を回すなどの項目は本調査で初めて項目となっている作業である。本調査では、これまで表現されてきた内容よりも、より具体的に限定的な表現も含んだ日常生活の中で習慣や役割と思い行っている作業を項目とする事が出来たと考える。また、先行研究と一致している項目も多く、全体的にはそれぞれの先行研究の内容に新しい項目を加えた形となっている。一部、本調査では得られず先行研究に見られた作業に留守番や戦友会等があるが、これは前述した老人会に所属しており活発度が高いという調査対象者の特徴および世代が影響していると考えられる。

以上の事から、生活を構築する日々の習慣や役割作業を、作業療法士の視点で整理しカテゴリー化する事で、ひとりひとりの特徴を残した多種多様な項目を導く事が出来たと考える。特に先行研究にこれまで無かった項目は新しく視点とする事ができ、これらの大項

目、中項目の情報は、作業療法士が障害を持った高齢者の生活を良く理解する為に、どのような生活をしてきたのか評価する際により具体的な手がかりとして有用であると考えられる。

3. 分類後作業項目の特徴

1)基本属性との関係における作業の特徴

次に、81項目に整理した作業について、各項目を行っている人の特徴を得る目的で行ったクロス集計の結果について考察を続ける。作業種目にはそれぞれに属性等との関係で特徴があった。

<81 作業項目の性差>

まず、性別に関しては、男性は地域での役員および地域を守る仕事等が行われる割合が有意に高かった。このことは、前述した男性の方が地域の活動を有意に行うという先行研究と一致している。また、定年退職者が生きがいを感じるのは、自分自身が一定の貢献を果たしていると実感できる事であると言われており⁴³⁾、仕事の次の段階として貢献できる作業を行おうとしている事が影響しているのではないかと考える。次に、本調査では男性が行う割合が高い特徴的な作業として、戸締りがあった。これは家事的活動の中で唯一男性が行う割合が有意に高い作業として抽出された。この事は、男性も家にいる際は家庭内の事を実施するが、主に女性が行っている事で、男性の行うそれは非常に小さな一部である事が表れていると考える。定年退職後の夫婦関係について、夫は夫婦単位の行動を望む共同化志向、妻は個人単位の自由な行動を望む個人化志向という傾向が見られると言われている⁴⁴⁾。夫婦単位の行動を優先する夫が家事に参入しようとするものの、これまで行ってきた家事を自分自身の仕事と捉え遂行する妻との関係から、家事の分担が大きく変化することはなく、男性は家庭の中での役割を何か探し出して行っているのではないかと考える。

一方女性は食事の支度や片付け、掃除、洗濯と家事に関する作業が行われる割合が有意に高い。これも前述したように、女性が家庭的な作業を有意に行うという先行研究と一致している。女性で特徴的であるのは、友人との会合や趣味活動が行われる割合が有意に高い点である。女性の場合、男性と比較して、集団に参加する事が幸福感に正の影響を与えていると言われている。また、活動的で社交的な人ほど幸福感は高いが、特に女性は旅行等の頻度が正の効果を持つという⁴⁵⁾。女性は家事の中心的な役割を担いながらも、一定の貢献を得られる作業を求める男性に比し、自分自身の幸せの為に楽しみを見つけ、その為の時間を確保し実行する事ができているのではないかと考える。

以上の事から、習慣・役割作業を評価する際には、ここで得られた性差による作業の特徴に着目した視点を持つ事が、一つ重要な要素と言えると考える。

<配偶者の有無による差>

全体の配偶者の有無で検討した場合、配偶者が無い者にのみ、有意に行う割合が高い作業があり、それらはお弁当作りや整理整頓、洗濯等、生活を維持するのに必要となる作業であったことから、環境により求められる作業の影響を受けているのではないかと考える。

男女別に見ると、配偶者の無い男性は食事の支度や家計管理等、全体で分析した際には女性に有意に行われる割合が高い家事に関する作業を行う割合が高い。一方配偶者の無い女性は朝の窓開けやペットの世話など必ずしも家事の中心とはならない作業が有意に行われる割合が高い。つまり、配偶者のいない場合には一人で実施する作業が増えると予測されることから、男女それぞれの配偶者の無い者は、通常考えられる性役割を超えた作業を行っていると言える。以上のことから、配偶者のいない対象者への評価の際には、生活の維持に必要な作業を優先的に評価すると、対象者に必要な作業が導き出しやすいが、その際は対象者の性別とは対称の性役割について考える視点が重要であると考えられる。

<同居形態の種類による差>

全体の同居形態の種類で検討した場合、配偶者とのみで暮す者は趣味サークルの運営が有意に高く、親の世話が有意に低かったことから、自分自身または夫婦だけの時間を自由に使える環境にあると考える。子や親と暮す場合には世話をする対象があり、独居の場合には生活の為にしなければならない事が増えてくると予測される為、夫婦単位の生活の者が最も趣味の時間に積極的になれると考える。

一方、子世帯と暮す者が有意に行う割合の高い作業が存在しなかった点については、嫁や娘など子世帯が中心となり家事等家の事を行っている可能性が考えられる。しかし男女別にみると、子または親と同居の男性が有意に行う割合の高い作業がゴミ出しであるのに対し、女性が有意に行う割合が高い作業は親の世話と洗濯である。このことから同居家族がいても、女性は家事や家族の世話をしている事が確認できたと言える。そして、男性で独居の場合には食事の支度や家計管理が挙げられ、全体で独居の者を分析した場合の外出とは異なるから、独居となると男性は家事に参入する事が確認できた。

以上のことから、配偶者と暮す者は趣味など好きな事を行っている可能性が高く、それを評価の視点とする事ができるが、対象者が行う作業は他の同居形態に於いては形態そのものよりも、対象者の性別の影響を受けると言えると考えられる。

<仕事の状況の種類による差>

全体の仕事状況の種類で検討した場合、定年退職後の者の地区パトロールと散歩が有意に行う割合が高く、無職の者の家事に関するものが有意に行う割合が高いという結果は、性差の際に見られた特徴と類似していると考えられる。本調査では、定年退職の71%が男性であり、無職の96%が女性であることから、仕事状況そのものよりも仕事状況に分類される

男女比の影響を受け、性役割に関する結果が表れているのではないかと考える。

男女別に見ると、男性では常勤の者に仕事・アルバイトという有意差しか得られなが、女性は常勤の場合、親の世話や回覧板を回すといった事が有意に行われる割合が高い。これらの事からも、仕事状況に関しても性差の影響を受けているという事ができ、仕事状況のみから、対象者を評価する際の視点を得る事は難しいと考える。

<年齢による差 前期高齢者群・後期高齢者群の比較>

前期高齢者群と後期高齢者群では、それぞれの基本属性に関して有意に行われる割合の高い作業の違いが見られた。性別において前期群の男性に 7 種ある作業が後期群では自治会活動のみへと減少し、女性の場合は前期群の 9 種から後期群の 10 種へと増加し、その内容は前期群にあった家事に関する内容に趣味や友人との活動が加わるものである。これらの違いは、減少のみであれば、前述した前期高齢者・後期高齢者の分類理由の様に、機能低下や ADL 低下等の身体特性で説明する事ができるが、女性の場合は増加している。これは作業内容の性差でも述べたように、男性は実施作業に貢献を求め、女性は幸福を感じやすいことが関係していると考え。つまり、男性は習慣・役割作業を持つと思っても、世代交代等により自分自身が貢献できる場が無くなっていく、一方で女性是不変の役割である家事に加えて、楽しみを中心とした新しい参加の形を得やすいのではないかと考える。同様に高齢群では仕事の状況に関し、無職の場合にのみ家事に加えて近所付き合いが加わる。高齢群ほど項目が増えるこの傾向は、無職の大半が女性であるという性差の影響が強いと考える。前述の、内閣府が 5 年おきに行う高齢者の生活に関する意識調査では、年齢が上がるほど家庭内での役割は特に無くなると述べ¹⁴⁾、大道は、一般的に、高齢者になれば社会的な繋がりや輪が狭まってくるから、社会的役割は期待できないという予想がかつてあったと述べている⁴⁶⁾が、以上の結果から、高齢になるほど役割が無くなるのではなく、年齢と共にその内容が変化していくと言えるのではないかと考える。

一方、配偶者の有無、同居の形態に関しては後期群となると有意に行われる割合の高い作業は存在しなくなる。このことから高齢となるほど、その人の持つ基本属性の情報はあまり影響をうけなくなる事が確認できたと考え。

<実施作業の個数による差>

実施作業の個数による検討では、実施数の多い群に有意に行われている作業が得られたが、その内容は多岐にわたっており、特徴を認めるような傾向は確認できなかった。同様に、実施個数の少ない群で実施の多かった作業にも、特徴は見られなかった。ただし、作業実施数別に 3 群に分類すると、作業数が少ないほど男性が増える傾向が確認できた。

よって作業実施数に作業内容の特徴は無いが、男性ほど自発的に作業を多く挙げる可能性は低いという点に、評価の際は注意すべきだと言える。

以上の事から、81の各作業項目は対象者の属性との関係で有意に行われる割合が高い作業が存在する事が確認できた。これらは、総じて主に性別による影響を強く受けていると言う事ができると考える。性別を踏まえた上で、どのような環境に置かれているのかを判断する配偶者の有無、同居形態といった情報の視点を活かしたり、年齢による状況の違いを活かしたりすることで、対象者の日々の生活にある習慣・役割作業の中での行う割合の高い作業に焦点を絞る事ができ、効率よく評価できる可能性が示唆された。これらは評価の際に焦点を絞る新たな視点になると考える。

2) 作業実施内容による特徴

続いてクラスター分析の結果では、作業実施内容による分類を行う事ができた。この様な試みは先行文献がなく、十分な先行文献との検討が困難ではあるが、人の作業実施内容の類似性に対する特徴という視点で考察を続ける。5グループに分類されたグループは更に、地域活動と家事を両立する群と生活全般の管理をする群の2グループと、家事の一部を手伝う群、趣味など好きな事をする群、好きな事と地域貢献を行う群の3グループとの、大きく2つに分類することができると思う。

前者の二つの群が行う作業は主に家事全般のことであり、一般的な主婦を想像するような項目が続く。この二つの群で異なる点は、仕事をしているか、役員部員や地区パトロールを行っているか、家計簿管理をしているかである。これらの違いがある2グループであるが、この2グループに挙げた作業上位20を見ると、高齢者の生活に関する意識調査結果の日頃の家事の状態、参加した活動、普段の楽しみの選択肢として挙げられている作業項目と一致する¹⁴⁾。この2群で全体の91.2%を占め、一般的な日本人の生活を表しているのではないかと考える。

一方、後者の3グループはそれぞれに特徴的である。戸締りや窓開けといった特徴を持つ家事の一部を手伝う群は、他にも仏壇のお参りや庭の手入れ、ゴミ出しといった、中心的な家事活動とは異なる作業が多く行われており、役割として家事に参画するものの、決してその中心とはならずにいる人達であると思う。趣味など好きな事をする群と好きな事と地域貢献活動をする群の両群は、共に家事には分類されない作業を多く実施しており、各自の好きなことを行っていると思う。217名のうち、これらの3群に分類されたのはわずか18名であったが、性別や配偶者有無等の基本属性に有意差は無く、様々な属性の者が混在していた。このことから、この様な作業内容を実施する人達が、その属性とは無関係に存在する事が明らかにされた。集団主義的文化に属する日本人は、和を重んじるために、自分の思いや考えなどを相手に伝えることを不得意としている⁴⁷⁾。これらの背景を考えると、障害の無い者への調査である本調査においても、趣味の様な作業を習慣として実際に行っているが、挙げる事ができなかったのか、実際にこの様な作業内容を実施している人が少ないのかを、判断することはできない。また、クラスター分析によるデンドログラム

内の数に対する統計的な判断をすることはできないが、習慣・役割作業に関し、どのような作業内容を実施するかによりパターンがある点は明らかに出来たと考える。

以上のことから、これらの日常どのような作業を行っているかの5つのパターンは、対象者の日常生活を知る際に聞き出した情報から、次の情報を引き出す手段として有用な情報であると考えられる。

4. 作業療法が注目すべき習慣・役割作業に関する視点

次にまとめとして、作業療法が注目すべき、習慣・役割作業に関する視点で考察を行う。作業療法は参加を促進する唯一の職種であり、作業療法士にとって、地域や性別、文化や寿命に関連した参加パターンの理解を深める事は重要であると言われている¹⁹⁾。本調査では、高齢者の行っている習慣・役割作業を明らかにし、さらにそれらの項目に関する特徴を明らかにすることで、いくつかの視点を確認する事ができた。特に、本調査で得られた結果は、調査対象者自身が習慣・役割作業だと認識し、日々の生活を構成する日課等も含んだ多種多様な作業で、先行研究では不十分であった情報を得られたと考える。これまで役割という言葉は、例えば母親としての役割の様に概念的に用いられる事が多く、ゴミを捨てる役割の様な具体的な作業を指す役割の存在は埋もれてしまっていた。本調査で日課や習慣という言葉を用いて広く日々の生活を構成する作業を調査することで得られた400種、およびそれらをまとめた81中項目、32大項目は、在宅復帰を支援する際の作業療法支援の鍵となる視点になると考える。これらの情報を元に、一言に役割と言っても、人々が想像するレベルは様々であることを理解し、それを評価する作業療法士は、なるべく各対象者の生活に組み込まれた作業を丁寧に探し出す、という努力が必要であると考えられる。

アジア人は欧米人に比べて、日常の作業を実施するのに、自分自身で選択しているという意識が低く、自分が行った作業としてそれらを選びだせないという報告がある⁴⁸⁾。日頃から自ら行う作業に対し、選択し実行している意識が低い日本人が、障害を持ち、将来に不安を持った状態の時に、生活や習慣・役割に関する作業を問われても、それらに注目し辛いことは容易に想像できる。その様に、評価される内容に限りがあると推測されるとき、本調査で得られた視点は有用であると考えられる。何故なら、人の意識と無意識の間には「気づきの無い状態」があると言われており、それらは、注意を働かせれば思考の対象として見えているもの、聞こえているものを取り出す事が出来る⁴⁹⁾と言われているからである。本調査で得られた知見は、評価の際に、自ら思いだしたり語る事が出来なくても、作業項目を提示したり、各属性の特徴を踏まえた視点で質問する事により、それらが役割や習慣であったかを気付かせたり、考えさせたりする事につながると考える。

<視点活用への提案>

最後に上記の考察を踏まえて、実際にこれらの結果を臨床現場での評価に活かすための

方法を提案する。それには、得られた詳細な作業項目そのものを参照できるようにする事、そして得られた作業項目の特徴を活かす事、の二つのポイントを利用した評価表等を作成するのが良いのではないかと考える。しかし、得られた項目が実際の評価の際に有効かの検証は行ってないため、まずは手引きの様に、評価者が読み確認するものが有用であると考え。調査結果を踏まえた、焦点化の方法や、詳細項目までを含めた作業リストを作成することで、実際の評価の際に、事前に把握している性別や、配偶者の有無、同居形態などから、評価の際優先的に確認すべき項目を把握することができたり、行われている可能性の高い作業を、事前に想像することができたりすると考える。内容の一部を図7に示す(全体は資料を参照)

4. 作業リスト

<主に家の中の作業>

ここには主に家の中で行われることが多い作業を載せてあります。家の中に居ることが多い対象者に聞いてみると、これまでしていた作業が見つかるかも知れません。
なお、小項目内の太字は女性で有意に行っている割合が高かった、読み文字は男性で有意に行っている割合が高かった作業になります。

質問例：男性→「台所で、食事の残片付けなど家事を手伝うことはありましたか？」

それはどんな事ですか？」

女性→「食事の支度は二自身で行っていましたか？」

家でのご自身の時間には何をしていましたか？」等

1	家事活動	食事の支度	朝食の支度	朝食の支度	お湯・寒茶を沸かす
		食事の片づけ	食卓の片づけ	食器洗い	食器拭き
		食事準備の手伝い	朝食準備の補佐	朝食の配膳	食物の準備
		お弁当作り	ヨーグルト・果物を入れる	食事準備の補佐	
		ゴミ出し	ゴミ出し	ゴミをまとめる	
		整理整頓	片づけ	自分の部屋の整理	家族の部屋の整理
		掃除(家の中)	掃除	雑巾がけ	戸拭き
		戸拭き	窓の掃除	換気扇の掃除	窓を磨く
		窓の拭き	窓を磨く	換気扇の掃除	窓を磨く
		洗濯	洗濯	洗濯	洗濯
2	台所での活動	肉類のお下げ下げ	肉類をお下げ	肉類をお下げ	肉類をお下げ
		アイロンがけ	アイロンがけ	アイロンがけ	アイロンがけ
3	家庭管理	風呂準備	風呂の支度		
		家事・家事手伝い	家事手伝い	家事の補助	
4	宗教的活動	仏壇の手入れ	仏壇の手入れ	仏壇の手入れ	仏壇の手入れ
		仏壇の手入れ	仏壇の手入れ	仏壇の手入れ	仏壇の手入れ
5	家族の世話を	子供の世話	子供の世話	子供の世話	子供の世話
		親の世話	親の世話	親の世話	親の世話
6	自分と関係の活動	読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣
		日記を書く	日記を書く	日記を書く	日記を書く

<主に家の敷地や家周辺での作業>

ここには主に家の敷地(庭など)や家周辺で行われることが多い作業を載せてあります。家に居る時間が少なかったり、あまりの家事を積極的にやっていなかった対象者に聞いてみると、これまでしていた作業が見つかるかも知れません。
なお、小項目内の太字は女性で有意に行っている割合が高かった、読み文字は男性で有意に行っている割合が高かった作業になります。

質問例：男性→「お庭の管理などされてはいましたか？」

それはどんな事ですか？」

10	人との交流活動	友人とお茶会	友人とお茶会	友人とお茶会	友人とお茶会
		友人と集まり(お話しのみ)	友人と集まり	友人と集まり	友人と集まり
		友人と活動(話し合い以外)	友人と活動	友人と活動	友人と活動
11	趣味・娯楽活動	趣味サークル参加	趣味サークル参加	趣味サークル参加	趣味サークル参加
		同好会・同好会	同好会	同好会	同好会
12	自給自足活動	お稽古・習い事	お稽古・習い事	お稽古・習い事	お稽古・習い事
		お稽古・習い事	お稽古・習い事	お稽古・習い事	お稽古・習い事
13	自分と関係の活動	読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣
		読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣	読書の習慣
14	音楽活動	音楽活動	音楽活動	音楽活動	音楽活動
		音楽活動	音楽活動	音楽活動	音楽活動
15	楽しみ活動	趣味活動	趣味活動	趣味活動	趣味活動
		趣味活動	趣味活動	趣味活動	趣味活動
16	気分転換活動	散歩	散歩	散歩	散歩
		散歩	散歩	散歩	散歩
17	家周辺の活動	土・家の修理	土・家の修理	土・家の修理	土・家の修理
		土・家の修理	土・家の修理	土・家の修理	土・家の修理

図7 生活感を取り戻す為の作業実践の手引き(一部抜粋)

V. 本研究の限界と課題

本研究は入院生活から在宅生活に復帰する際に、病前の習慣・役割作業への気づきが復帰を促すという筆者の知見に基づき、高齢者が認識する習慣・役割作業を把握する目的で、A市老人クラブの協力を経て調査を行った。しかし、実態を把握するという点においていくつかの限界がある。それは 1)400 種という多くの習慣・役割作業を得られた背景には、対象が老人クラブ会員であるという特性が影響している、 2)調査を行った季節や地域性の影響を受けている可能性がある、 3) 調査対象群の多くが定年退職または無職の専業主婦であり仕事を中心としている人の結果を反映していない、 4) ある世代を調査対象とした研究結果はその後のどの時代にも用いる事が出来るとは言えない 点である。これらに対し、考えられる可能性のある様々な視点での習慣・役割作業の情報を、継続的に収集し追加していく事が必要であると考ええる。

以上の限界を踏まえ、本研究結果を回復期病棟において在宅復帰を促進する病前の習慣・役割作業の気づきを促す際の手がかりとなるよう、活用方法を検討する事がまず課題である。具体的には、本研究で新たに得られた評価視点としての項目、また性差による特徴について、提案した手引きを用いて臨床現場の作業療法士と共にその有用性を検討し、臨床現場で活用できる具体的な手段へと変えていくことが今後のこの研究の課題である。

VI. 結語

本研究は、日々の習慣・役割作業の項目とその特徴を明らかにする事を目的に、A市老人クラブに所属する217名に対し、自由記載式の調査研究を実施した。その結果、本人が認識する日々の習慣・役割作業として400種の作業を得る事が出来た。これを評価の際の視点となる項目にする為に、KJ法におけるグループ分けの手法を用いて整理分類することで、81の中項目と32の大項目を得た。更に、81中項目の特徴を明らかにする為に、クロス集計により基本属性による差、クラスター分析によりどのような作業内容を実施するかによる5グループの分類、という特徴を明らかにした。これにより、日々の習慣・役割作業は性別による差が大きい事、それに加えて配偶者の有無と同居の形態も影響するが、仕事形態はあまり影響しない事、高齢になるほど習慣・役割作業が減るのでは無く内容が変わる事、作業実施数は男性の方が少なく挙げる傾向がある事が確認できた。これらの結果は、作業療法の評価の視点として用いる事ができると考えられるが、老人クラブの会員である事、季節や地域性という因子が影響している可能性があり、継続したデータ収集と分析が必要である。

しかし、作業療法士の視点を用いて、新たに結果を得た本研究は、まずは回復期病棟で入院生活から在宅生活に復帰する際に重要となる、病前の習慣・役割作業を得る為の一つの情報となると考える。

謝辞

本研究を行うにあたり，ご多忙な中熱心にご指導やご意見をいただいた国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 作業療法学分野 教授 杉原素子先生に深く感謝いたします。また，データ分析等でご指導やご助言いただいた国際医療福祉大学大学院 斎藤慶一先生，及び国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科 助教 平野大輔先生に深く感謝いたします。また，様々な視点でご意見やご指摘をいただいた国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科の出口弦舞先生をはじめとする教員の皆さま，国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 作業療法学分野 作業活動支援学分野の皆さまにお礼を申し上げます。

最後に，本研究に協力してくださった，A市老人クラブ会員の217名の皆さまに心より感謝いたします。

文献リスト

- 1) 世界作業療法士連盟ホームページ. 作業療法について.
<http://www.wfot.org/AboutUs/AboutOccupationalTherapy/> 2012年11月5日
- 2) 大嶋伸雄. ボトムアップ・アプローチ/トップダウン・アプローチによる新しい作業療法. 大嶋伸雄編集 クリニカル作業療法シリーズ 身体障害領域の作業療法. 東京: 中央法規, 2010:2-14
- 3) 山田孝. 興味, 役割, QOL 評価. 岩崎テル子他編集 作業療法評価学 第2版. 東京: 医学書院, 2011:276-309
- 4) 佐藤眞一. 団塊世代の退職と生きがい. 日本労働研究雑誌 2006 ; 550 : 83-93
- 5) Tracey Vause-Earland. Perceptions of Role Assessment Tools in the Physical Disability Setting. The American Journal of Occupational Therapy 1991; 45-1:26-31
- 6) 山田孝, 竹原敦, 石井良和ら. 役割チェックリスト・日本版の検討. 作業行動研究 2002;6:52-70
- 7) Kielhofner G, Mallinson T, Crawford C et al (著) 山田孝, 石井良和, 長谷龍太郎 (訳). 作業遂行面接 第2版 使用者手引き ; 日本作業行動学会 1999
- 8) 濱嶋ちさと. 高齢者のクオリティオブライフ. 日本衛生学雑誌 1994;49:533-542
- 9) 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会編 : 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書 2010 年度版
- 10) 佐藤健二. 回復期リハビリテーション病棟の役割と今後の運営課題. Monthly Book Medical Rehabilitation 2004;37:1-7
- 11) 岩上さやか, 杉原素子. 患者が自身の生活に目を向けるきっかけ—回復期リハビリテーション病棟入院経験者のインタビューから—. 日本保健科学学会誌 2014 掲載予定
- 12) Kielhofner, G, Burke, J, P. Components and determinants of human occupation. A Model of Human Occupation. Baltimore. Williams&Wilkins 1985:17-20
- 13) Anne M. Hilman, Christine J. Chapparo. An Investigation of Occupational Role Performance in Men Over Sixty Years of Age Following A Stroke. The Journal of Occupational Science 1996;2-3:88-9
- 14) 内閣府. 高齢者の日常生活に関する意識調査結果 : 平成 21 年度版
- 15) NHK 放送研究所. 国民生活時間調査報告書. 2010 年版
- 16) Ver ploeg, M. Time-use measurement and research. National academy press : Washington, D. C 2000:5-14

- 17) Kryss McKenna, Kieran Broome, Jacki Liddle. What older people do: Time use and exploring the link between role participation and life satisfaction in people aged 65 years and over. *Australian Occupational Therapy Journal* 2007;54:243-284
- 18) Griffin, J, McKenna, K, Tooth, L. Discrepancy between older clients' ability to read and comprehend and the reading level of written educational materials used by occupational therapists. *The American Journal of Occupational Therapy* 2006;60:70-80
- 19) Mary Law. Participation in the Occupations of Everyday Life. *The American Journal of Occupational Therapy* 2002;56-6:640-649
- 20) 岩崎清, 芳賀博, 中村洋一ら. 高齢者の日常生活行動と健康. *社会老老年学* 1989;29:86-92
- 21) 山城久弥, 島貫秀樹, 崎原盛造ら. 沖縄における在宅高齢者の役割と生活満足度の関連—沖縄県老人クラブ会員を対象に—. *応用老年学* 2009;3-1:54-67
- 22) 玉腰暁子, 青木利恵, 大野良之ら. 高齢者における社会活動の実態. *日本公衆衛生学雑誌* 1994;42-10:888-896
- 23) 高橋美保子, 柴崎智美, 永井正規. 老人クラブ会員の社会活動レベルの現状. *日本公衆衛生学雑誌* 2002;50-10:970-979
- 24) 鎌倉矩子. *作業療法の世界*. 東京. 三輪書店:2004:180-181
- 25) 村田伸, 津田彰. 在宅高齢者女性の過程な役割に関する研究—家庭内役割と身体機能及び主観的健康感との関係—. *日本在宅ケア学会誌* 2005;9-1:71-77
- 26) 正木千絵, 宮前珠子, 中村径雄ら. 在宅高齢障害者の日常生活における作業と自己決定感. *リハビリテーション科学ジャーナル* 2009;5:61-67
- 27) 山本美和, 山田孝. 脳血管障害者の役割遂行, その価値づけ, 生活の満足度との関係に関する一研究. *作業行動研究* 1997;4-1:1-5
- 28) 緑川学, 山田孝. 回復期リハビリテーション病棟を退院した在宅脳卒中後遺症者の役割の実態と入院中の作業療法での役割支援の関係. *作業行動研究* 2012;16-1:24-32
- 29) 宗形智成, 山田孝. 脳卒中で高次脳機能障害を経験し, 自殺したいと語った男性クライアントに対する回復期リハビリテーション病棟での作業療法. *作業行動研究* 2012;16-3:201-209
- 30) 西川由衣, 東川哲朗. 主婦役割認識を喪失したクライアントに対し OSA-II を実施し自己認識を促すきっかけとした一症例. *石川県作業療法学術雑誌* 2014;22-1:37-39
- 31) 豊田章宏. 勤労世代における脳卒中の実態. *日本職業災害医学雑誌* 2010;89-93

- 32) 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会. 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書:平成 22 年度版
- 33) 内閣府. 高齢社会白書:平成 26 年度版
- 34) 高木廣文. 質的研究を科学する. 東京. 医学書院:2011:13-15
- 35) 舟島なをみ. 質的研究への挑戦 第 2 版. 東京. 医学書院 : 2007 : 110-114
- 36) 川喜田二郎. KJ 法:混沌をして語らしめる. 東京. 中央公論社 : 1996:148
- 37) 今井忠則, 長田久雄, 西村芳貢. 60 歳以上退職者の生きがい概念の構造. 老年社会科学 2009;31(3):366-377
- 38) 能美誠. クラスタ分析を応用した隣接型地域区分の開発. 農村計画学雑誌 1997;16:228-239
- 39) 石村貞夫, 石村光資郎. SPSS でやさしく学ぶ多変量解析 第 3 版. 東京. 東京図書株式会社:2007 : 194-210
- 40) 高橋美保子, 柴崎智美, 永井正規ら. 「いきいき社会活動チェック表」による地域高齢者の社会活動レベルの評価. 日本公衆衛生学雑誌 2000;47:936-944
- 41) 八島妙子, 新野直明. 在宅高齢者の主観的な生活リズムの性差に関する研究. 日本未病システム学会雑誌 2014 ; 20-2 : 64-68
- 42) 中村隆一. 中枢神経疾患の作業療法. 東京. 医歯薬出版 1983 : 122-137
- 43) 若林満, 松浦均, 松浦いねら. 定年退職者の生きがい感の規定要因に関する研究. 経営行動科学 1991 ; 6-1 : 35-47
- 44) 岡村清子. 定年退職と家族生活. 日本労働研究雑誌 2006 ; 550 : 68-82
- 45) 宍戸邦章. 高齢期における幸福感規定要因の男女差について-JGSS2000/2001 統合データに基づく検討-. 日本版 General Social Surveys 研究論文集 2007;6-3:45-56
- 46) 大道安次郎. 老人の地域社会における役割. 都市問題研究 1973 ; 25-1 : 16-28
- 47) 安井朱美. 留学生と日本人学生との合同授業の試み-コメントから見えてくるもの-. 南山大学国際教育センター紀要 2008:9
- 48) Sheena Iyengar. 櫻井裕子(訳). 選択の科学. 東京. 文春文庫 2014:98-103
- 49) 濱本秀樹. 第二言語習得論の新展開. 文学・芸術・文化 2010;22-1:142-166

資料

①調査用紙（ 69 ページ）

②生活感を取り戻すマニュアル（ 70 ページ～）

資料① 調査用紙 ※以下の内容を A3 版に拡大して配布した

「毎日の生活に存在する役割や習慣および日課」に関するアンケート

言葉の説明

ここで使う“役割”とは、あなたにしかできないとあなたが思っている事をさします。
 “習慣・日課”とは、毎日あなたが何気なく行っている全ての事をさします。

A：あなたの基本情報について教えてください。該当する部分に○をつけてください。

- 問1. 性別 : 男性 ・ 女性
 問2. 年齢 : 歳
 問3. 配偶者 : いる ・ いない
 問4. 同居人 : 配偶者 ・ 子供 ・ 孫 ※複数回答可能
 問5. 仕事の状況 : 定年退職 ・ 非常勤勤務 ・ 常勤勤務 ・ もともと無職

B：あなたの毎日の生活について(毎日していることについて)教えてください。

問6. 毎日、家で、あなたがしなければならない役割や習慣および日課は何ですか？
 朝起きてからの1日を思い出しなが記入してください。

(例：神棚に水をあげる、布団を干す、家計簿をつける、ゴミを出す、金魚に餌をやる 等)

朝	日中	夜

問7. 上記の中であなたが特に大事にしている役割や作業はどれですか？3つ○をつけてください。

問8. 近所付き合いや友人との活動など、地域生活で、あなたがしなければならない役割や習慣および日課は何ですか？ (例：公園の掃除、町内会役員、小学生の見回り、友人との集まりの幹事 等)

問9. 上記の中であなたが特に大事にしている役割や作業はどれですか？3つ○をつけてください。

問10. 問6、問8に該当しない、1週間、1ヵ月、1年間のサイクルで、決まってあなたがしなければならない役割や習慣および日課があれば記入してください。

(例：家族旅行の計画、衣替え、夏祭りの準備)

最後に、何かご意見等ありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました

資料② 生活感を取り戻す実践の為の手引き

1. 本手引きの説明

2000年に誕生した回復期リハビリテーション病棟は“日常生活動作能力向上による、寝たきり防止と家庭復帰を目的とした”病棟です。チームアプローチをする中で私達作業療法士が、対象者ひとりひとりの生活に焦点を当て、それに合わせた家庭復帰を支援することは重要です。その為に、対象者がどのような生活をこれまで送ってきたか評価することもあわせてとても重要な事です。しかし、経験の浅いセラピストにとって、評価をする際に高齢者の日常生活を隅々まで想像する事は容易ではありません。そこで、一般的に健康な高齢者がどのようなことを“現実的な生活”や“習慣的な作業”だと捉えて日々を構築しているのか、アンケート調査を行いました。その結果得られた作業をリストとして本手引きにまとめてあります。対象者が日々の生活の中で行っていた小さな作業を、より早く見つけ出し実践できるようにするヒントとしてお使いいただければと思います。

2. 調査からわかったこと

① 日々行う作業内容の選び方は5グループに分けられる

A 地域活動と家事を両立する群

このグループは洗濯や食事の片づけ、家庭管理など家事を中心に生活の為にやらなくてはならない事を行っており、地域の役員を行うなど、家族や地域に貢献する作業を行う傾向があります

B 生活全般の管理をする群

このグループはゴミ出しや食事の支度、仕事など、自分の生活の為にやらなくてはならない事を中心に行っており、他者や地域へ貢献する作業が少ない傾向があります

C 家事の一部を手伝う群

このグループは戸締りや窓開け、神棚の管理などを行っており、自身が中心に行う家事活動はないものの、一部を手伝う傾向があります。

D 趣味など好きな事をする群

このグループは趣味や散歩など自分のやりたい事を中心に行っており、家事の協力や地域

域

への協力等の作業が見られないといった傾向があります

E 好きな事と地域貢献活動をする群

このグループは趣味や自己研鑽など自分のやりたい事を中心に行っているものの、食事準備の手伝いなど家事の一部を手伝う傾向があり、地域の掃除や文化保全など貢献のみられる傾向があります

② 性別、家族構造等により行う作業に違いがある

性別、配偶者の有無、同居形態、仕事の有無によって、日々行っている作業に差がある事がわかりました。詳細は使い方の項をご参照ください。

3. 使い方

対象者がこれまで生活の中で習慣的にしてきたことを語ったり、実際に行ったりすることで、対象者が自分自身の生活について明確に考えるきっかけとなります。しかし、対象者の中には病気をして病気の事で頭がいっぱいになってしまい、自分から生活の事を語る事が難しい場合もあります。そこで、回復期病棟で自分自身の生活について考えることを促すために、また病前生活を確実に評価する時に焦点を絞るために、行っていた可能性の高い作業を探す事ができます。

①対象者の生活に対する語りが聞かれない時、具体的に掘り下げる為のヒントとして作業リストに目を通してみてください。中項目に関する質問をすることで、具体的な作業が得られます。

②何を聞いて良いのかわからない時は、対象者のプロフィールによる活用を参考にしてください。プロフィールによる活用には以下の5種類があります

1：性別により差のみられる作業

性別により行われている作業に差があるのか、統計的に検討したところ、行いやすさに有意に差の見られる作業がありました。参考にしてみてください

男性に特徴的にみられる作業は・・・

戸締り 散歩 地区パトロール 防犯活動 自治会活動 仕事・アルバイト ○長 ○役員

員

女性に特徴的にみられる作業は・・・

食事の支度 食事の片づけ お弁当作り 整理整頓 家の中の掃除 洗濯 家計管理
友人と会合 趣味活動 体を動かす 日記を書く 買い物 ボランティア活動 婦人会
近所付き合い

2：配偶者の有無により差のみられる作業

配偶者の有無により差のある作業は・・・

あり 特になし

なし ペットの世話 お弁当作り 整理整頓 洗濯外出

3：同居形態により差のみられる作業

独居の人に特徴的にみられる作業は・・・外出

夫婦二人暮らしの人に特徴的にみられる作業は・・・趣味サークル運営 テレビ見る

子供・または親と暮らす人に特徴的にみられる作業は・・・親の世話 自治会活動

子供世帯と暮らす人に特徴的にみられる作業は・・・特になし

4：仕事の有無により差のみられる作業

定年退職後の人に特徴的にみられる作業は・・・地区パトロール

非常勤で働く人に特徴的に見られる作業は・・・家計管理 体を動かす

常勤で働く人に特徴的に見られる作業は・・・仕事 親の世話 加工品作り

無職の人に特徴的に見られる作業は・・・食事の支度 食事の片づけ 整理整頓 家の掃除
洗濯 家計管理 買い物 友人とお話

5：活動場所で検討をつける

普段対象者が多く時間を過ごす場所を聞いてみてください。

リストを場所別に分けたので、その中から選んでみてください

4. 作業リスト

<主に家の中の作業>

ここには主に家の中で行われることが多い作業を載せてあります。家の中に居ることが多い対象者に聞いてみると、これまでしていた作業が見つかるかも知れません。なお、小項目内の太字は女性で有意に行っている割合が高かった、囲み文字は男性で有意に行っている割合が高かった作業になります。

質問例： 男性→「台所で、食事の後片付けなど家事を手伝うことはありましたか？それはどんな事ですか？」

女性→「食事の支度はご自身で行っていましたか？家でのご自身の時間には何をしていましたか？」

等

1	家事活動	食事の支度	朝食の支度 昼食の支度 夕食の支度 お湯・麦茶を沸かす
		食事の片づけ	食事後の片づけ 食器洗い 食器拭き 食器片づけ
		食事準備の手伝い	朝食準備の補佐 朝食の配膳 果物の準備 味噌汁作り ヨーグルトに果物を入れる 食事準備の補佐
		お弁当作り	自分のお弁当作り 家族のお弁当作り
		ゴミ出し	ゴミ出し ゴミをまとめる
		整理整頓	片づけ 自分の部屋の整理 家族の部屋の整理
		掃除（家の中）	掃除 雑巾がけ 網戸拭き ガラス拭き トイレ掃除 風呂掃除 エアコンの掃除
		戸締り	家の戸締り 雨戸閉める 窓を閉める
		朝の窓開け	窓を開ける 雨戸をあける
		洗濯	洗濯 洗濯を干す 洗濯を取り込む 洗濯物の片づけ
		布団の上げ下げ	布団を上げる 布団を干す 布団を取り込む 布団を敷く
		アイロンがけ	アイロンがけ
		風呂準備	風呂の支度

		家事・家事手伝い	家事手伝い 家族の活動の補佐
2	台所まわり活動	加工品作り	加工品作り ヨーグルト作り パン作り 梅干し作り
		料理	料理
3	家庭管理	家庭管理（家計簿）	家計簿つける お金の管理 帳簿の整理
4	宗教的活動	宗教・お参り	神仏に手を合わす お経をあげる 神社へのお参り
		神棚・仏壇の世話	仏壇へ水の上げ下げ 神棚へ水の上げ下げ 仏壇の清掃
5	家族の世話活動	子供・孫の世話	子供の送迎 娘の家の片づけ 孫の送迎 孫の子守 孫をお風呂に入れる
		親の世話	親の介護 姑の介護 祖母の話相手
6	自分と向き合う活動	医療ケア・健康の自己管理	体重測定 血圧測定 インシュリン注射 病気の治療通院
		日記を書く	日記を書く 手帳の記入 前日の反省・本日のやり残し・翌日の予定確認 活動記録
7	家での自分の時間	酒を呑む	酒を呑む 居酒屋で一杯 酒のつまみの支度
		花を生ける	花を生ける
		TVを見る	テレビを見る ラジオ
8	休み	休み（昼寝）	昼寝 昼休み 寝る・早く床に入る
9	ADL	食事を摂る	朝食を食べる 昼食を食べる 夕食を食べる
		入浴	入浴 シャワー
		整容	洗顔 歯磨き 化粧
		トイレ	トイレ

<主に家の敷地や家周辺での作業>

ここには主に家の敷地（庭など）や家周辺で行われることが多い作業が載せてあります。家に居る時間が少なかったり、あまり家事を積極的に行っていなかった対象者に聞いてみると、これまでしていた作業が見つかるかも知れません。なお、小項目内の太字は女性で有意に行っている割合が高かった、囲み文字は男性で有意に行っている割合が高かった作業になります。

質問例 男性→「お庭の管理などされていませんか？」

女性→「お友達と何かの機会はありましたか？ それはどんな事ですか？」

10	人との交流活動	友人とお茶会	献立を立てて友人と食事会 友人と飲み会
		友人と集まり （お話のみ）	友人と打ち合わせ 友人と旅行計画 農家主婦仲間と会合友人と集まり
		友人と活動 （おしゃべりだけを除く）	友人と散歩・ウォーキング 友人とカラオケ等 友人と旅行 友人とお稽古 忘年会・新年会・誕生会等

		趣味サークル参加	趣味会の参加 書道の会 菊花愛好会 生け花の会 テニス有志の会 健康クラブ活動 体操クラブ
		同窓会・OB会	OB会役員・役割 シルバー大学OB会幹事 同窓会幹事 地元同級生集まり 前会社仲間との集まり
		来客対応	来客対応
11	仲間のとりまとめ活動	趣味サークル運営	趣味サークル会計係 趣味サークル事務・運営 練習予定作り お稽古場所の申し込み 広報誌の配布
12	自分を磨く楽しみ活動	お稽古・習い事	料理教室 絵手紙教室 ダンス教室 民謡クラブ <u>囲碁クラブ</u>
13	自分を磨く知的活動	シルバー大大学障害学習 (集団・自己)	政治・文化の勉強 読書会・勉強会の参加 図書館へ行く 新聞の切り抜き 資格試験の勉強 地域の習慣や歴史に関する相談に乗る
14	音楽活動	カラオケ	カラオケ カラオケ会の集まり カラオケ同好会
		楽器演奏・音楽	音楽鑑賞 ギター ハーモニカ
		コーラス	コーラス コーラス参加
15	楽しみ活動	趣味活動	読書 書道 絵手紙 グラスアート 手芸 裁縫 <u>編み物</u> 詩吟 パズル 囲碁 麻雀ゲーム パソコン 自分のやりたい事をする
		外出・お出かけ	外出 書店巡り
16	気分転換活動	散歩	<u>散歩</u> 外の空気で気分転換
17	家周辺の活動	大工・家の修理	家の手入れ
		水撒き(家の周辺)	外に水をまく
		手入れ	車の手入れ 農具の調整 自転車の庭出し
18	庭での活動	園芸・家庭菜園	野菜作り 家庭菜園の手入れ 生ごみで堆肥作り
		庭の手入れ・水やり	庭の手入れ・清掃 庭の水やり・草取り <u>植木・草木の 手入れ</u> <u>草花に水やり</u>
19	近所の交流活動	回覧板を回す	回覧板を回す 回覧板を見る
		ご近所付き合い	近所付き合い
20	親族との交流	親戚付き合い	親戚に電話・話 親戚の手伝い
21	生き物の世話	ペットの世話	犬の散歩 犬のえさやり 猫のえさやり 亀のえさやり メダカのえさやり 鯉のえさやり 金魚のえさやり

<主に地域での作業>

ここには主に地域生活で行われることが多い作業が載せてあります。地域で活発に活動している、または家での話がほとんど聞き取れない対象者に聞いてみるとこれまでしていた作業が見つかるかも知れません。なお、小項目内の太字は女性で有意に行っている割合が高かった、囲み文字は男性で有意に行っている割合が高かった。

た作業になります。

質問例 男性→「家以外の場所の掃除などされることはありましたか?」「何かの役員を今でもされていますか?」

女性→「地域の組織で何かお仕事をされていますか?」

22	体を動かす活動	体を動かす	筋トレ 体操 運動 ストレッチ 太極拳 ラジオ体操 ウォーキング 水中ウォーキング 踊り トレーニング スポーツジム 水泳 ゴルフ バードゴルフ グランドゴルフ 野球 ワンハンドバレー
		卓球	卓球練習
		山歩き	登山仲間と山登り 山歩き計画と引率 山歩き
23	地域での家事に関する活動	買い物	近所の買い物 夕食の買い出し 買い物の運転手 友人の買い物の手伝い
		お金の出し入れ	銀行関係 会費払う
24	地域を守る活動	掃除 (地域・お寺・神社)	家周辺の掃除 独居老人宅の掃除 地区道路・集会所・公民館の掃除 神社・お寺の境内の掃除 遊園地・海岸の掃除 駅前花壇の草取り 公園の除草と清掃 自治会清掃・美化
		地域文化保全 (太鼓など)	史跡ガイド 祭り囃し太鼓保存会指導員 年長者として自分の経験を伝える
		地区パトロール	老人・病人・留守宅の見回り 小学生登下校ガード 交通指導・ゴミ集積所の見回り 海岸・公民館・組内見回り 自治会・地区内・管轄内見回り
		防犯活動	防犯活動 防災部消化班
25	地域での人の為の活動	ボランティア活動	ボランティア 配食ボランティア 移送ボランティア 施設に清掃布巾作り
		トラブル解決係	トラブル解決策を考える 役所との諸問題の交渉 明日も良い日が来るよう祈る
26	地域活性化の活動	地域組織参加・運営 (老・町・自を除く)	公民館行事計画 公民館役員の仕事 隣組活動の協力 地域行事の設営・実施・参加(団子焼き/母親クラブ等) 組長会・定例会・役員会 会議に出席
		資格による活動	陸上大会の審判 健康普及員 カラオケ同好会指導
		神社の行事手伝い	神社行事運営 神社行事手伝い
		地域の当番	ゴミ集積所の管理 地区親睦会当番 貸し農園の管理 生ごみクラブ地域係
		キャンペーン活動	キャンペーン活動
27	老人会活動	老人会参加・運営	老人会集會 老人会行事計画 老人会での行事の声かけ

		老人会旅行	老人会旅行
28	町内会活動	町内会参加・運営	町内会集金 会計簿の作成 町内会の仕事
29	自治会活動	自治会活動	自治会活動 自治会との打ち合わせ 自治会の会計処理
		婦人会	女性部会 JA 女性部員 老人会女性部長
30	仕事	仕事・アルバイト	仕事・バイト シルバー人材センター 店の清掃 業務用の麺作り 畑仕事 野菜の出荷と準備 区議会議員 勤務日誌 事務用事
31	集団内での役割	〇〇長	老人会会長 自治会副会長 社協副会長 地区育成会会長 公民館館長 自治会組長 隣組組長 商店街顧問 取引銀行の総代 がけ会長 コーラス会会長 お囃子会副会長 グランドゴルフ会長 卓球同好会会長
		〇〇幹事	友人との集会幹事 趣味会の幹事 旅行の幹事 ふれあいサロン幹事 地区行事の幹事 会社OB 囲碁クラブ幹事 歴史探訪同好会幹事 体操サークル幹事
		〇〇役員・部員・委員	自治会役員 老人会役員 町内会役員 公民館役員 地区生協役員 市民の会役員 農協役員 土地改良役員 環境推進委員 神社役員 ガイド協会役員 水泳組合役員 地区の桜守る会役員 スプリンクラー組合役員 町内ゴルフ仲間役員 お寺の世話人
32	その他	特になし	特になし 公の部分はリタイヤ なんとなく過ごす

5. グループごとの行っている可能性が高い作業

グループ	作業
1	ゴミ出し 庭の手入れ 食事の支度 地域の掃除 神棚のお参り 仕事 洗濯 役員部員 家の掃除 買い物
2	洗濯 食事の支度 家の掃除 ゴミ出し 庭の手入れ 買い物 役員部員 神棚 のお参り 地域の掃除 食事の片づけ
3	食事の支度 家の掃除 戸締り 朝の窓開け 洗濯 神棚のお参り 庭の手入れ 散歩 地区パトロール ゴミ出し
4	体を動かす 日記を書く 家の掃除 洗濯 宗教お参り 神棚の参り 楽器演奏 趣味活動 散歩 卓球練習
5	食事準備の手伝い 趣味活動 テレビ見る 庭の手入れ 老人会運営 食事の支度 ゴミ出し お稽古 地域の掃除 来客対応

<毎日の生活で行っていた作業>

※コピーしてお使いください

対象者： _____

性別： _____

年齢： _____

仕事： _____

同居形態： _____

家の中で行っていた事

地域生活で行っていた事



上記語りによる対象者の変

化

あり

・

なし



具体的課題の実施



上記作業で実践可能な
作業の実施

博士課程 3 年 岩上さやか

神奈川県小田原市城山 1-2-25 共同研究室 0465-21-6722